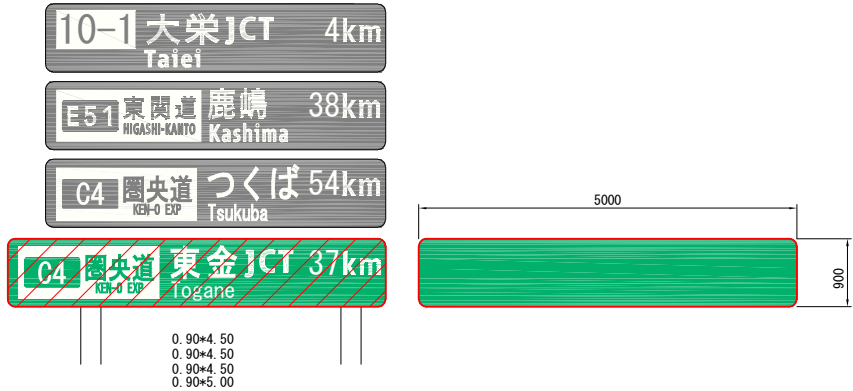


本線・連絡等施設 マスキング工詳細図(1)

マスキング設置撤去工B(反射式標識板 緑地・文字無)  
マスキング設置撤去工C(内照式標識板 緑地・文字無)  
マスキング設置撤去工D(内照式標識板 白色ターボ・リシート)

マスキング設置撤去工B(反射式標識板 緑地・文字無)

本下No. 1  
900×5000  
方面及び距離 確認標識  
東関東道(下り線)成田IC～大栄JCT 46.830KP



マスキング工調書

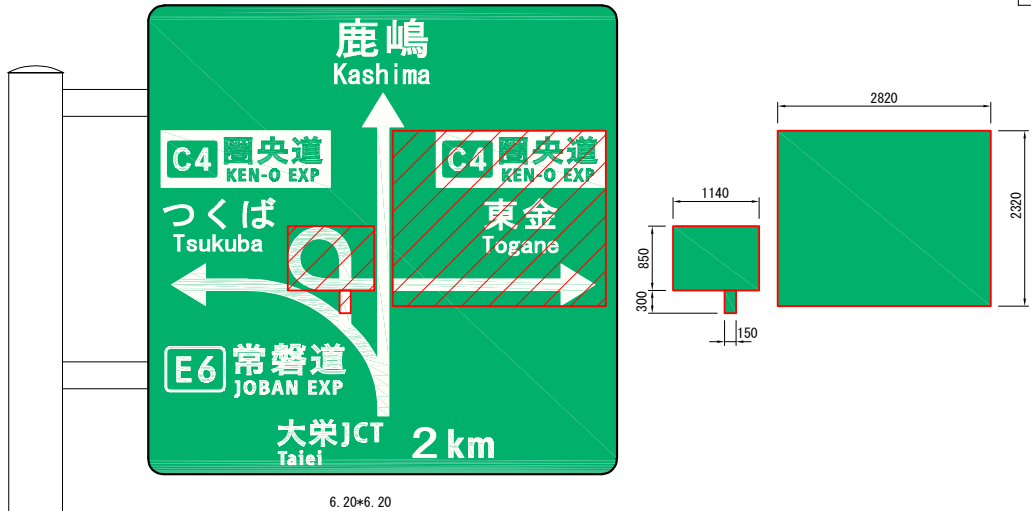
標識No.	単価項目	路線名	区分	測 点	表示内容		マスキング	面積	緑地・文字無	白色ターボ・リシート	型式	板種別	備 考
								m2	枚	枚			
本下No.1	マスキング設置撤去工B	東関東道(成田IC～大栄JCT)	下り線	46.830KP	方面及び距離	東金JCT	900 × 5000	4.49	1		複柱型式	反射式	代表断面標識
本下No.2	マスキング設置撤去工B	東関東道(成田IC～大栄JCT)	下り線	48.229KP	2km手前予告	圏央道	2320 × 2820	6.54	1		片持型式	反射式	代表断面標識
						矢印	850 × 1140	0.97	1				
						矢印	300 × 150	0.05	1				
本下No.3	マスキング設置撤去工B	東関東道(成田IC～大栄JCT)	下り線	48.690KP	1.3km手前予告	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	反射式	代表断面標識
本下No.4	マスキング設置撤去工B	東関東道(成田IC～大栄JCT)	下り線	49.480KP	500m手前予告	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	反射式	
本下No.5	マスキング設置撤去工B	東関東道(成田IC～大栄JCT)	下り線	49.870KP	行動点	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	反射式	
本下No.7	マスキング設置撤去工C	東関東道(成田IC～大栄JCT)	下り線	50.100KP	分岐点	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	内照式	
本上No.1	マスキング設置撤去工B	東関東道(大栄JCT～大栄IC)	上り線	51.110KP	行動点	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	反射式	
本上No.2	マスキング設置撤去工B	東関東道(大栄JCT～大栄IC)	上り線	51.289KP	400m手前予告	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	反射式	
本上No.3	マスキング設置撤去工B	東関東道(大栄JCT～大栄IC)	上り線	51.789KP	1km手前予告	東金	1050 × 1310	1.38	1		門型式	反射式	
本上No.4	マスキング設置撤去工B	東関東道(大栄JCT～大栄IC)	上り線	53.229KP	2.3km手前予告	圏央道	750 × 2240	1.68	1		片持型式	反射式	代表断面標識
						矢印	1450 × 1700	2.47	1				
						矢印	750 × 700	0.53	1				
本上No.5	マスキング設置撤去工B	東関東道(大栄JCT～大栄IC)	上り線	55.015KP	方面及び距離	東金JCT	900 × 5000	4.49	1		複柱型式	反射式	
連大No.3	マスキング設置撤去工C	大栄JCT	Bランプ	B-STA. 2+20	ランプ部分岐点	東金	1050 × 1310	1.38	1		バタフライ型式	内照式	代表断面標識
連大No.4	マスキング設置撤去工D	大栄JCT	Bランプ	B-STA. 3+45	ランプ部分岐点	圏央道	2500 × 3800	9.46		1	バタフライ型式	内照式	
連大No.16	マスキング設置撤去工D	大栄JCT	Dランプ	D-STA. 3+45	ランプ部分岐点	圏央道	2500 × 3800	9.46		1	バタフライ型式	内照式	代表断面標識

数量表

単価項目	マスキング寸法	面積	枚数	面積 計	備考
		m2		m2	
マスキング設置撤去工B	0.90 × 5.00	4.49	2	8.98	
	2.32 × 2.82	6.54	1	6.54	
	0.85 × 1.14	0.97	1	0.97	
	0.30 × 0.15	0.05	1	0.05	
	1.05 × 1.31	1.38	6	8.28	
	0.75 × 2.24	1.68	1	1.68	
	1.45 × 1.70	2.47	1	2.47	
	0.75 × 0.70	0.53	1	0.53	
	合 計		14	29.50	
マスキング設置撤去工C	1.05 × 1.31	1.38	2	2.76	
	合 計		2	2.76	
マスキング設置撤去工D	2.50 × 3.80	9.46	2	18.92	
	合 計		2	18.92	

マスキング設置撤去工B(反射式標識板 緑地・文字無)

本下No. 2  
300×150  
850×1140  
2320×2820  
2km手前予告標識  
東関東道(下り線)成田IC～大栄JCT 48.229KP

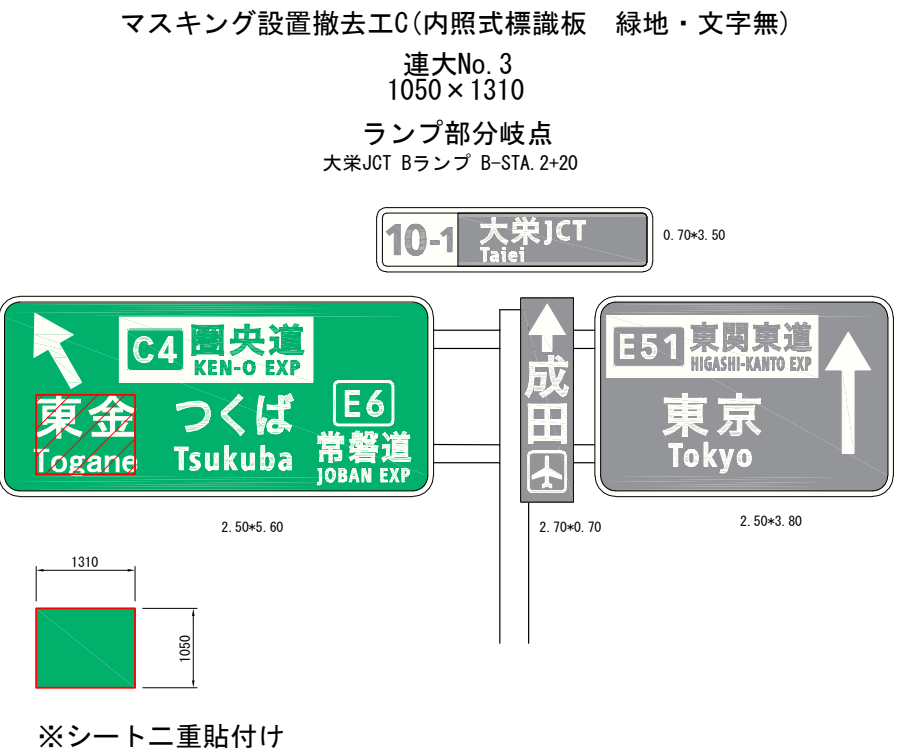
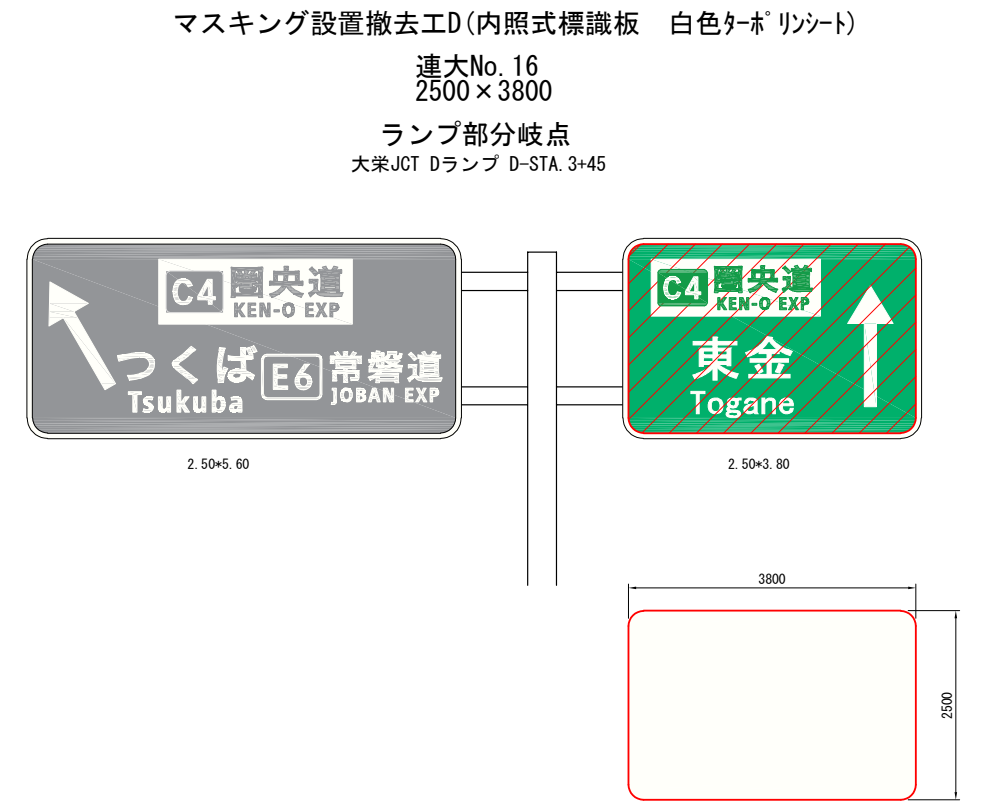
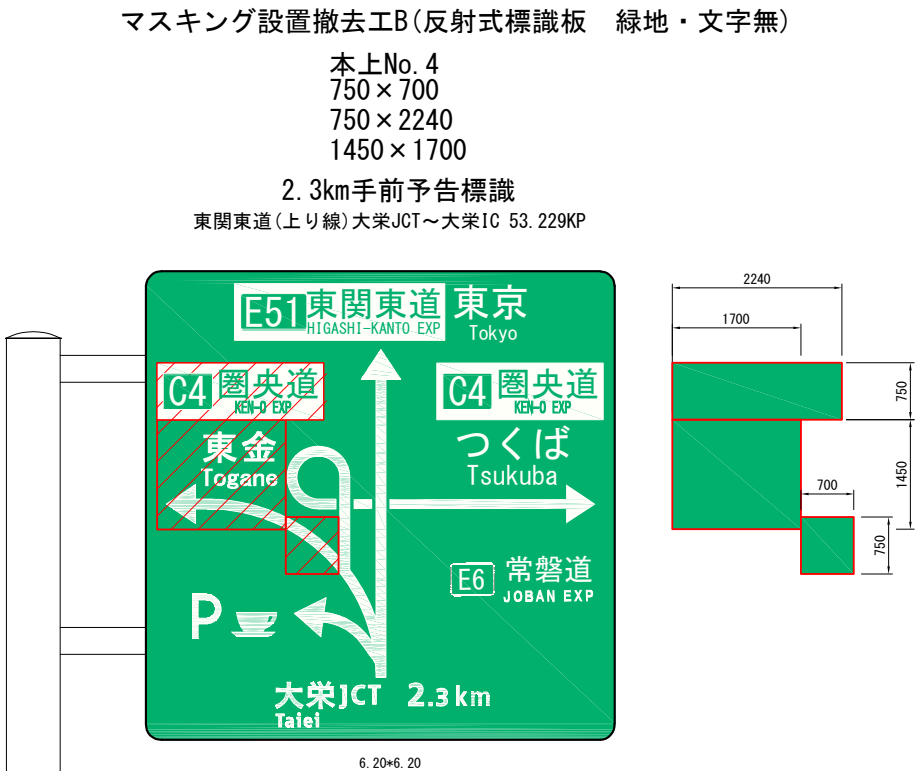
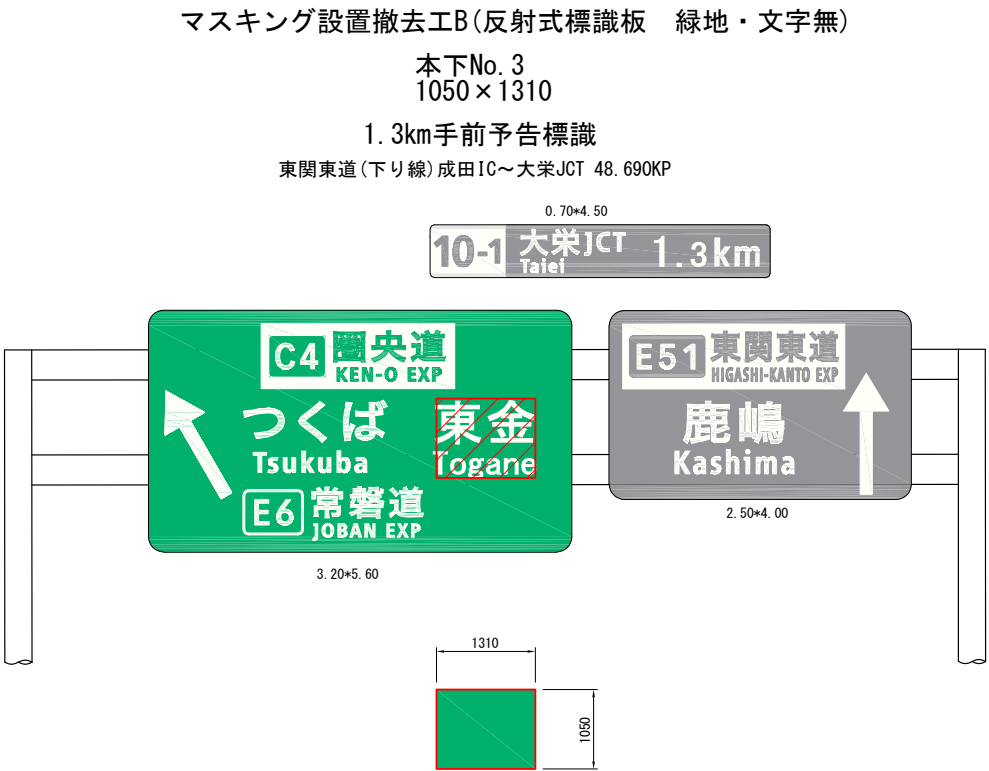


※代表断面標識のみを表示する。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 マスキング工詳細図(1)		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 マスキング工詳細図(2)

マスキング設置撤去工B(反射式標識板 緑地・文字無)  
マスキング設置撤去工C(内照式標識板 緑地・文字無)  
マスキング設置撤去工D(内照式標識板 白色ターボ リンシート)

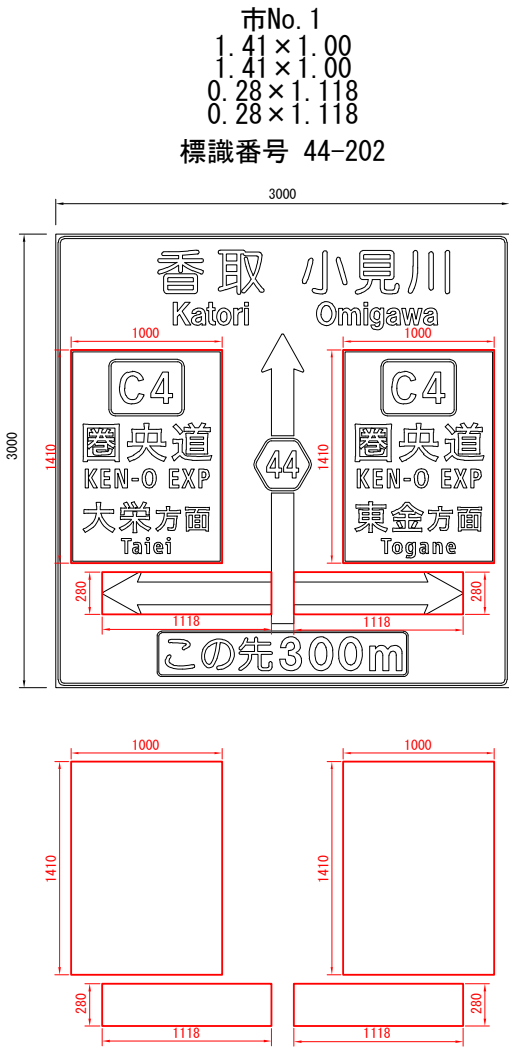


※代表断面標識のみを表示する。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 マスキング工詳細図(2)		
縮 尺	1/100	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

マスキング設置撤去工A(反射式標識板 青地・文字無)

マスキング設置撤去工A(反射式標識板 青地・文字無)



マスキング工調書

標識No.	標識番号	マスキング	面 積	青地・文字無	型式	板種別	備考
			m <sup>2</sup>	枚数			
市No. 1	44-202	1410×1000	1.41	1	片持型式	反射式	代表断面標識
		1410×1000	1.41	1			
		280×1118	0.31	1			
		280×1118	0.31	1			
		1410×1000	1.41	1			
市No. 2	44-201	1410×1000	1.41	1	片持型式	反射式	
		280×1118	0.31	1			
		280×1118	0.31	1			
		1410×1000	1.41	1			
		1410×1000	1.41	1			
市No. 3	44-203	280×1118	0.31	1	片持型式	反射式	
		280×1118	0.31	1			
		1410×1000	1.41	1			
		1410×1000	1.41	1			
市No. 4	44-204	280×1118	0.31	1	片持型式	反射式	
		280×1118	0.31	1			
		1410×1000	1.41	1			
		1410×1000	1.41	1			

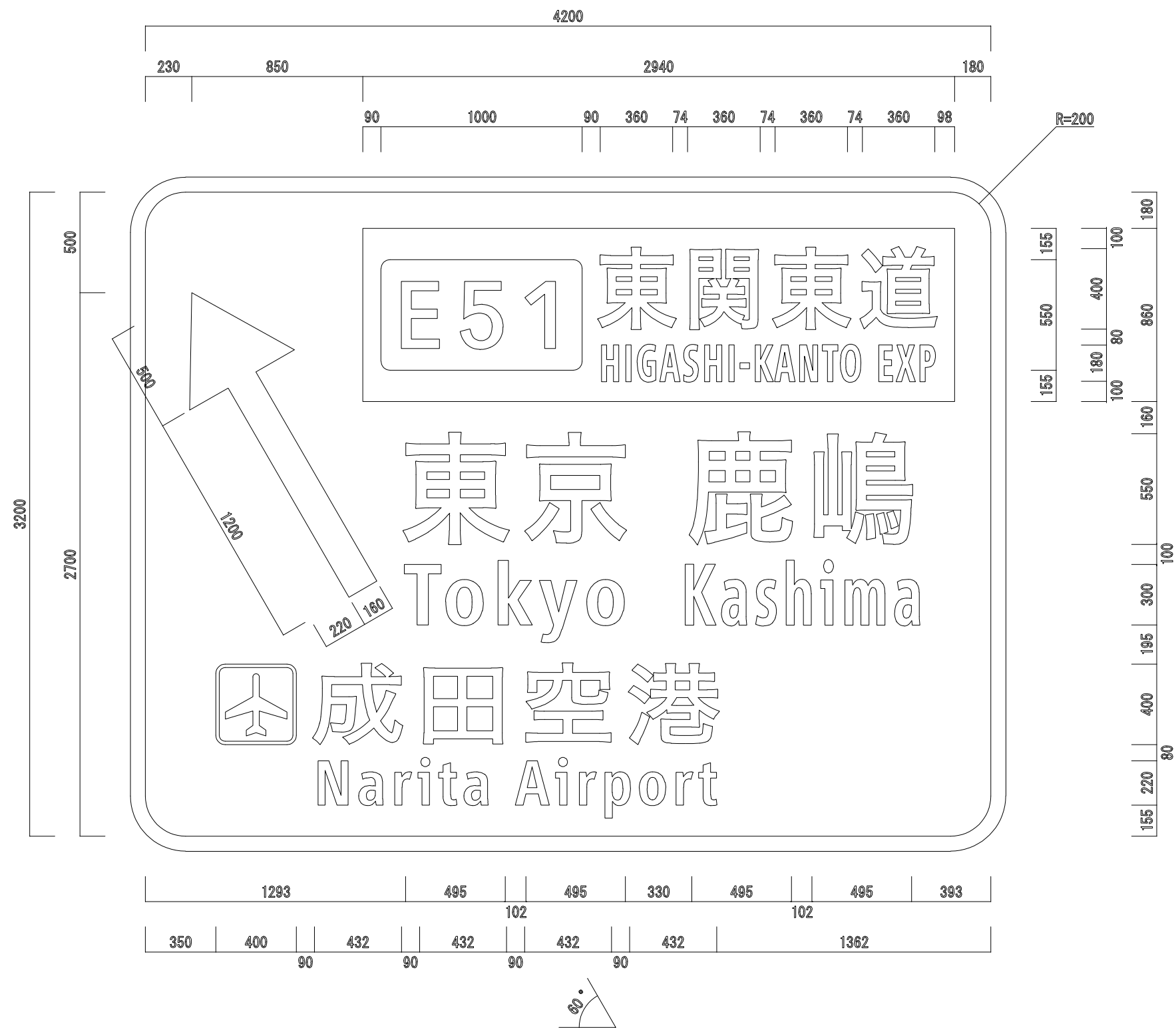
### 数量表

単価項目	マスキング寸法	面積	枚数	面積	備考
		m2		m2	
マスキング設置撤去工A	0.280 × 1.118	0.31	8	2.48	
	1.410 × 1.000	1.41	8	11.28	
	合 計		16	13.76	

※代表断面標識のみを表示する。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	市街地 マスキング工詳細図		
縮 尺	1/50	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(1)  
本内No. 6 圏央道 大栄JCT 行動点 STA. 4+30

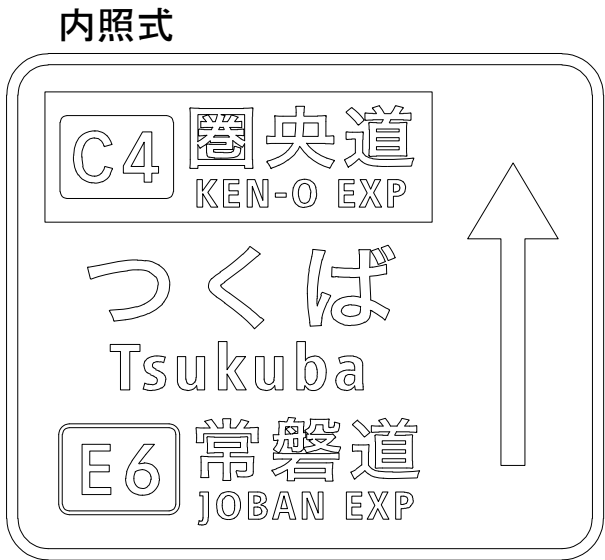
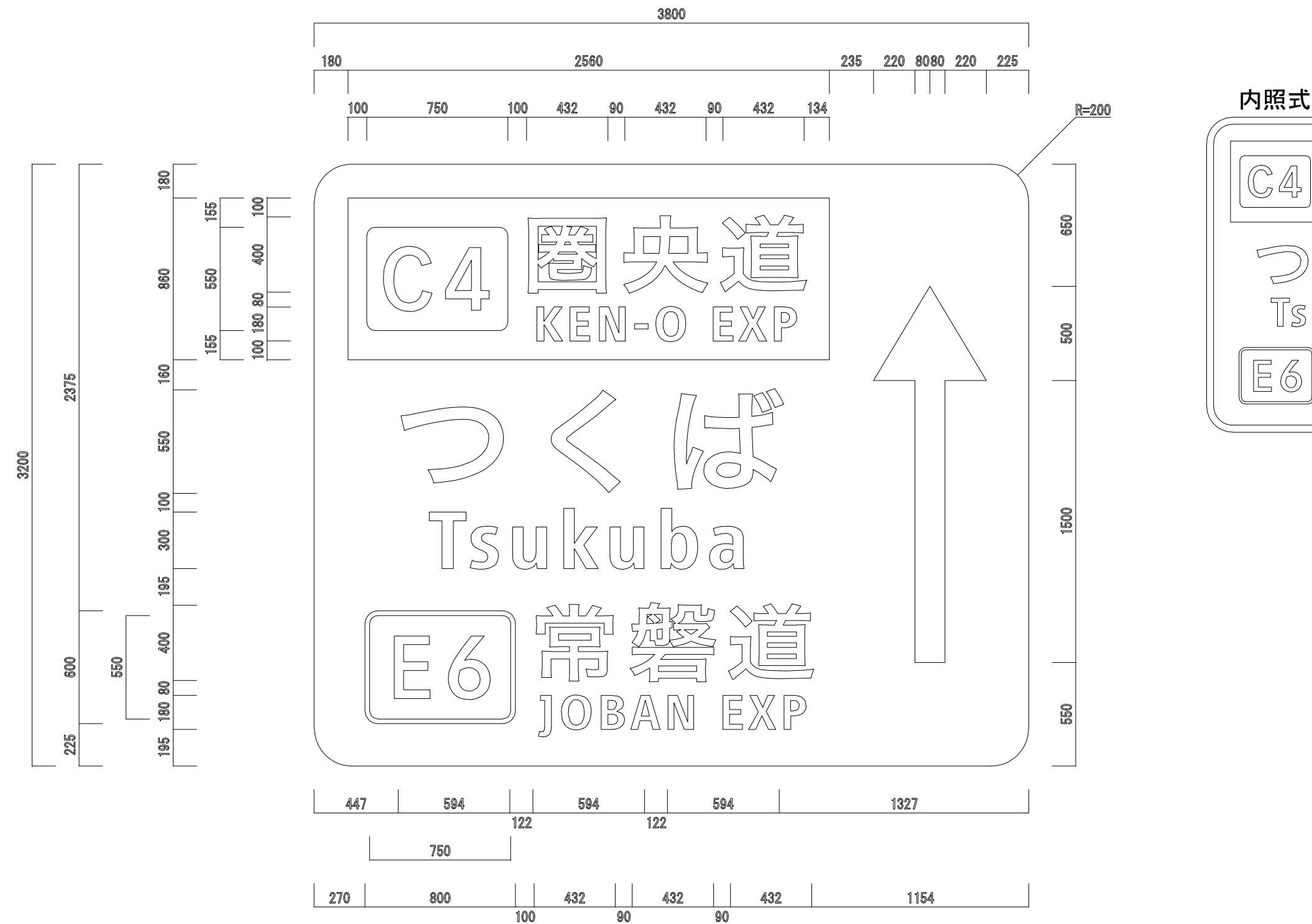


素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(1)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



本線・連絡等施設 標識レイアウト図(2)

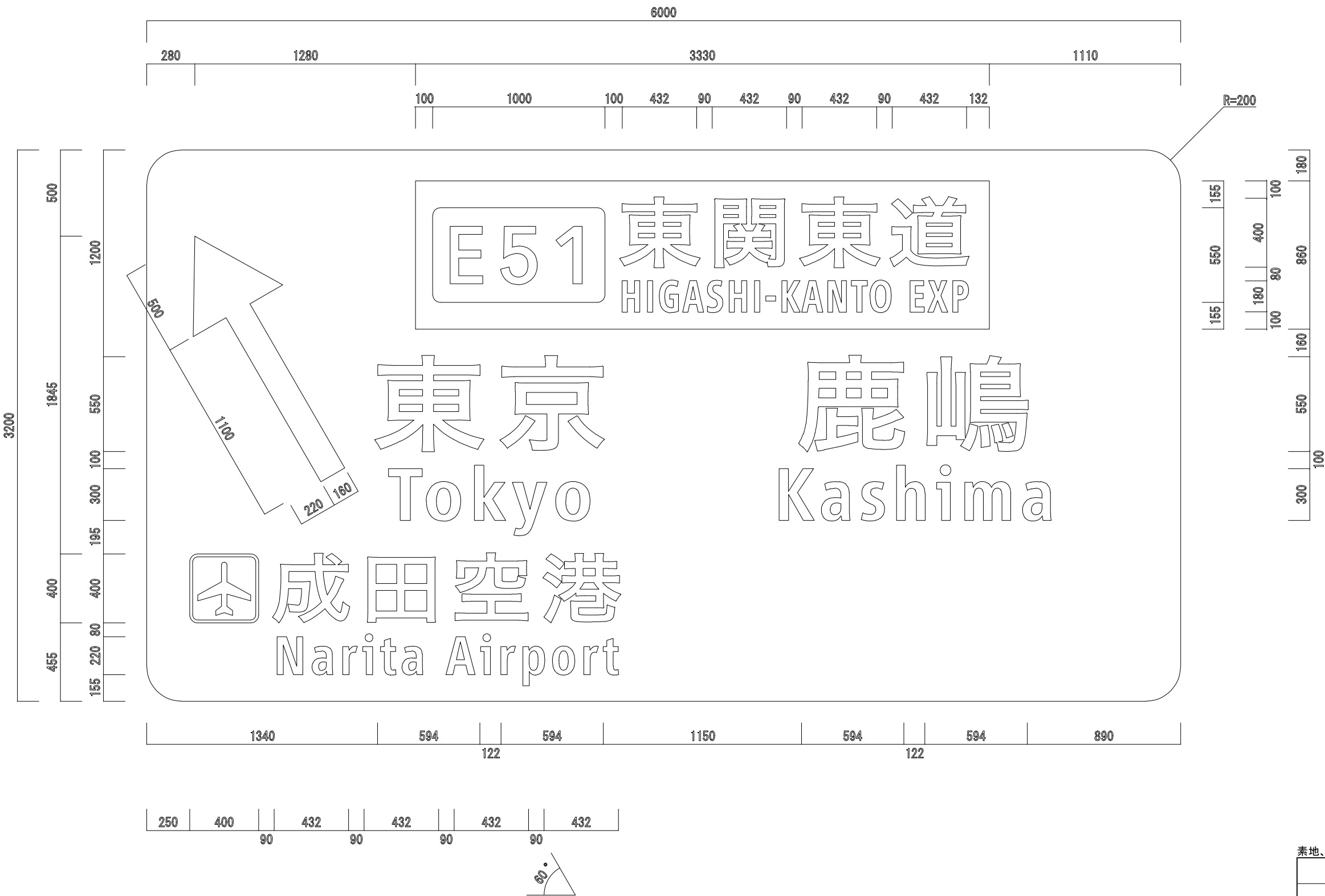
本内No. 6 圏央道 大栄JCT 分岐点 STA. 4+30 内照式  
本内No. 11 圏央道 大栄JCT 行動点 STA. 6+40  
本内No. 12 圏央道 大栄JCT 500m手前 STA. 10+40  
本内No. 16 圏央道 大栄JCT 1km手前 STA. 14+40



素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(2)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡施設 標識レイアウト図(3)

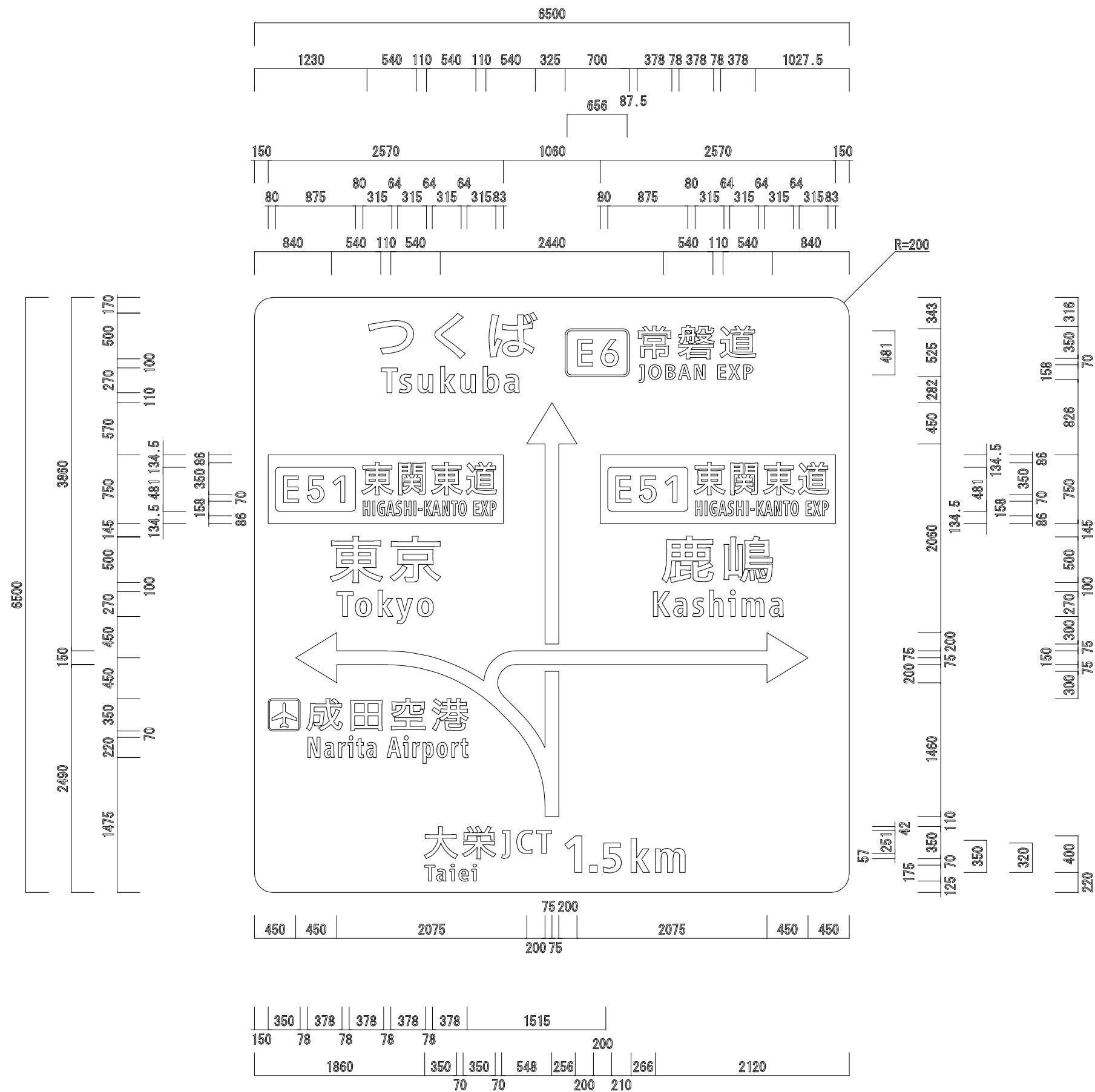
本内No. 11 圏央道 大栄JCT 行動点 STA. 6+40  
本内No. 12 圏央道 大栄JCT 500m手前 STA. 10+40  
本内No. 16 圏央道 大栄JCT 1km手前 STA. 14+40



素地、文字の色は、標準図集準用

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(3)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

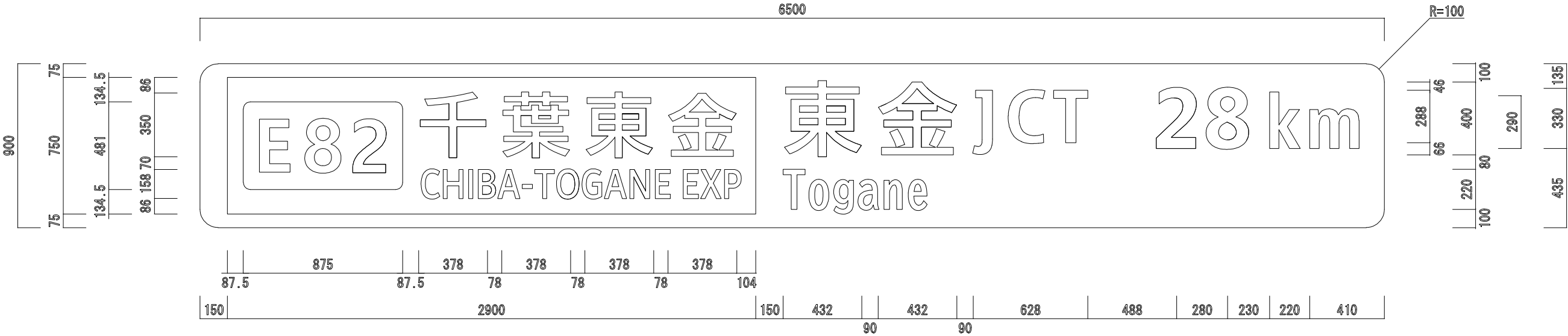
本線・連絡等施設 標識レイアウト図(4)  
本内No. 23 圏央道 大栄JCT 1.5km予告 STA. 19+40



素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(4)		
縮 尺	1/50	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(5)

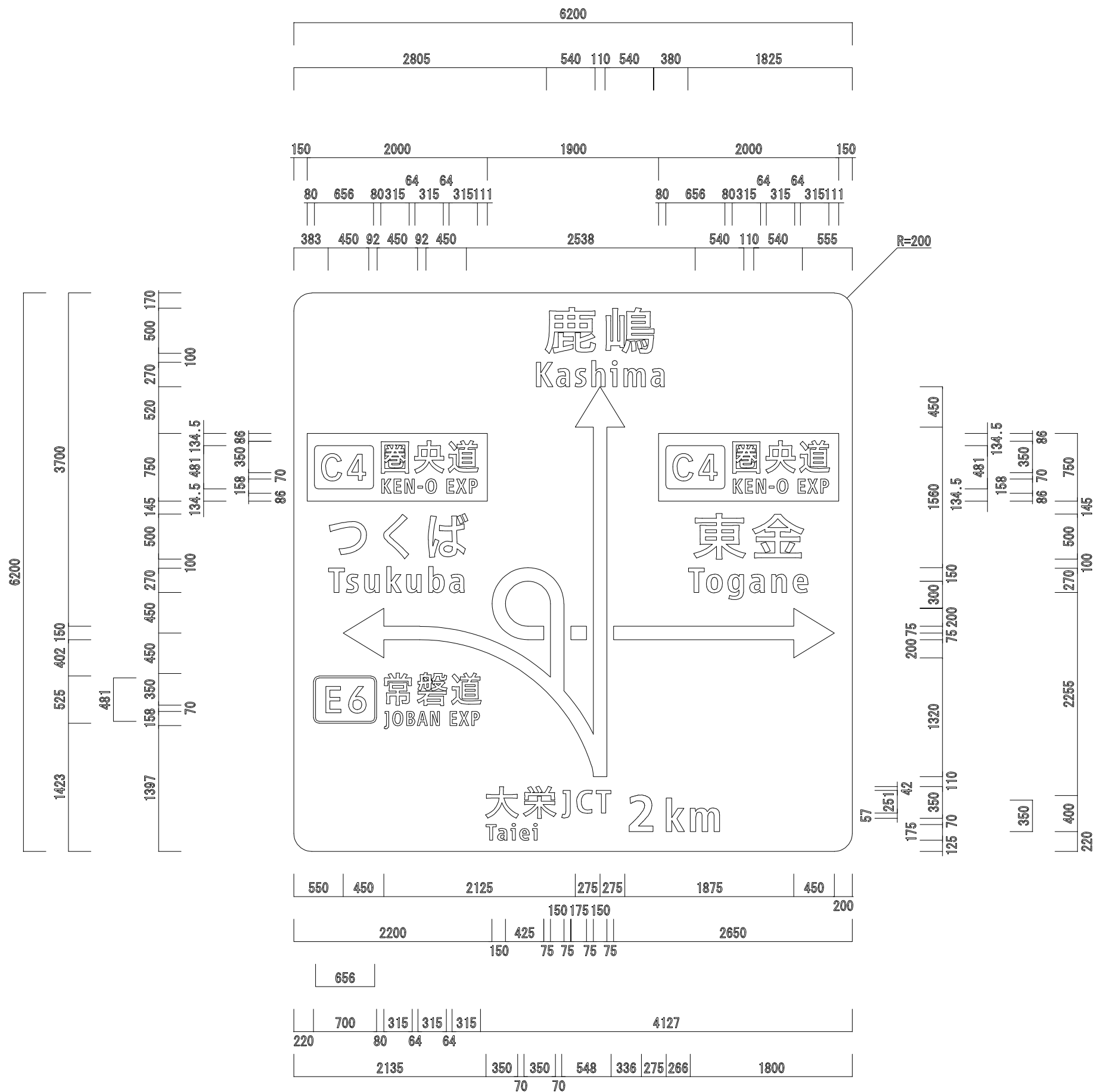
本外No. 59 圏央道 大栄JCT～国道296号IC STA. 46+00



素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(5)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(6)

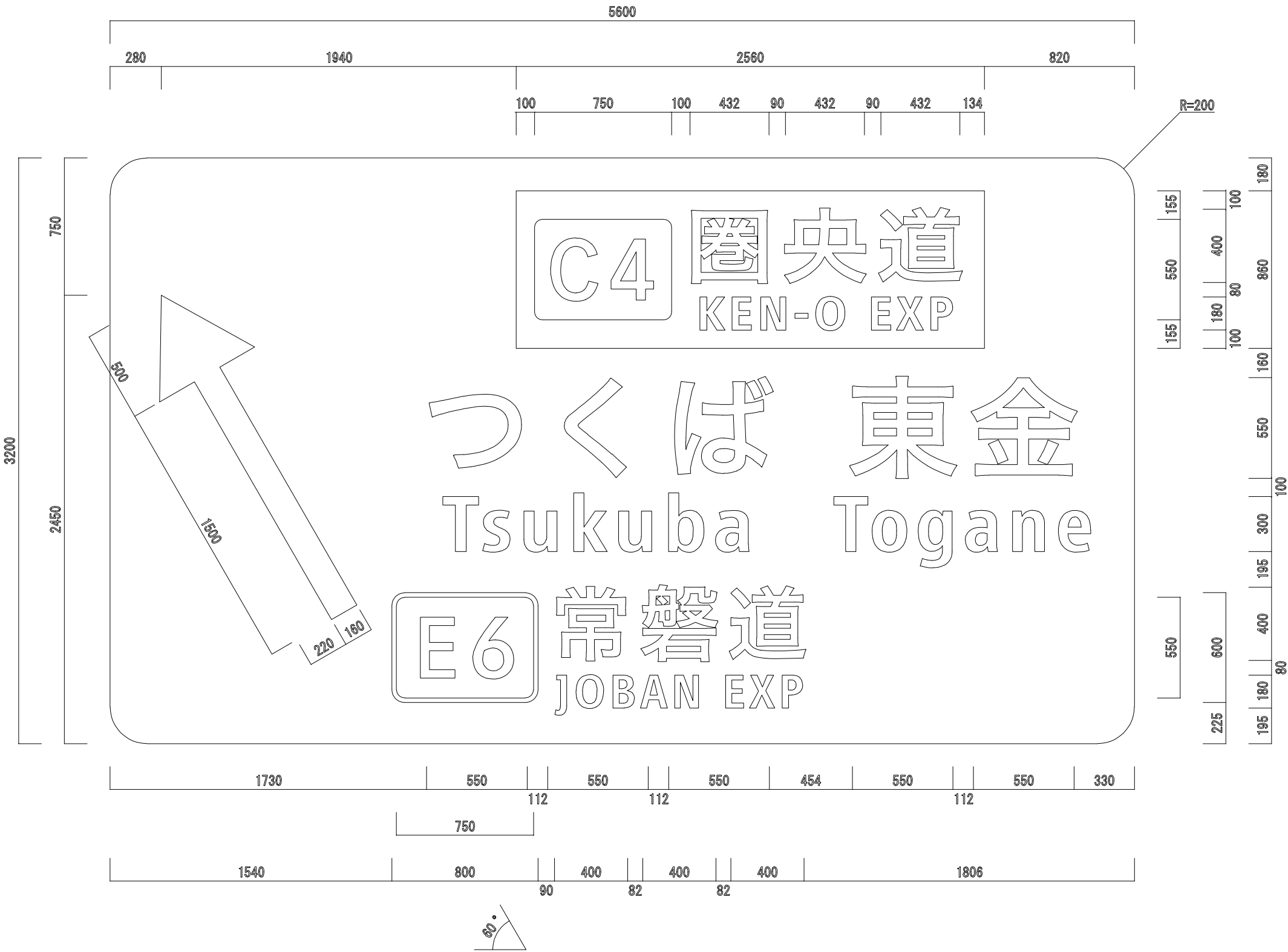
本下No. 2 東関東道 大栄JCT 2km予告 KP48.229



首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(6)		
縮 尺	1/50	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(7)

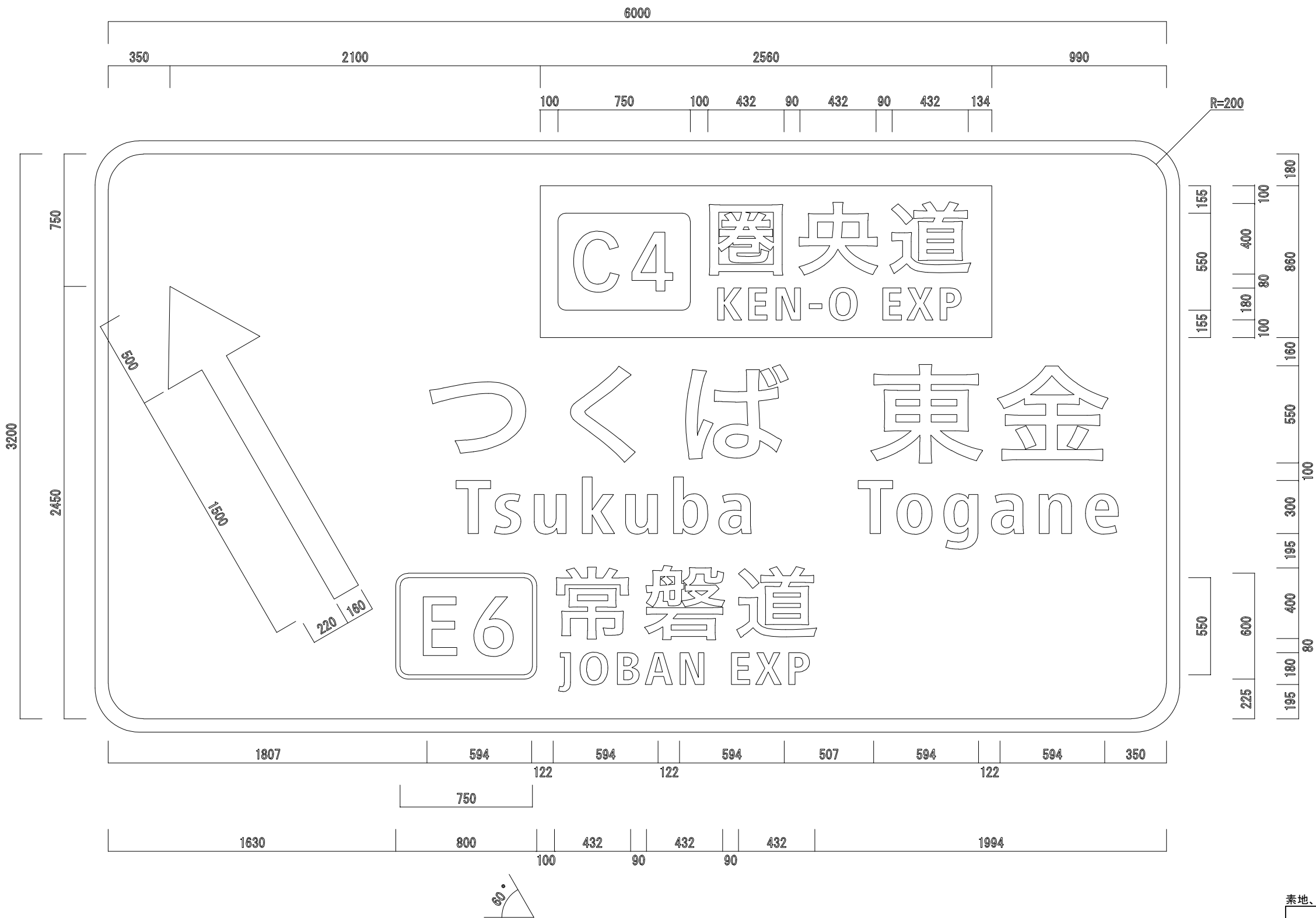
本下No. 3 東関東道 大栄JCT 1.3km手前 KP48.690  
本下No. 4 東関東道 大栄JCT 500m手前 KP49.480  
本下No. 5 東関東道 大栄JCT 行動点 KP49.870



素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(7)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(8)

本下No. 7 東関東道 大栄JCT 分岐点 STA. 50+23 (KP50. 100)



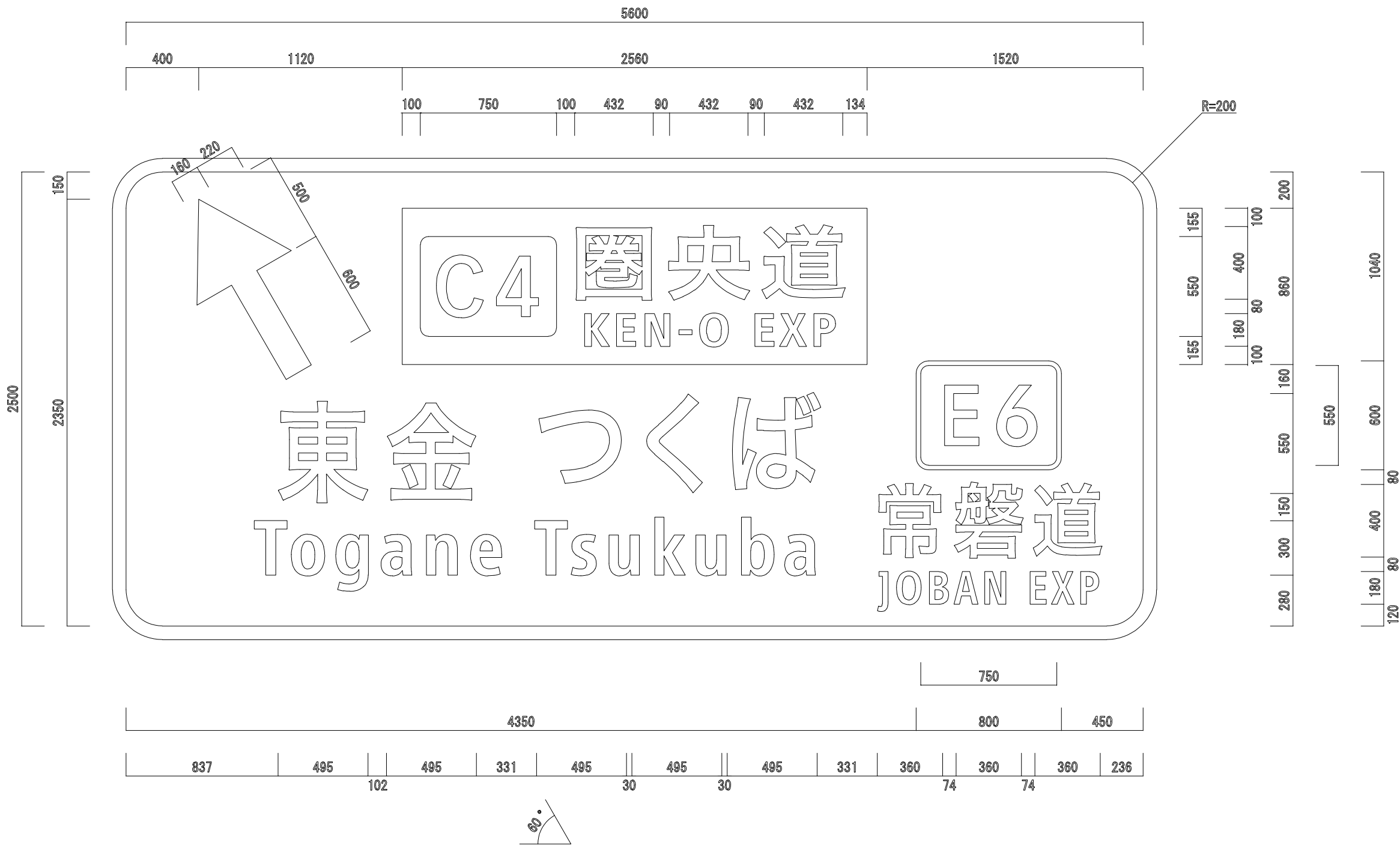
素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(8)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道			
成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(9)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



本線・連絡等施設 標識レイアウト図(10)

連大No. 3 連絡等施設 大栄JCT 分岐点 B-STA. 2+20



素地、文字の色は、標準図集準用			
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(10)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

Technical drawing of a rectangular road sign with dimensions and content. The sign is oriented horizontally and features a large arrow pointing upwards and to the right. The arrow is labeled with dimensions: 500 (width), 1100 (height), 220 (base width), and 160 (tip width). The sign contains the following text and symbols:

- Top Left:** A box containing the text "E 51".
- Top Right:** The text "東関東道" (Higashi-Kanto Expressway) and "HIGASHI-KANTO EXP" below it.
- Bottom Left:** The text "東京" (Tokyo) and "Tokyo" below it.
- Bottom Right:** A square symbol containing an airplane icon, followed by the text "成田空港" (Narita Airport) and "Narita Airport" below it.

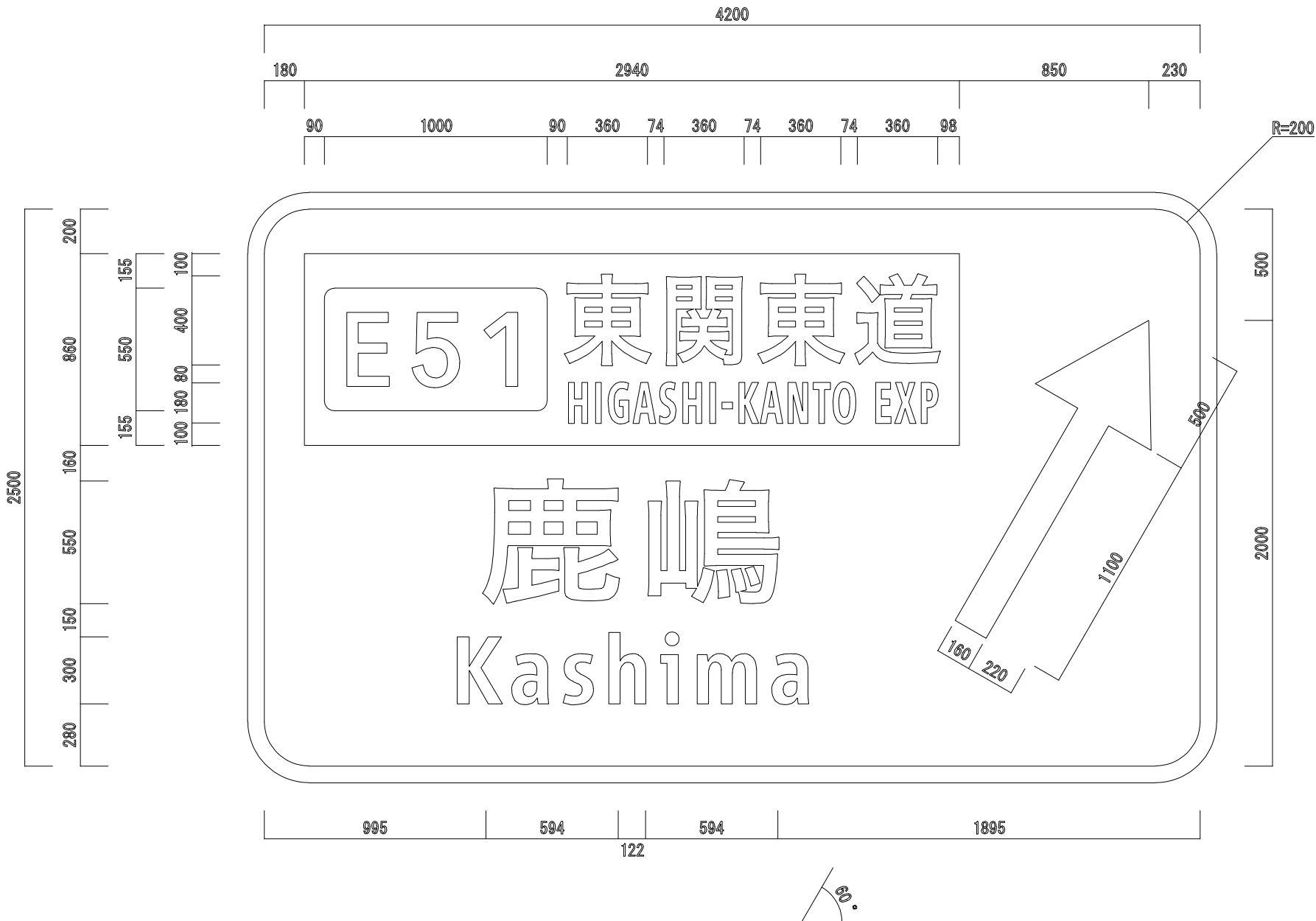
The drawing includes various dimension lines and labels:

- Overall Dimensions:** The sign is 2500 units high and 5600 units wide.
- Arrow Dimensions:** The arrow is 500 units wide at the base, 1100 units high, with a base width of 220 and a tip width of 160.
- Text and Symbol Dimensions:** The text "E 51" is 100 units wide and 100 units high. The text "東京" is 1270 units wide. The text "Tokyo" is 1270 units wide. The text "成田空港" is 1270 units wide. The text "Narita Airport" is 1270 units wide. The airplane icon is 100 units wide and 100 units high.
- Other Dimensions:** The sign has a 155 unit wide border on the left, a 155 unit wide border on the right, and a 155 unit wide border on the top. The sign has a 155 unit wide border on the bottom. The sign has a 155 unit wide border on the left, a 155 unit wide border on the right, and a 155 unit wide border on the top. The sign has a 155 unit wide border on the bottom.

首都圏中央連絡自動車道 成田横線工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 横線レイアウト図(11)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(12)

連大No. 8 連絡等施設 大栄JCT 分岐点 C-STA. 3+35

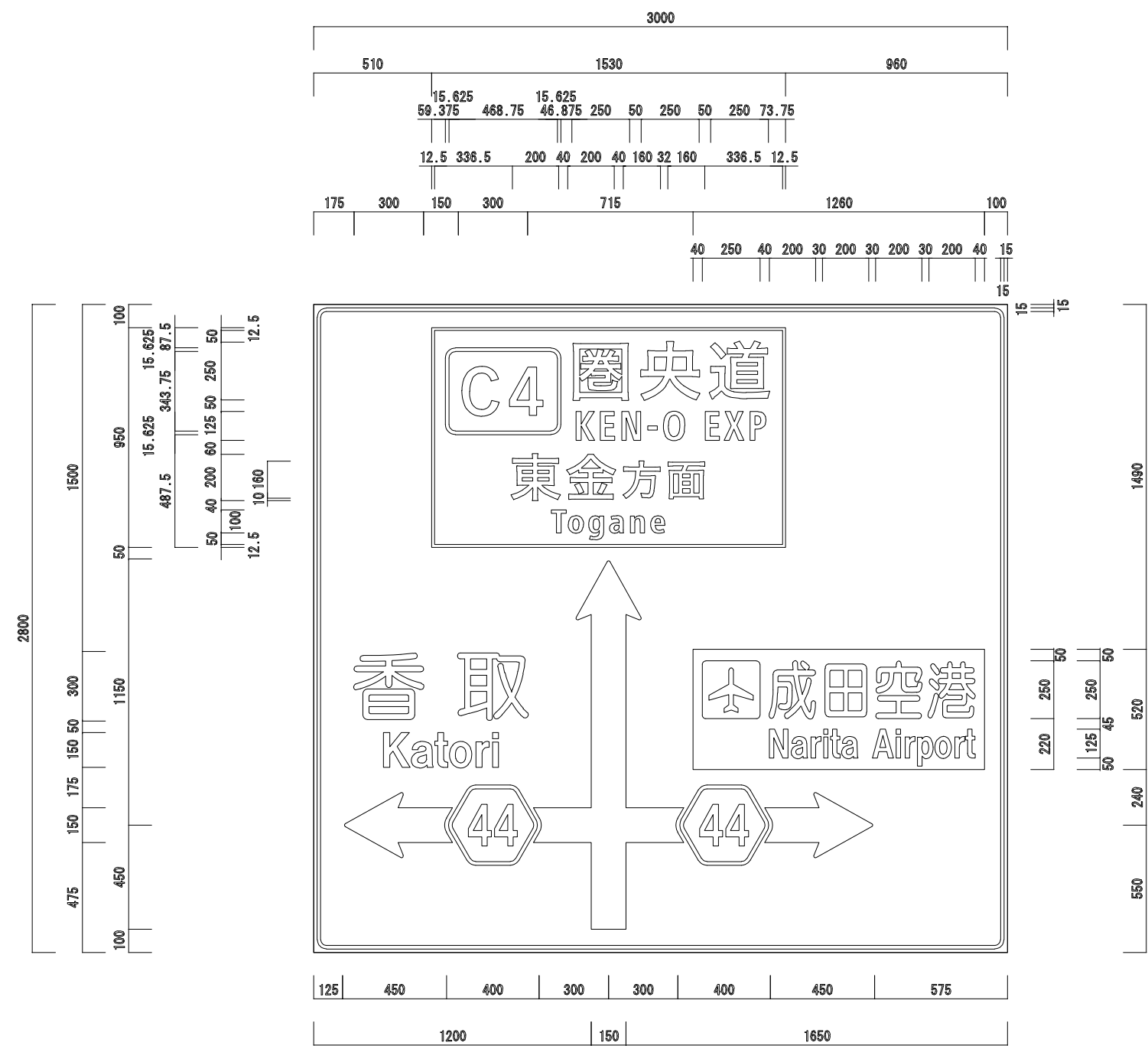


素地、文字の色は、標準図集準用

首都圏中央連絡自動車道			
成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(12)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(13)

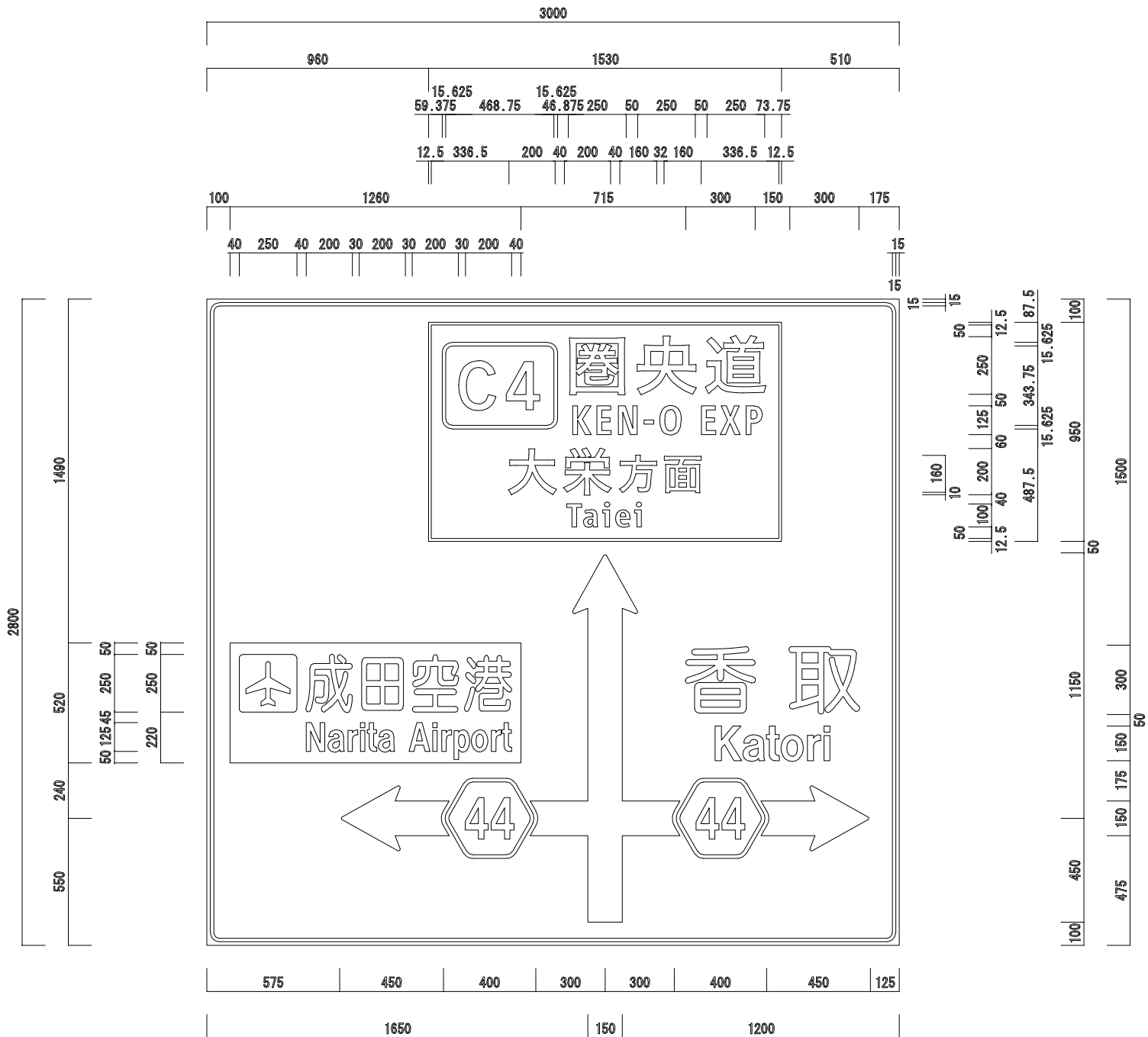
連成No. 34 連絡等施設 (主)成田小見川鹿島港線IC(仮称) E-STA. 1+25



首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(13)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(14)

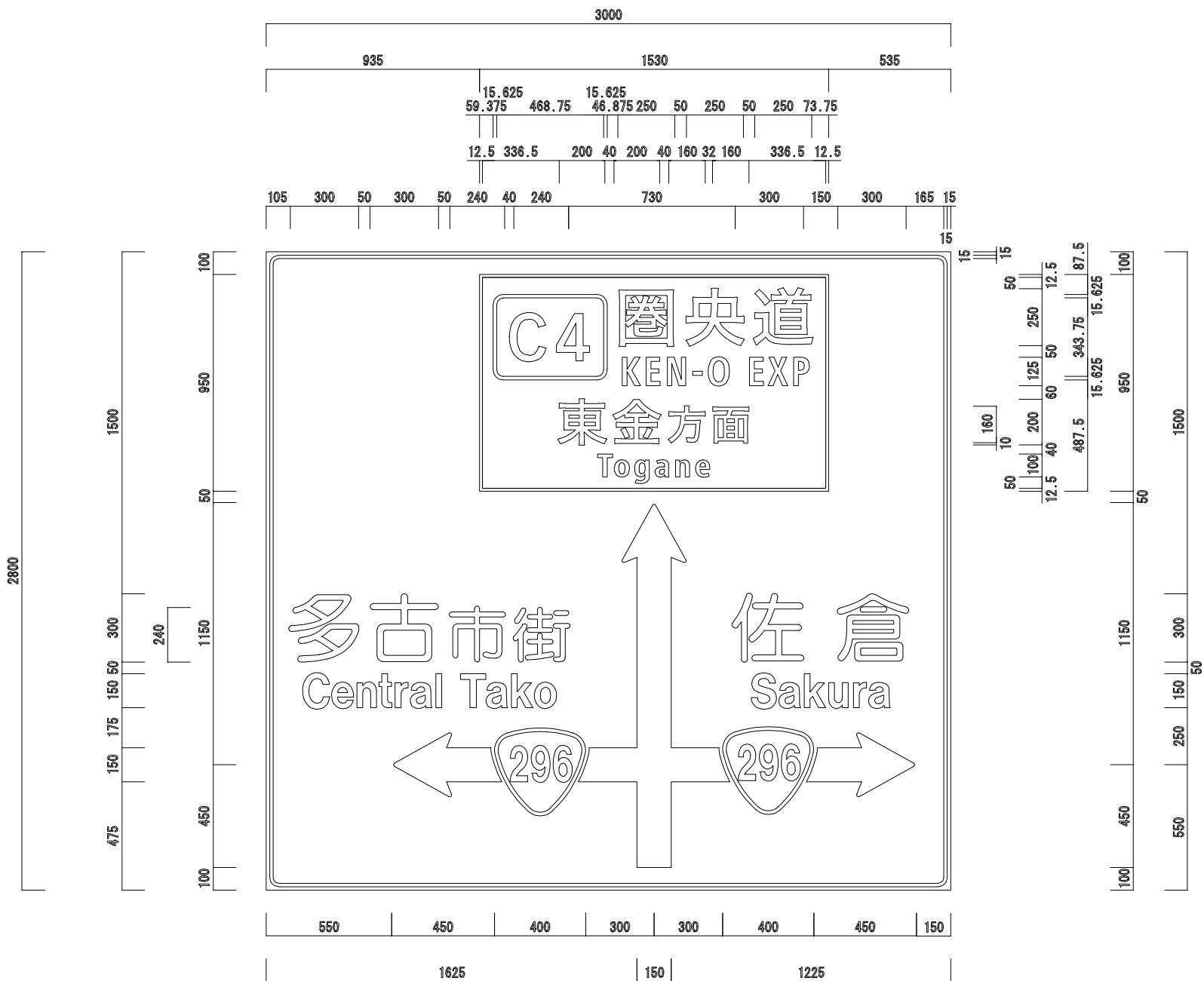
連成No. 46 連絡等施設 (主)成田小見川鹿島港線IC(仮称) F-STA. 1+25



首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(14)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

本線・連絡等施設 標識レイアウト図(15)

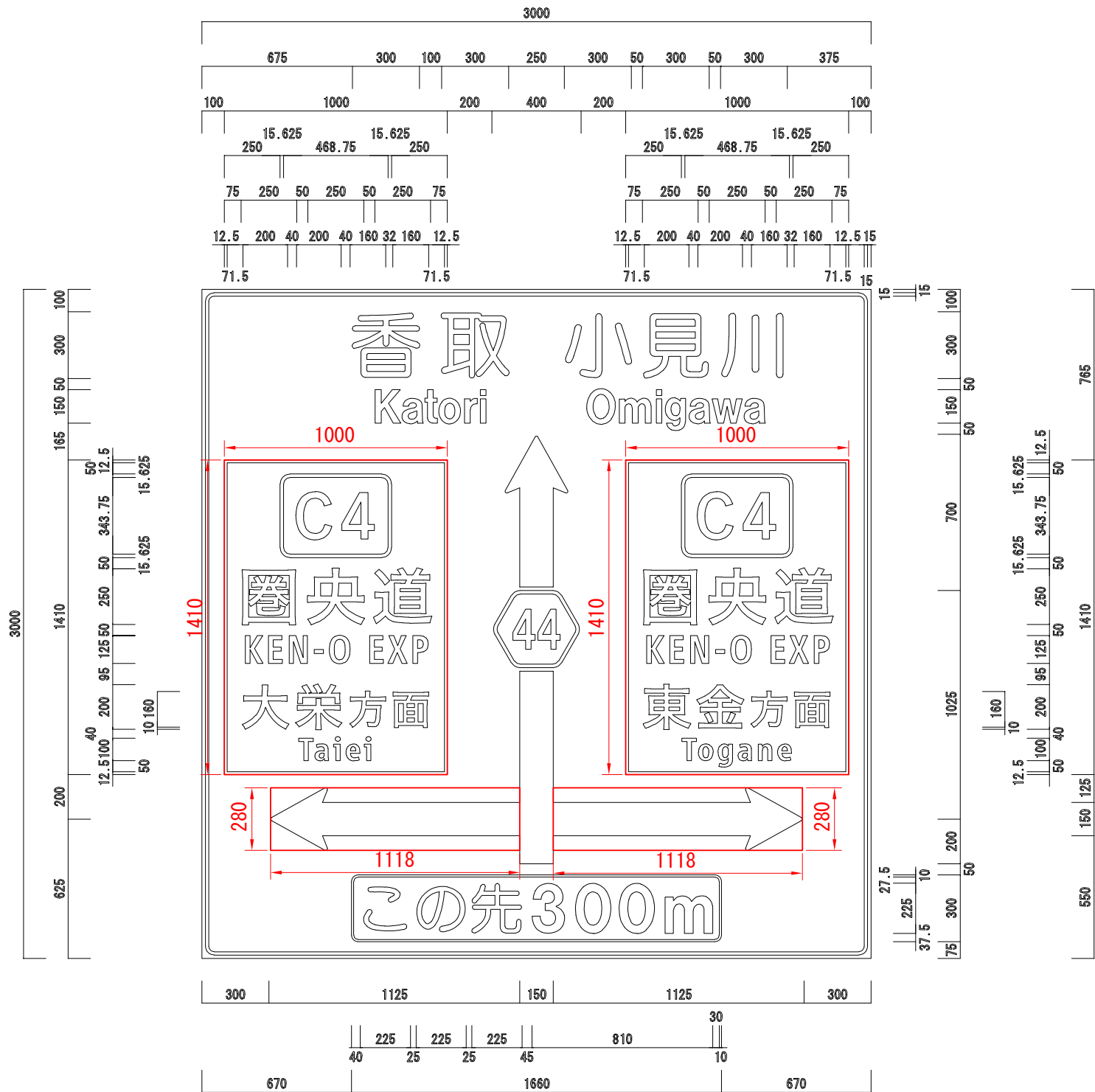
連2No. 18 連絡等施設 国道296号IC(仮称) E-STA. 1+40



首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	本線・連絡等施設 標識レイアウト図(15)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

市街地 標識レイアウト図(1)

市No. 1 市街地標識 標識柱番号44-202

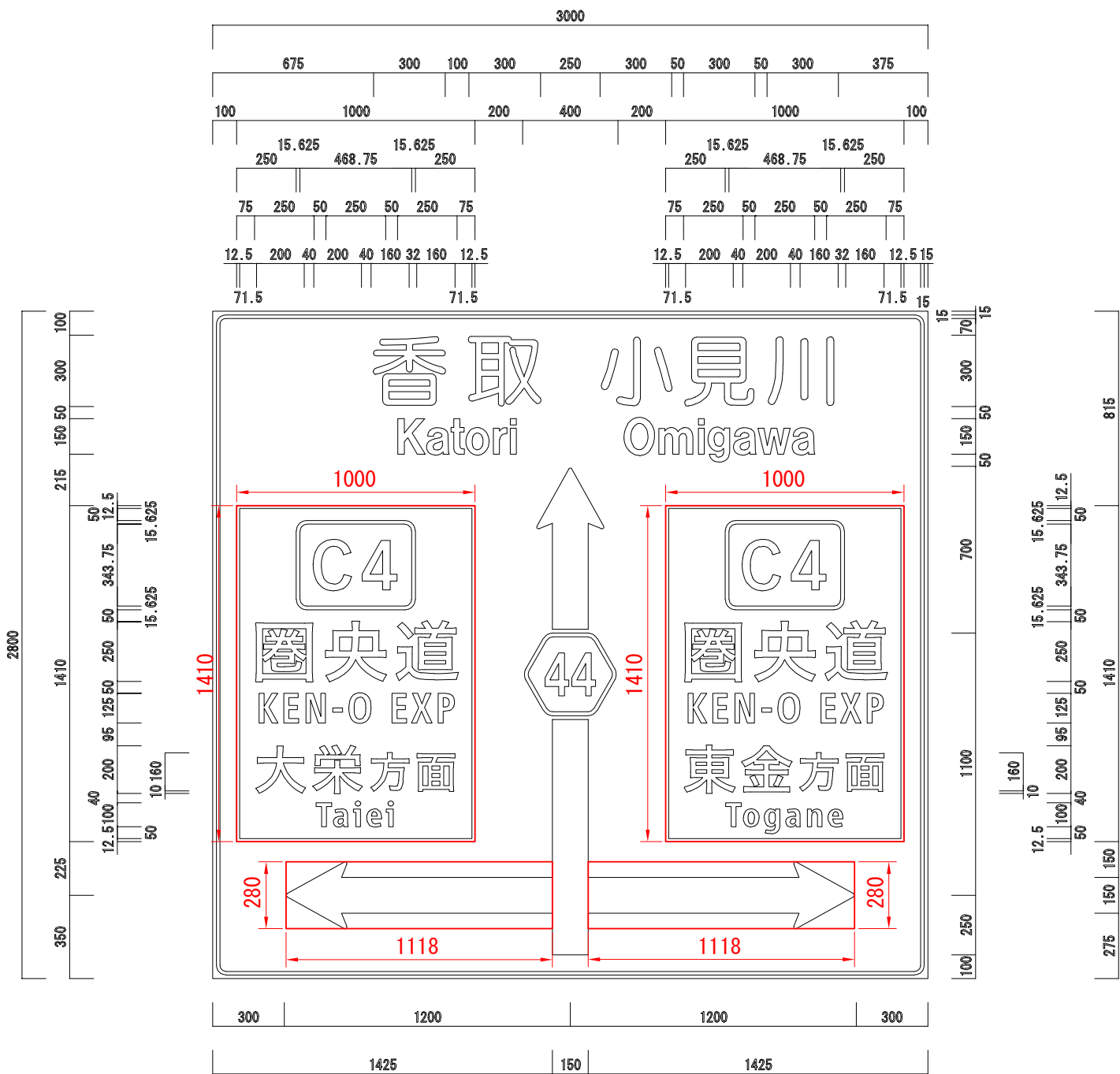


※赤線はマスキング  
素地、文字の色は、標準図集準用

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	市街地 標識レイアウト図(1)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

市街地 標識レイアウト図(2)

市No. 2 市街地標識 標識柱番号44-201



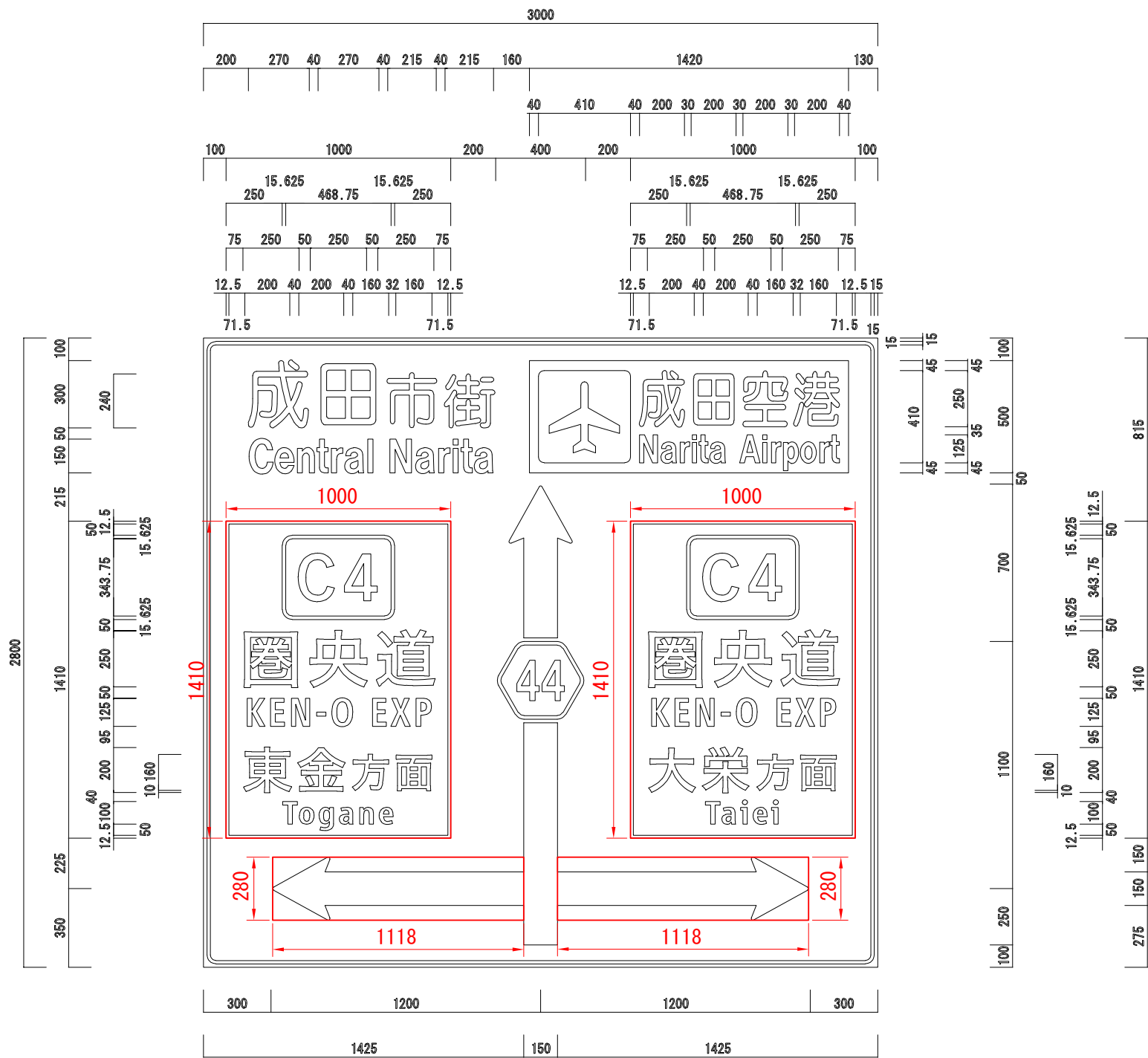
※赤線はマスキング  
素地、文字の色は、標準図集準用

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	市街地 標識レイアウト図(2)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



市街地 標識レイアウト図(3)

市No. 3 市街地標識 標識柱番号44-203

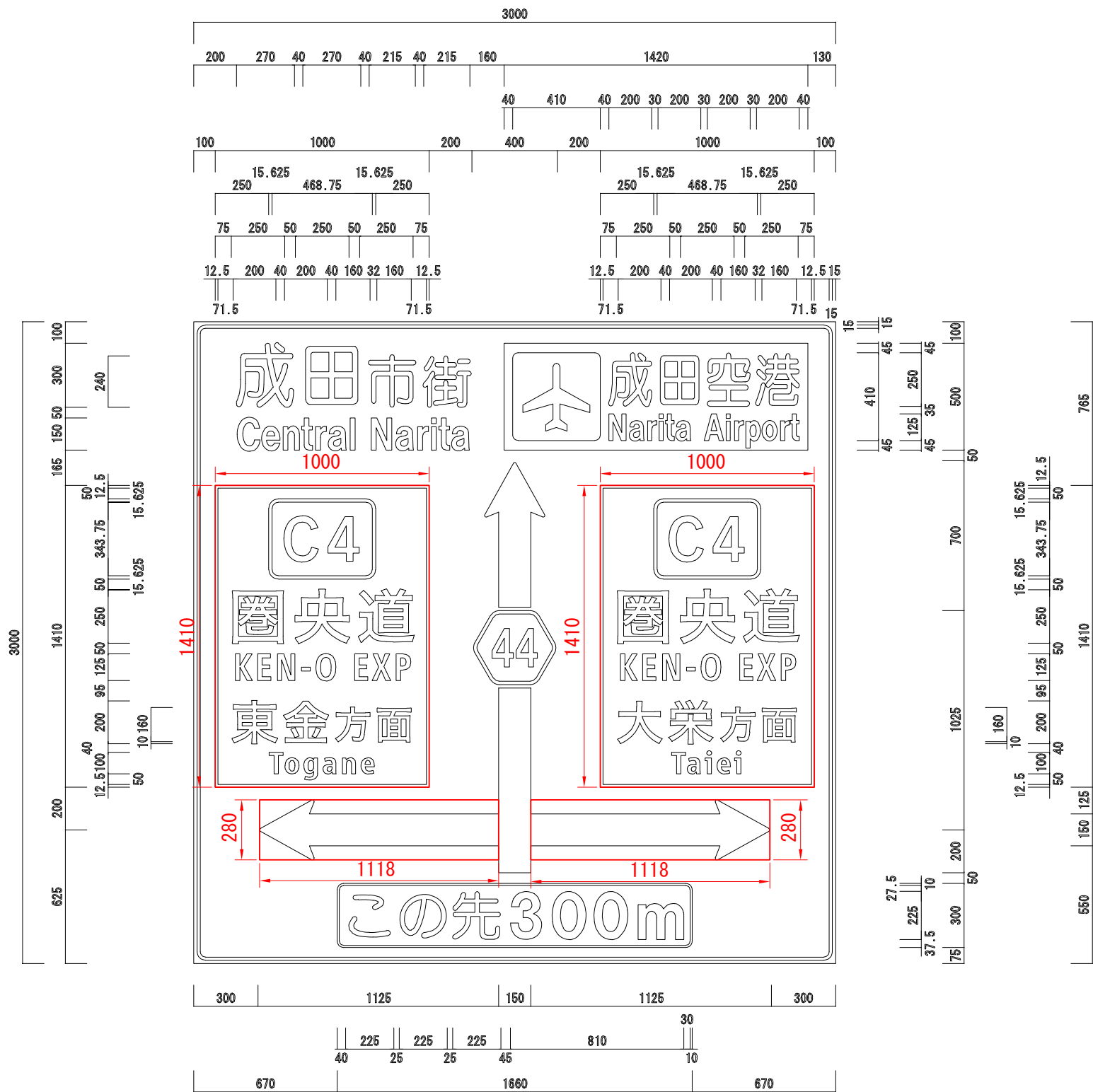


※赤線はマスキング  
素地、文字の色は、標準図集準用

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	市街地 標識レイアウト図(3)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

市街地 標識レイアウト図(4)

市No. 4 市街地標識 標識柱番号44-204



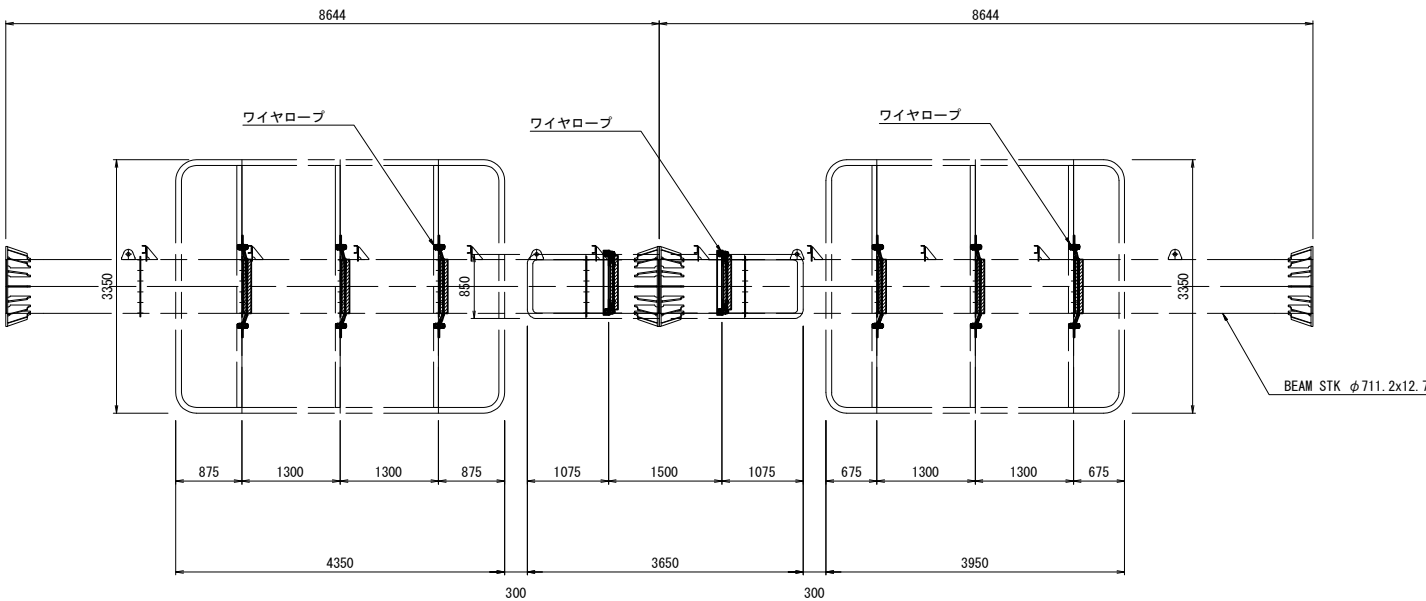
※赤線はマスキング  
素地、文字は色は、標準図集準用

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	市街地 標識レイアウト図(4)		
縮 尺	1/25	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

標識板落下防止装置詳細図(1)

本内No. 6 圏央道 大栄JCT 分岐点 STA. 4+30

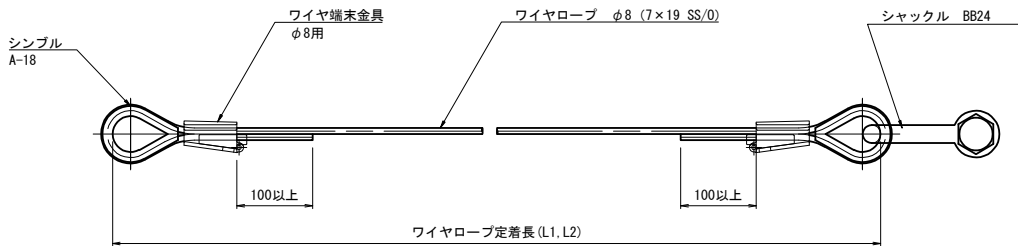
ワイヤロープ配置図 S=1/100



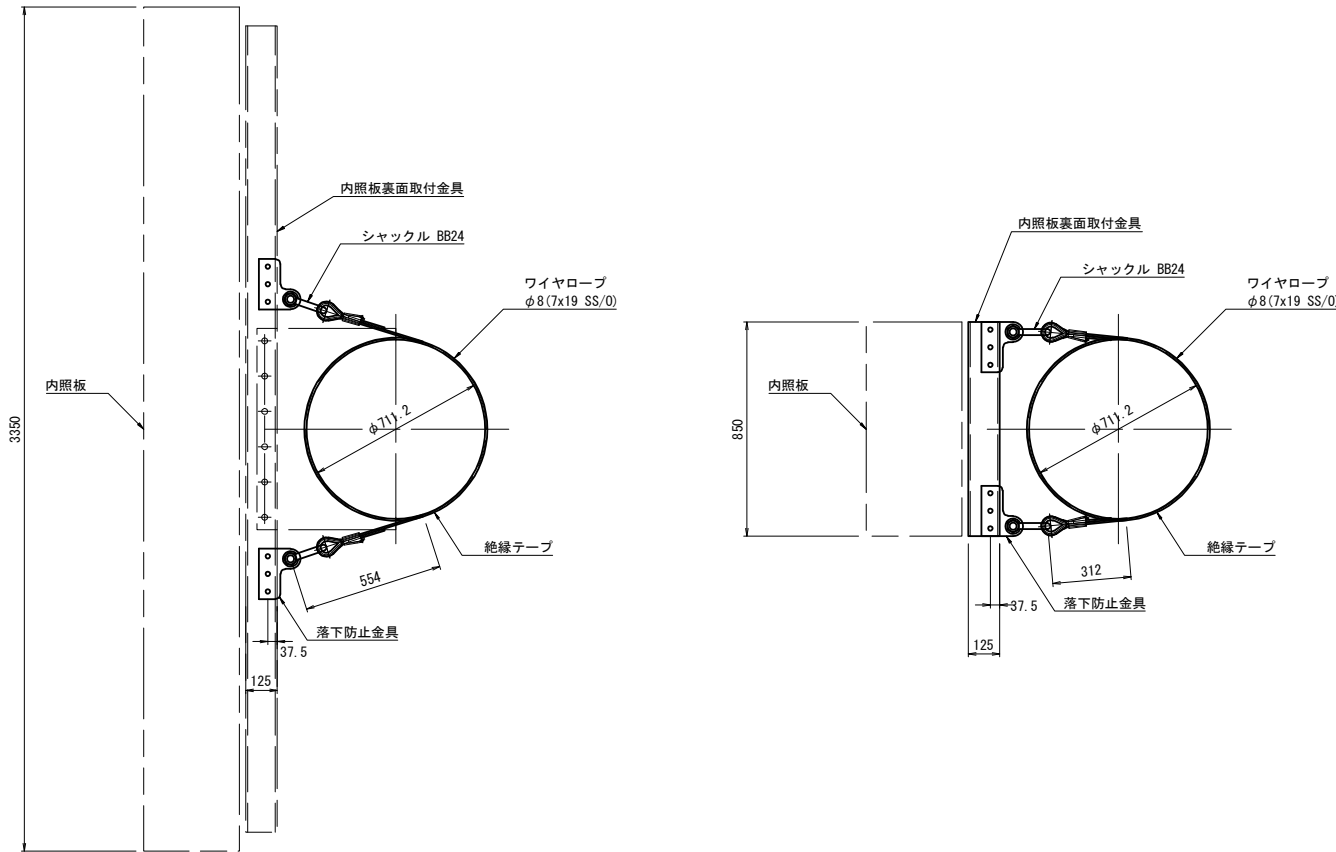
MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ	SUS φ8 (7×19 SS/0)	(4.5m)	6	(27.0m)	(L1寸法)
ワイヤロープ	SUS φ8 (7×19 SS/0)	(4.0m)	2	(8.0m)	(L2寸法)
シンブル	SUS A-18	-	16	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ8用	-	16	-	
シャックル	SS400 BB24 (HDZT49, ナイロコチンゲ)	-	16	-	
落下防止金具	SS400 PL-12×165×200 (HDZT77)	-	16	-	
ボルト	M16×60 (1-UN, 2-PW)	-	48	-	緩み止めナット
絶縁テープ	W=100	-	8	-	φ711.2用

注意：  
1) 内照板メーカーにより、表面取付金具が異なる為、ワイヤ長(L1, L2寸法)は参考値を示す。

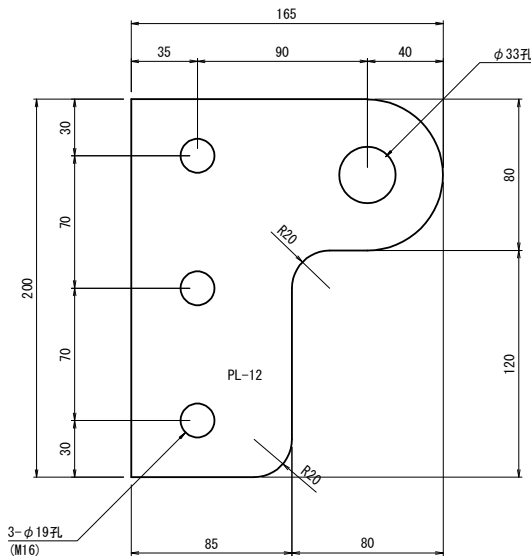
ワイヤロープ組立図 S=1/10



ワイヤロープ取付詳細図 S=1/30



落下防止金具詳細図 S=1/4

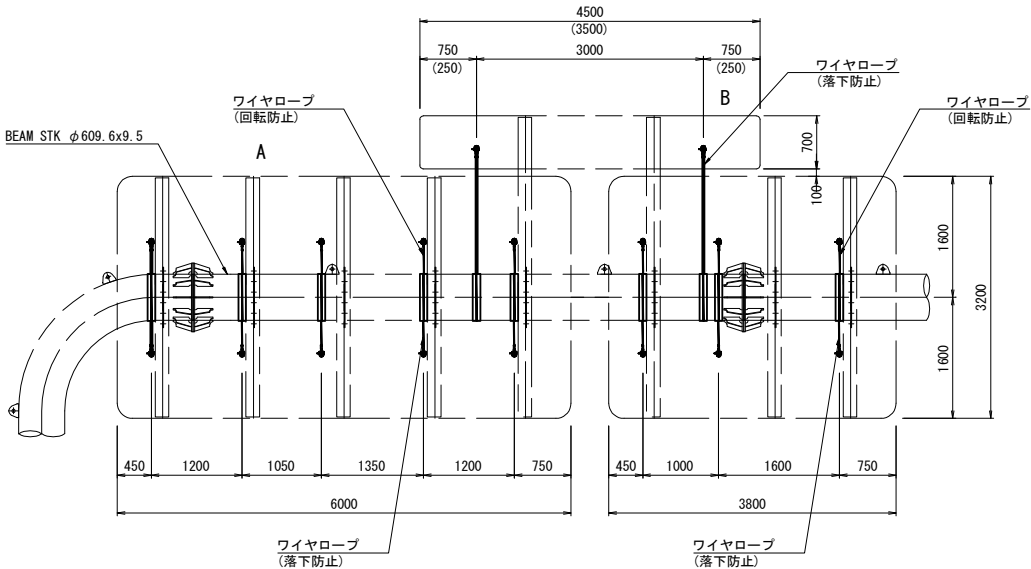


首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置詳細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

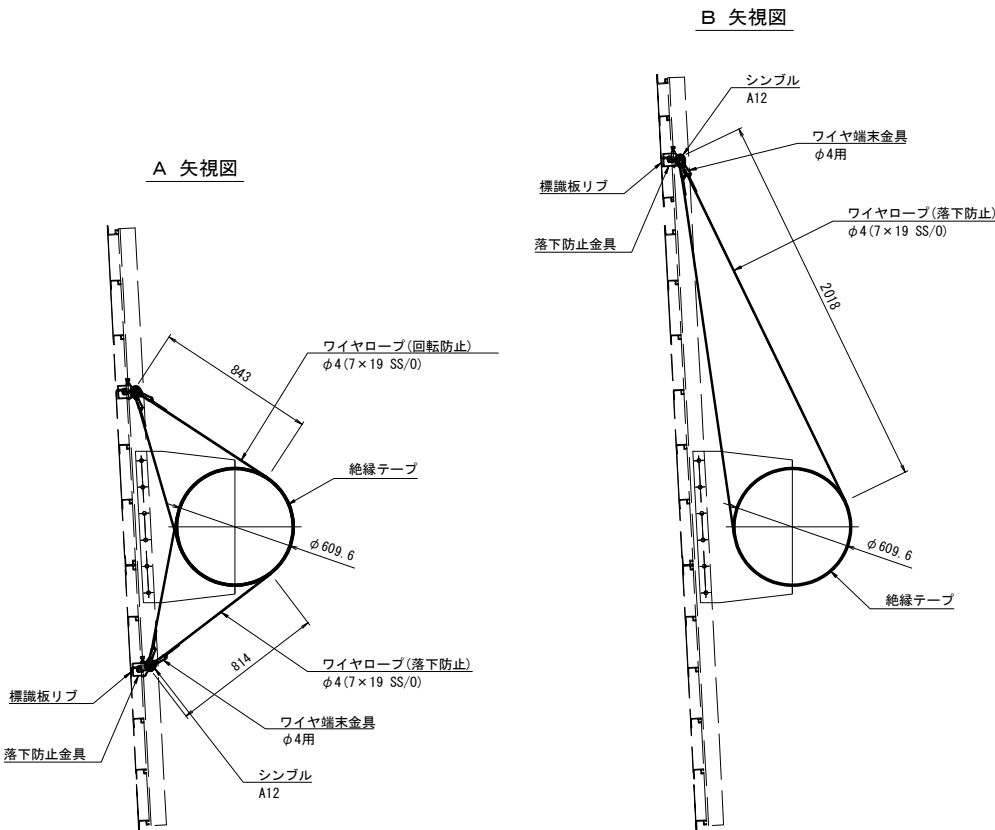
標識板落下防止装置詳細図(2)

本内No. 11 圏央道 大栄JCT 行動点 STA. 6+40  
本内No. 12 圏央道 大栄JCT 500m予告 STA. 10+40  
本内No. 16 圏央道 大栄JCT 1km予告 STA. 14+40

ワイヤロープ配置図 S=1/100



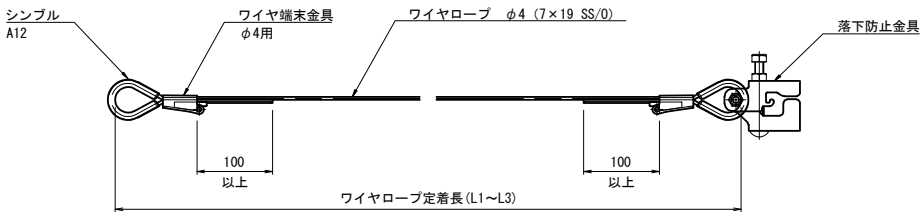
ワイヤロープ取付詳細図 S=1/40



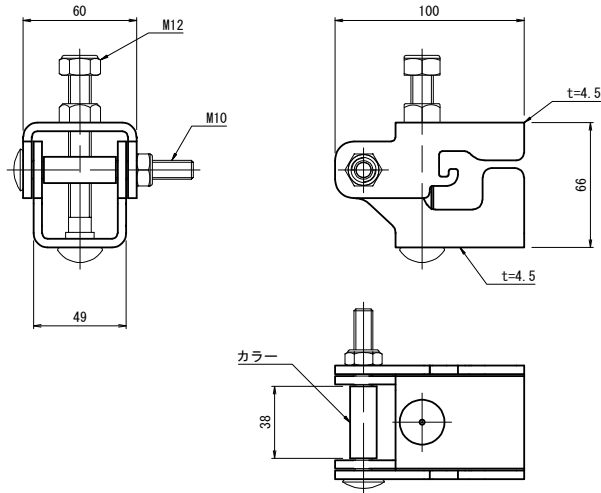
MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ (落下防止)	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(4.5m)	8	(36.0m)	(L1寸法)
ワイヤロープ (回転防止)	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(4.6m)	8	(36.8m)	(L2寸法)
ワイヤロープ (落下防止)	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(6.9m)	2	(13.8m)	(L3寸法)
シンプル	SUS A-12	-	36	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ4用	-	36	-	
落下防止金具	SS400 (HDZT77, ナイロコチング)	-	18	-	一式
絶縁テープ	W=100	-	10	-	φ609.6用

注意：  
(1) 標識板内容により、基板寸法が異なる為、ワイヤ長(L1～L3寸法)は参考値を示す。  
製作メーカー等確認し決定すること。  
(2) ワイヤ取付箇所はバランス良く配置し、標識板の継ぎ目等を避け設置すること。

ワイヤロープ組立図 S=1/10



落下防止金具詳細図 S=1/4

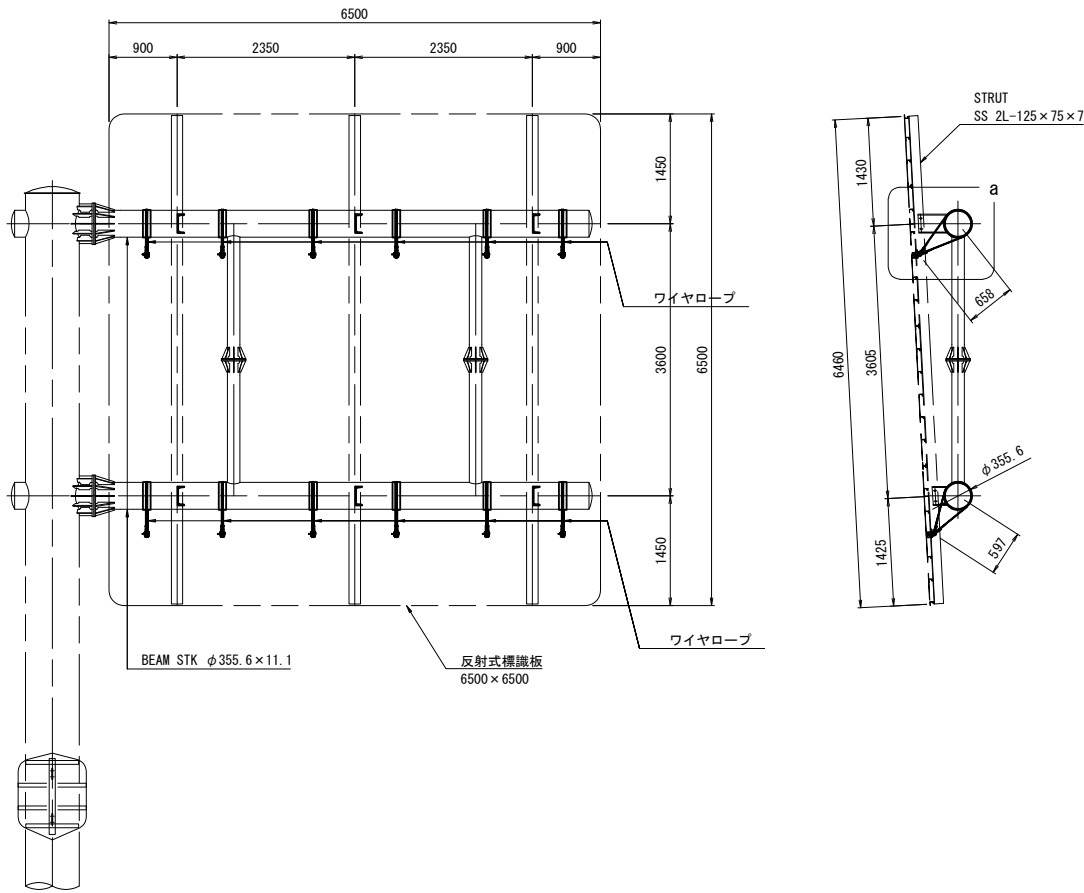


首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置詳細図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

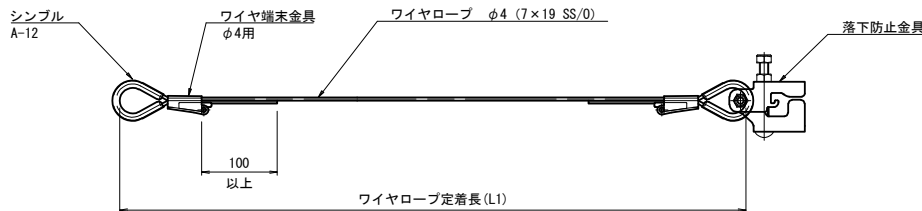
### 標識板落下防止装置詳細図(3)

本内No. 23 圏央道 大栄JCT 1.5km予告 STA. 19+40

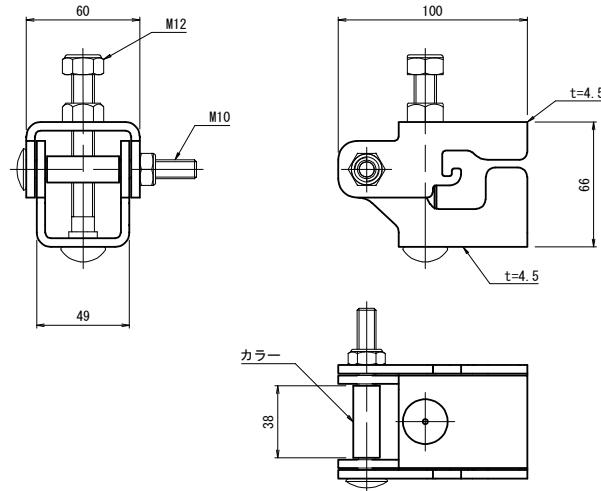
ワイヤロープ配置図 S=1/100



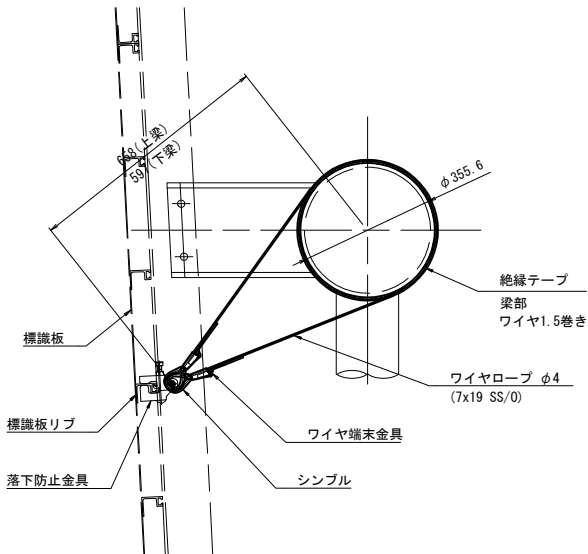
ワイヤロープ組立図 S=1/10



落下防止金具詳細図 S=1/4



a -DETAIL S=1/20



MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(2.9m)	12	(34.9m)	(L1寸法)
シンプル	SUS A-12	-	24	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ4用	-	24	-	
落下防止金具	SS400 (HDZ177, ナイロコンテイング)	-	12	-	一式
絶縁テープ	W=100	-	12	-	φ355.6用

注意：

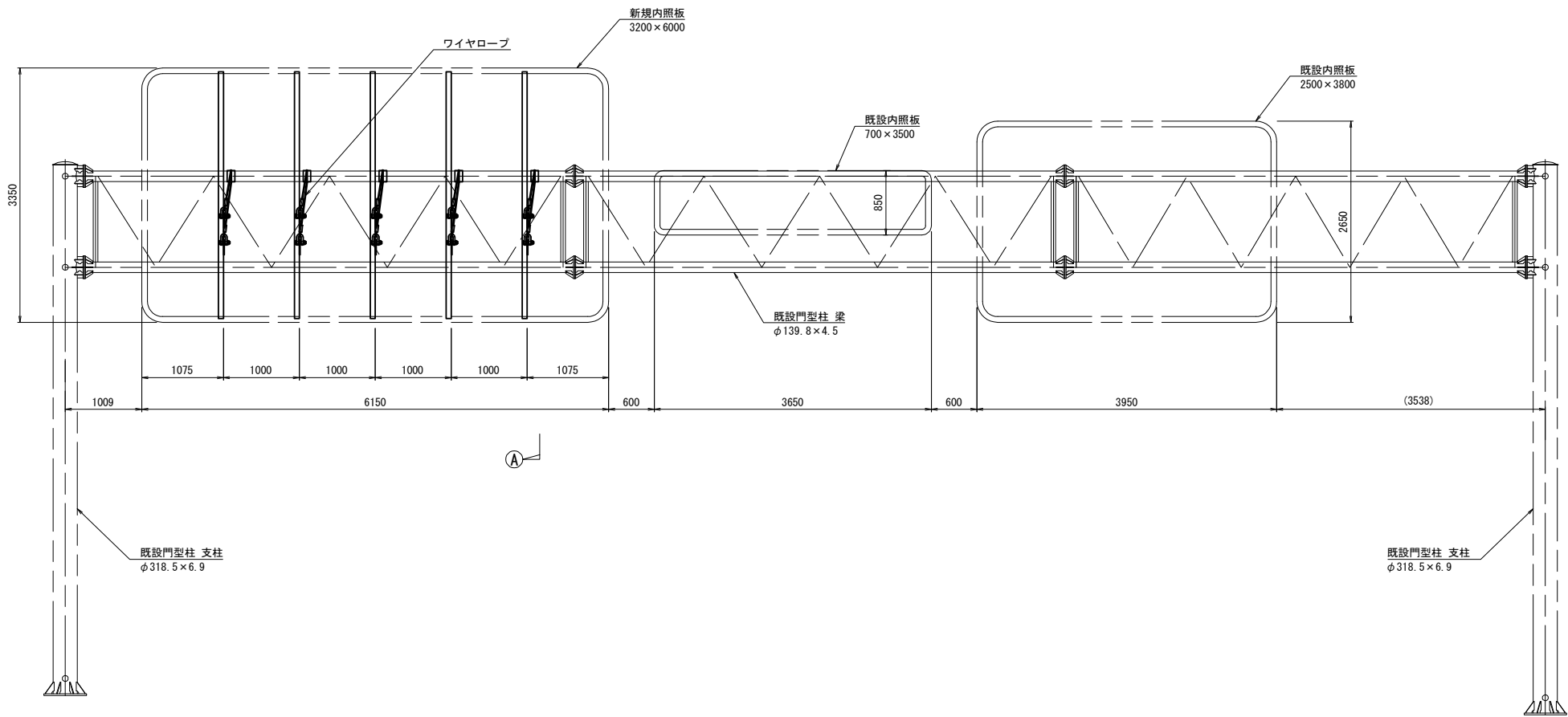
- (1) 標識板内容により、基板寸法が異なる為、ワイヤ長(L寸法)は参考値を示す。  
製作メーカー等確認し決定すること。
- (2) ワイヤ取付箇所はバランス良く配置し、標識板の継ぎ目等を避け設置すること。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置詳細図 (3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

標識板落下防止装置詳細図(4)

本下No. 7 東関東道 大栄JCT 分岐点 50.100kp

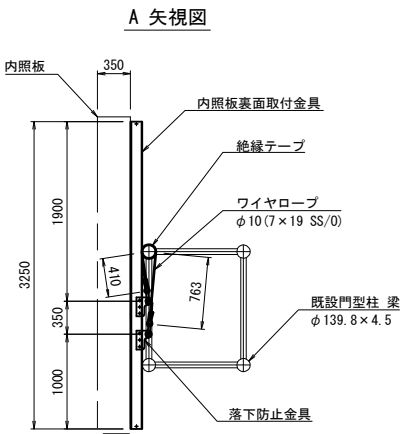
ワイヤロープ配置図 S=1/80



MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ	SUS φ10 (7×19 SS/0)	(1.84m)	5	(9.2m)	(L1寸法)
シンプル	SUS A-18	-	10	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ10用	-	10	-	
シャックル	SS400 SB24 (HDZT49, ナイロコティング)	-	10	-	
絶縁テープ	W=100	-	5	-	φ139.8用
落下防止金具	SS400 PL-12×165×200 (HDZT77)	-	10	-	
ボルト	M16×50 (1-UN, 2-PW)	-	30	-	緩み止めナット

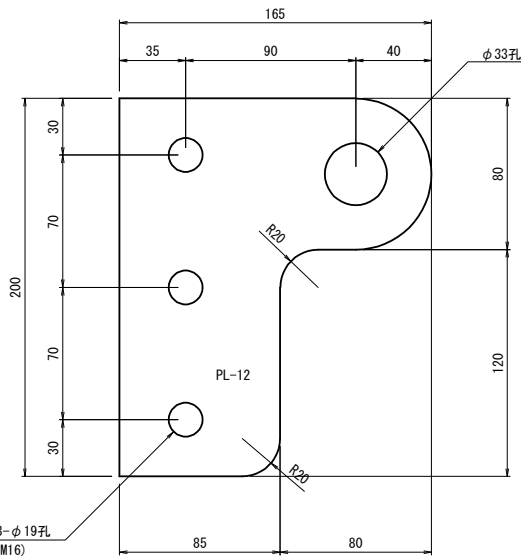
注意：  
1) 内照板メーカーにより、裏面取付金具が異なる為、ワイヤ長(L1寸法)は参考値を示す。

落下防止金具詳細図 S=1/80

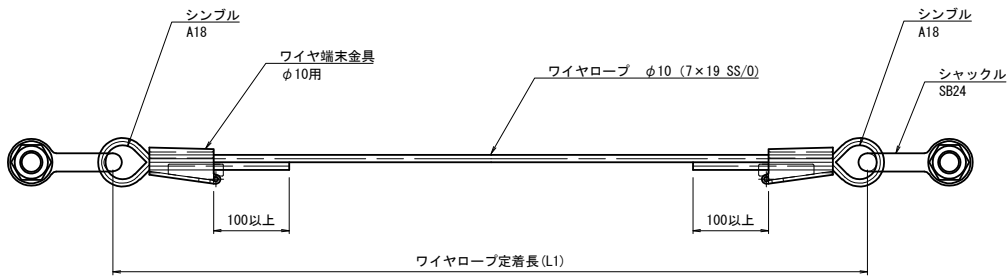


※ 内照板裏面の取付金具の形状は、製作メーカーにより異なるので、確認し決定すること。

落下防止金具詳細図 S=1/4



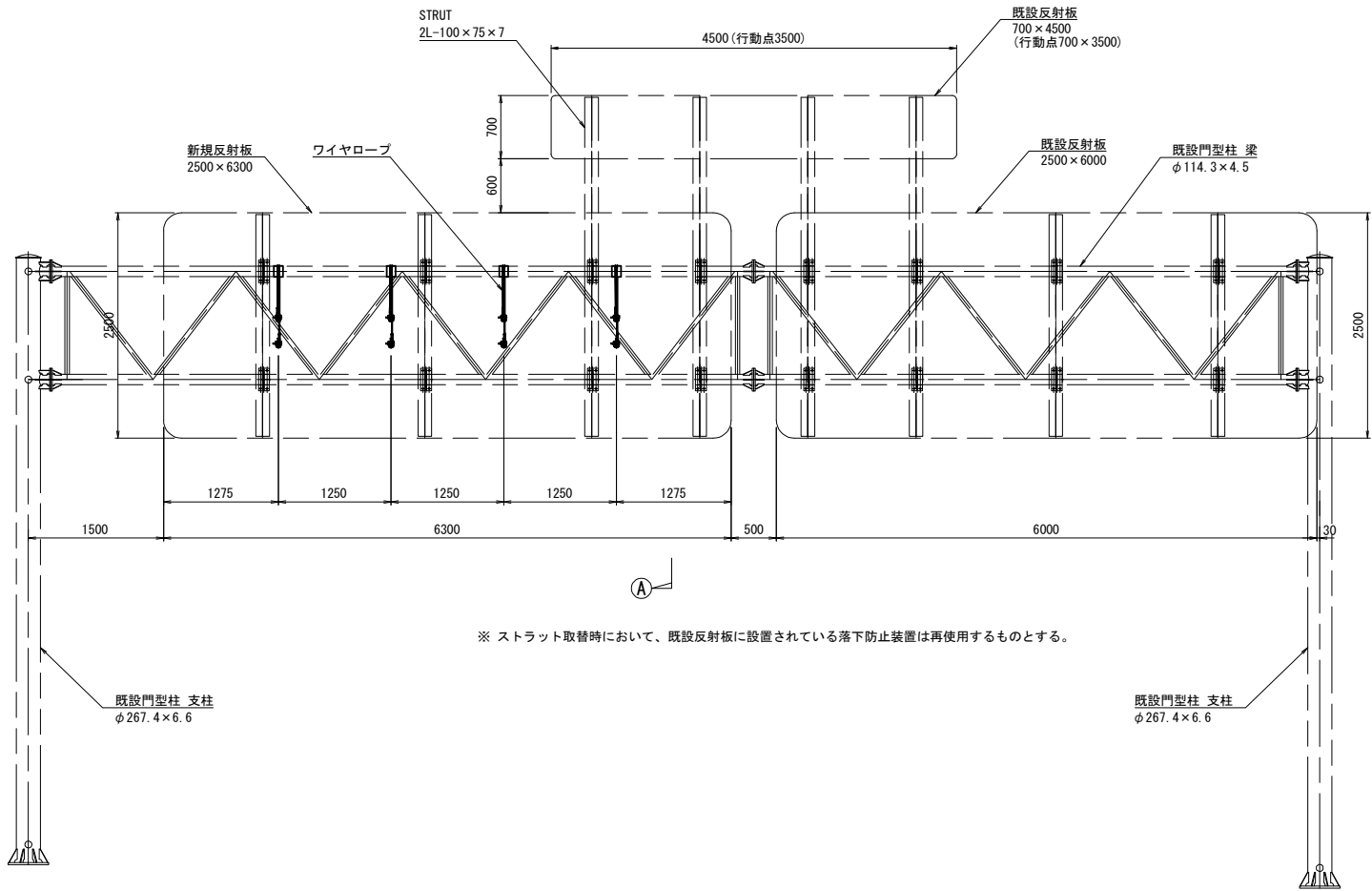
ワイヤロープ組立図 S=1/10



標識板落下防止装置詳細図(5)

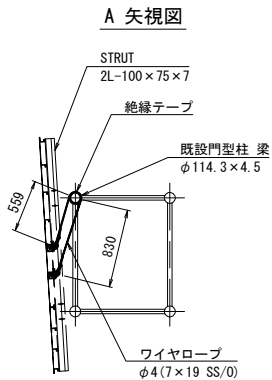
本上No. 1 東関東道 大栄JCT 行動点 51.110kp  
本上No. 2 東関東道 大栄JCT 400m予告 51.289kp  
本上No. 3 東関東道 大栄JCT 1km予告 51.789kp

ワイヤロープ配置図 S=1/80



※ ストラット取替時において、既設反射板に設置されている落下防止装置は再使用するものとする。

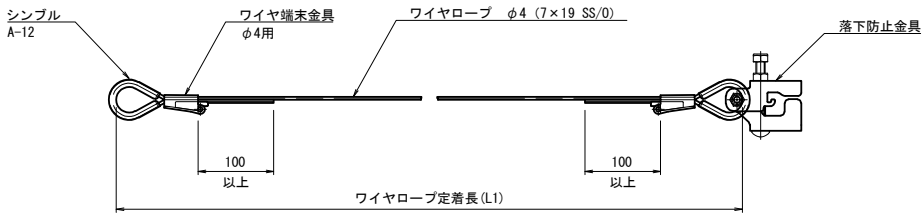
ワイヤロープ取付詳細図 S=1/80



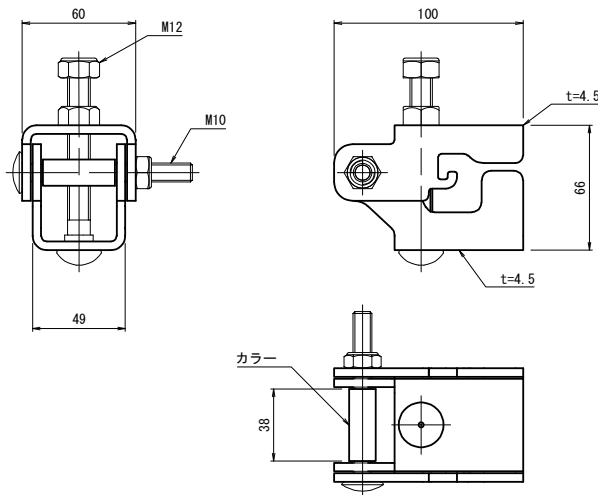
MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(1.94m)	4	(7.8m)	(L1寸法)
シンプル	SUS A-12	-	8	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ4用	-	8	-	
落下防止金具	SS400 (HDZT77,タイロコ・チンク)	-	8	-	一式
絶縁テープ	W=100	-	4	-	φ114.3用

注意：  
(1) 標識板内容により、基板寸法が異なる為、ワイヤ長(L1寸法)は参考値を示す。  
製作メーカー等確認し決定すること。  
(2) ワイヤ取付箇所はバランス良く配置し、標識板の継ぎ目等を選び設置すること。

ワイヤロープ組立図 S=1/10



落下防止金具詳細図 S=1/4

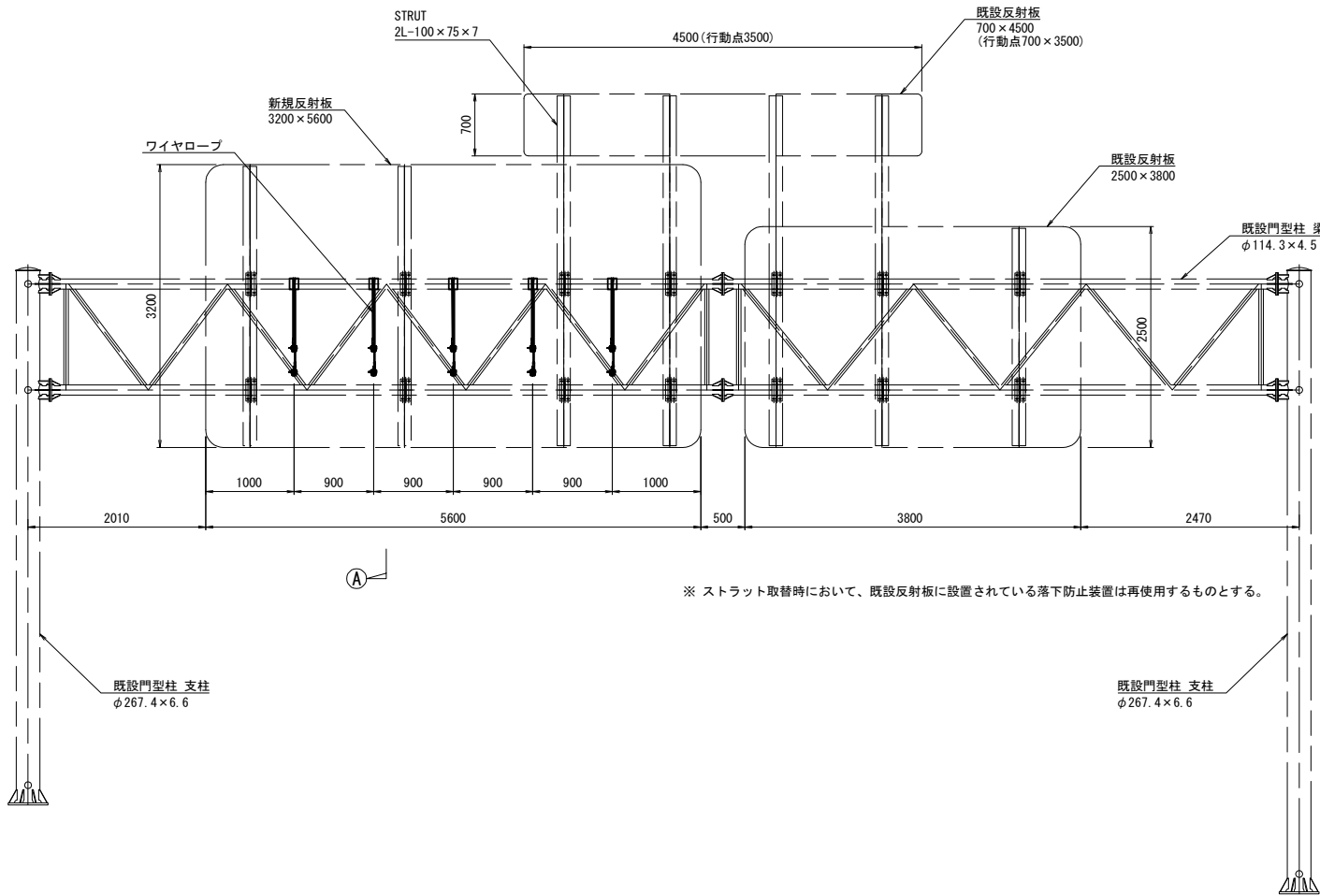


首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置詳細図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

標識板落下防止装置詳細図(6)

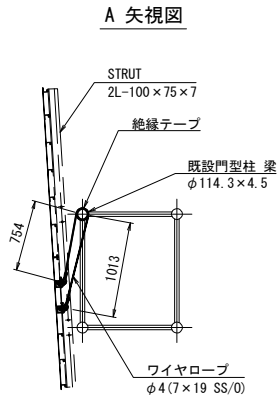
本下No. 3 東関東道 大栄JCT 1.3km予告 48.690kp  
本下No. 4 東関東道 大栄JCT 500m予告 49.480kp  
本下No. 5 東関東道 大栄JCT 行動点 49.870kp

ワイヤロープ配置図 S=1/80



※ ストラット取替時において、既設反射板に設置されている落下防止装置は再使用するものとする。

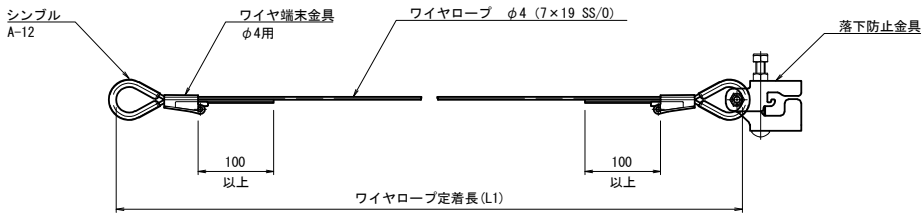
ワイヤロープ取付詳細図 S=1/80



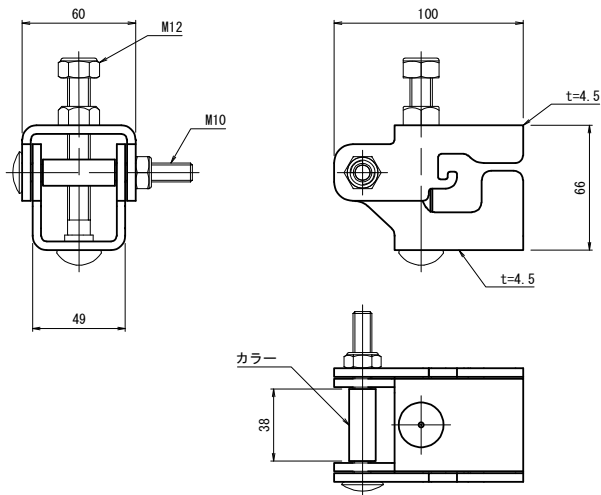
MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(2.32m)	8	(18.6m)	(L1寸法)
シンプル	SUS A-12	-	16	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ4用	-	16	-	
落下防止金具	SS400 (HDZ177, ナイロニング)	-	16	-	一式
絶縁テープ	W=100	-	8	-	φ114.3用

注意：  
(1) 標識板内容により、基板寸法が異なる為、ワイヤ長(L1寸法)は参考値を示す。  
製作メーカー等確認し決定すること。  
(2) ワイヤ取付箇所はバランス良く配置し、標識板の継ぎ目等を避け設置すること。

ワイヤロープ組立図 S=1/10



落下防止金具詳細図 S=1/4



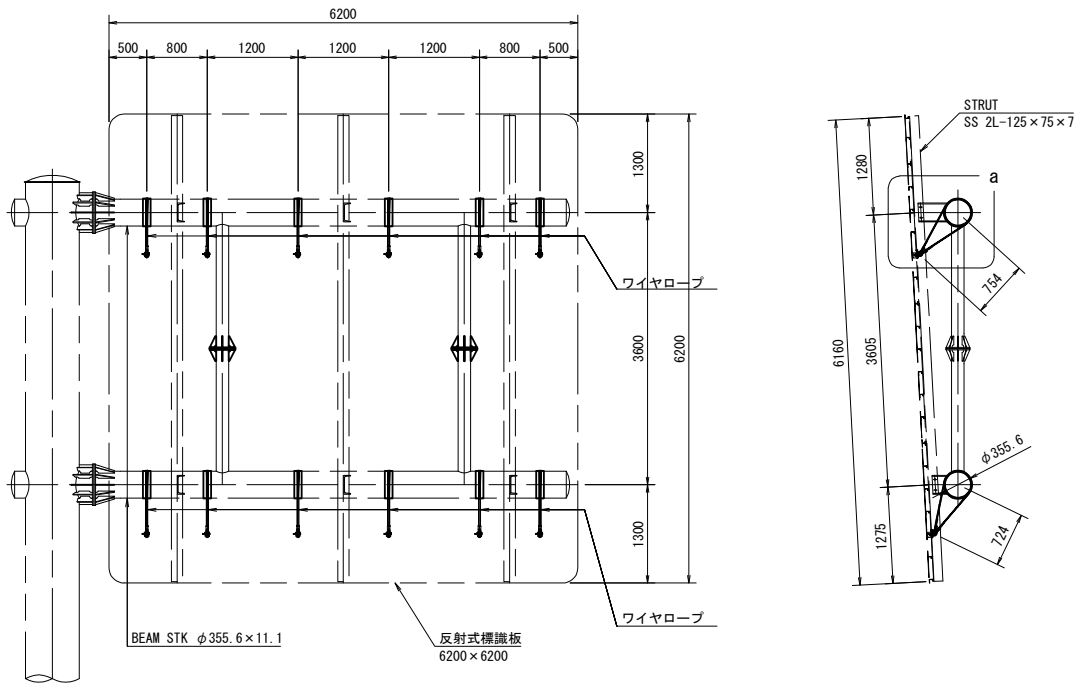
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置詳細図(6)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



標識板落下防止装置詳細図(7)

本下No. 2 東関東道 大栄JCT 2km予告 48. 229kp  
本上No. 4 東関東道 大栄JCT 2. 3km予告 53. 229kp

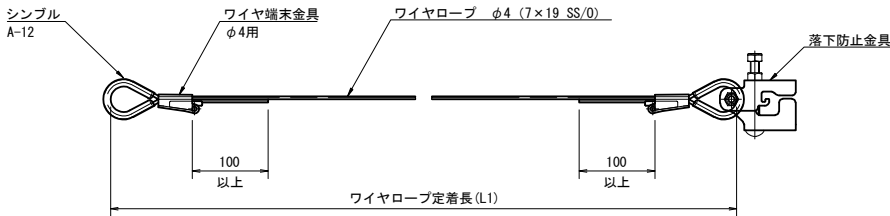
ワイヤロープ配置図 S=1/100



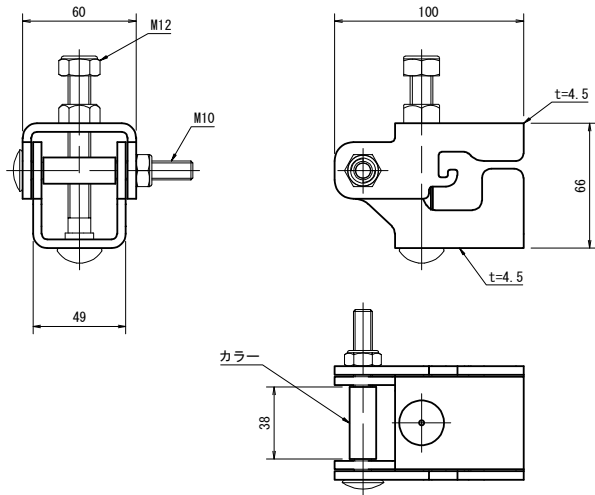
MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUMBER	TOTAL WEIGHT	NOTE
ワイヤロープ	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(3. 2m)	12	(38. 4m)	(L1寸法)
シンブル	SUS A-12	-	24	-	
ワイヤ端末金具	SUS φ4用	-	24	-	
落下防止金具	SS400 (HDZT77, ナイロコネティング)	-	12	-	一式
絶縁テープ	W=100	-	12	-	φ355. 6用

注意：  
(1) 標識板内容により、基板寸法が異なる為、ワイヤ長(L1寸法)は参考値を示す。  
製作メーカー等確認し決定すること。  
(2) ワイヤ取付箇所はバランス良く配置し、標識板の継ぎ目等を避け設置すること。

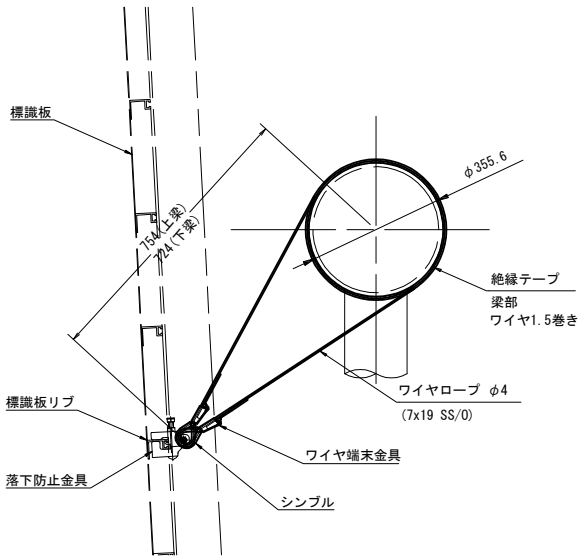
ワイヤロープ組立図 S=1/10



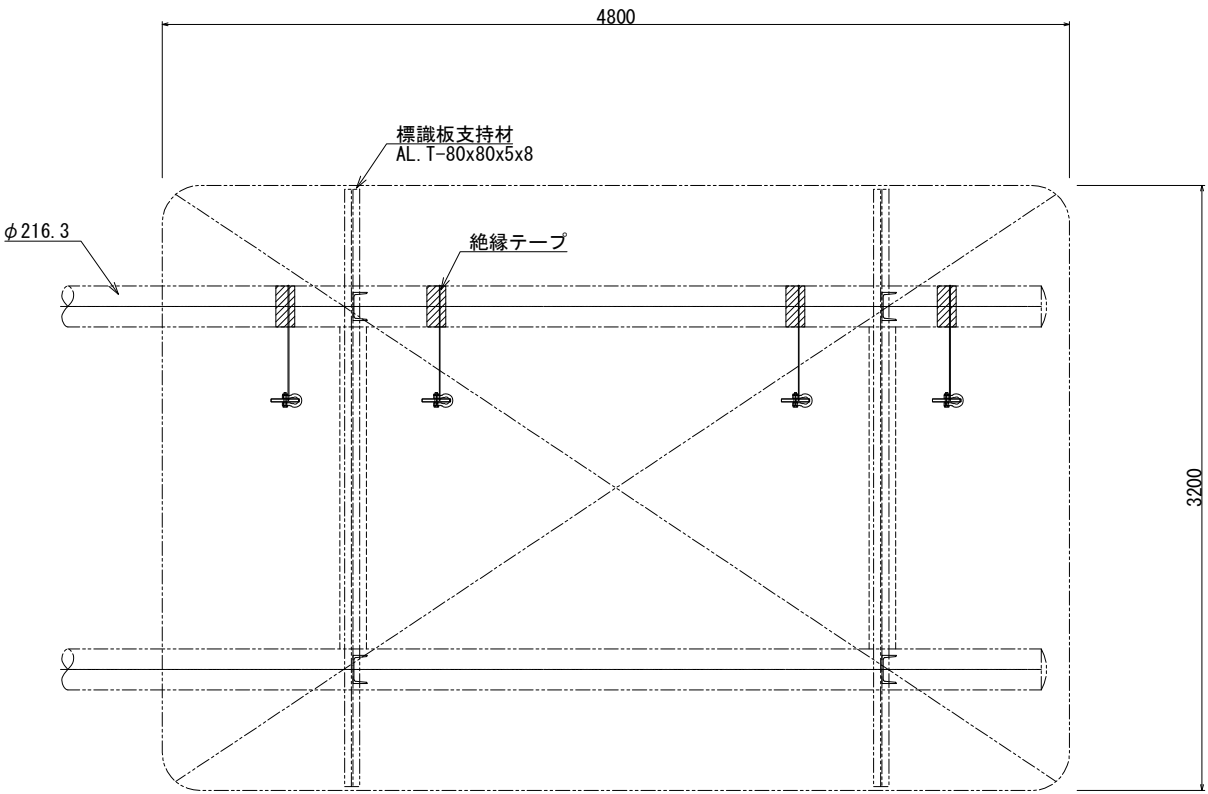
落下防止金具詳細図 S=1/4



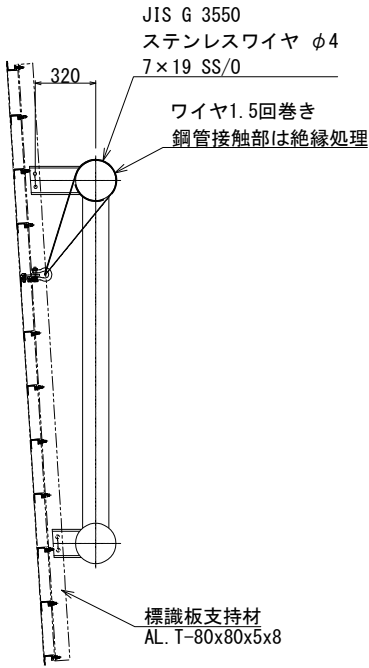
a -DETAIL S=1/20



首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置詳細図(7)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

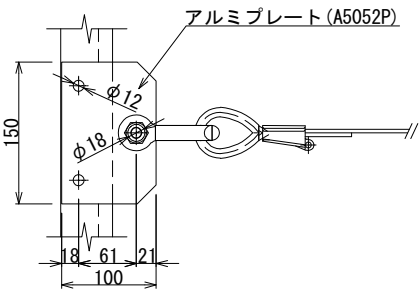


落下防止装置 一般図 S=1/40

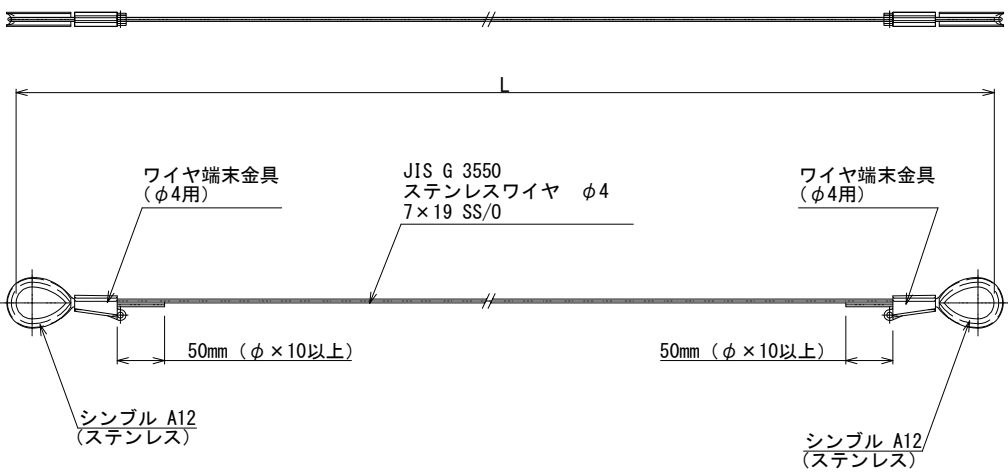


MATERIAL LIST								
No.	KIND	DIMENSION mm	LENGTH mm	WEIGHT kg/m, m <sup>2</sup>	WEIGHT kg/piece	NUM BER	TOTAL WEIGHT kg	NOTE
1	プレート	A5052P 150×100×15t			0.61	4	2.4	JIS H 4000
2	ワイヤ	SUS φ4 (7×19 SS/0)	(2650)	0.065	0.17	4	0.7	JIS G 3550
3	シャックル	SS400 BBシャックル 14			-	4	-	JIS B 2801
4	シンブル	SUS シンブル A12			-	8	-	旧JIS B 2802
5	ワイヤ結束金具	SUS φ4用			-	8	-	
6	ボルト	M10			-	8	-	
7	絶縁テープ	W=100			-	4	-	
8								
9								
10								
計							3.1	kg

(ワイヤ長は参考値とする)



ワイヤ取付プレート詳細図 S=1/8

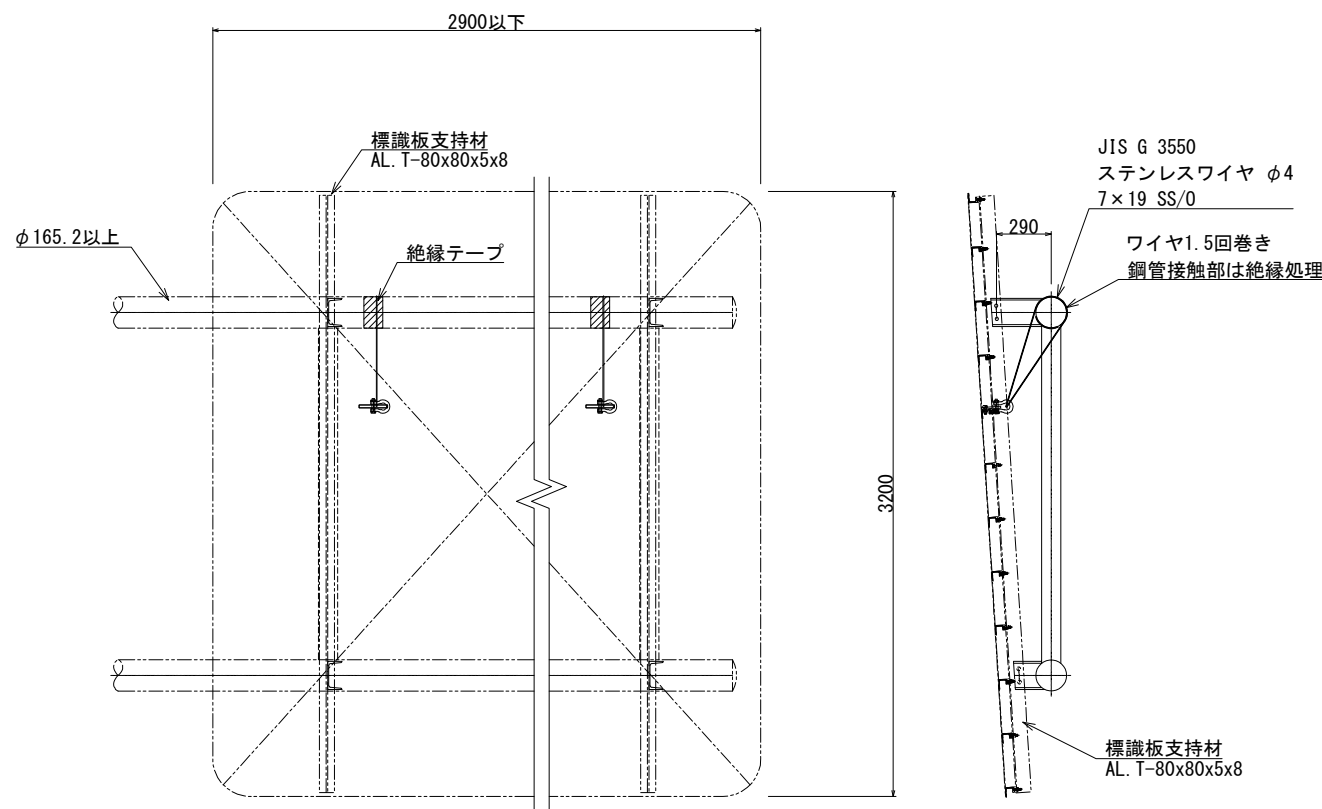


落下防止ワイヤ詳細図 S=1/8

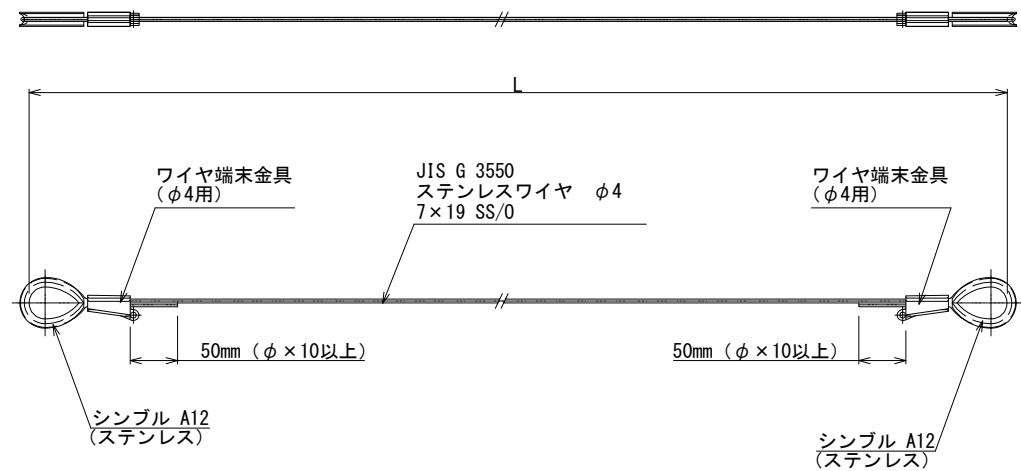
特記事項

- (1) 上記部材寸法等は標準であるため、現地調査のうえ適切な部材とすること。
- (2) 「高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領（平成27年7月）」に示す規格に適合するものとする。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置標準図(1) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



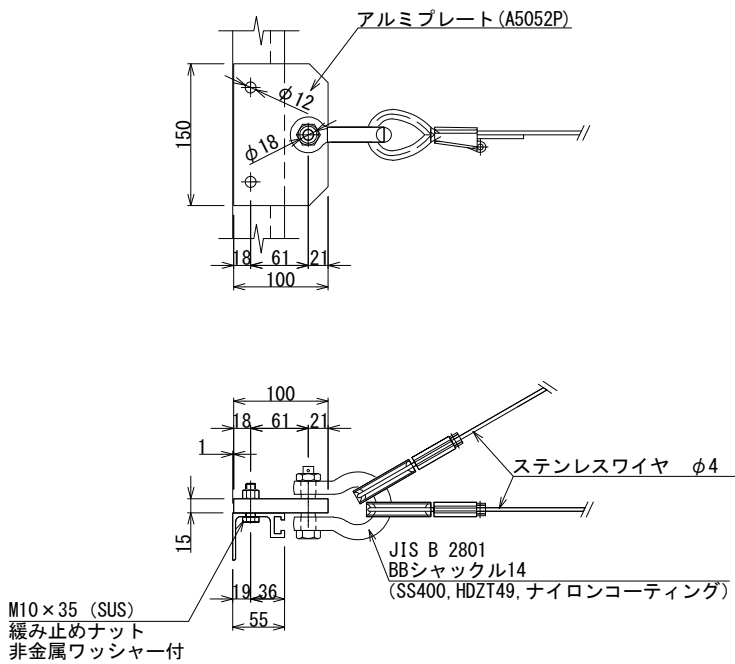
落下防止装置 一般図 S=1/40



落下防止ワイヤ詳細図 S=1/8

MATERIAL LIST								
No.	KIND	DIMENSION mm	LENGTH mm	WEIGHT kg/m, m <sup>2</sup>	WEIGHT kg/piece	NUM BER	TOTAL WEIGHT kg	NOTE
1	プレート	A5052P 150×100×15t			0.61	2	1.2	JIS H 4000
2	ワイヤ	SUS φ4 (7×19 SS/O)	(2400)	0.065	0.16	2	0.3	JIS G 3550
3	シャックル	SS400 BBシャックル 14			—	2	—	JIS B 2801
4	シンプル	SUS シンプル A12			—	4	—	旧JIS B 2802
5	ワイヤ結束	SUS φ4用			—	4	—	
6	ボルト	M10			—	4	—	
7	絶縁テープ	W=100			—	2	—	
8								
9								
10								
計							1.5	kg

(ワイヤ長は参考値とする)



ワイヤ取付プレート詳細図 S=1/8

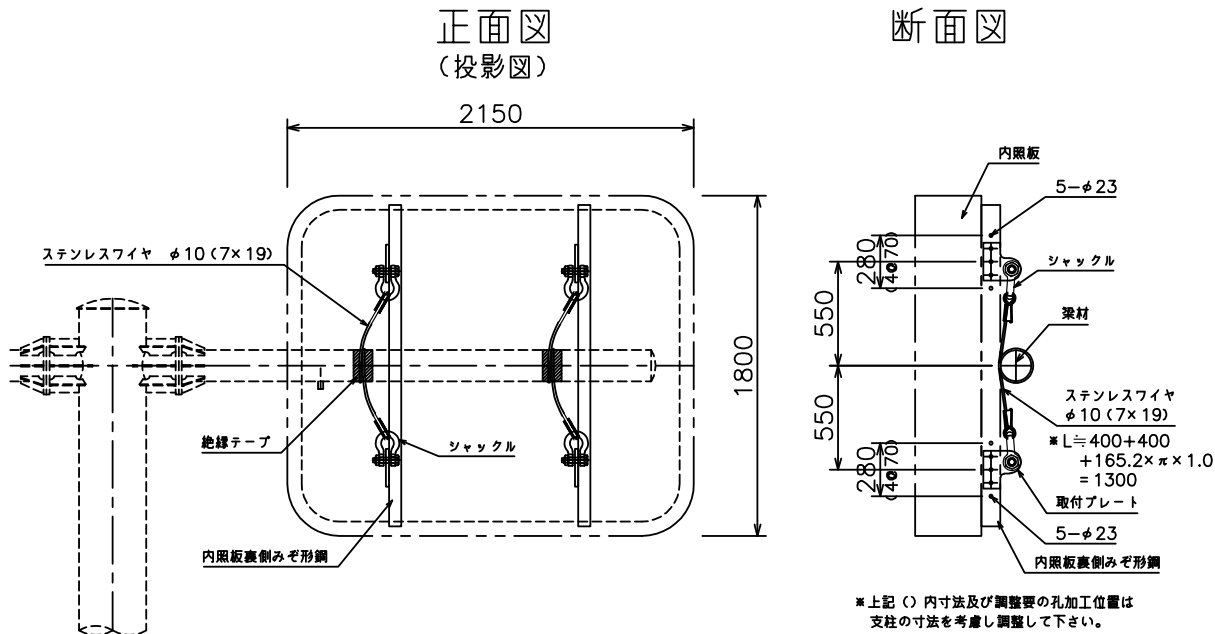
特記事項  
(1) 上記部材寸法等は標準であるため、現地調査のうえ適切な部材とすること。  
(2) 「高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領（平成27年7月）」に示す規格に適合するものとする。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置標準図(2) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

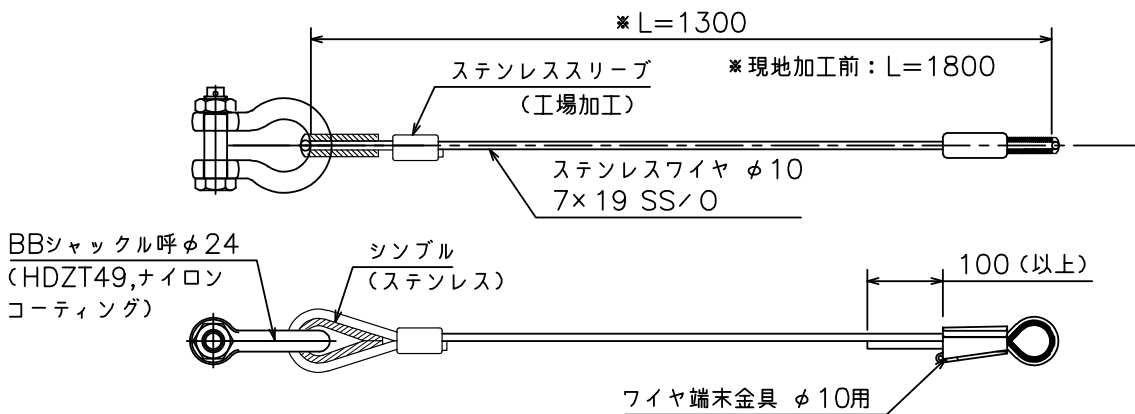


標識板落下防止装置標準図(4) (参考図)

落下防止装置一般図 S=1/30



ステンレスワイヤ (φ10)

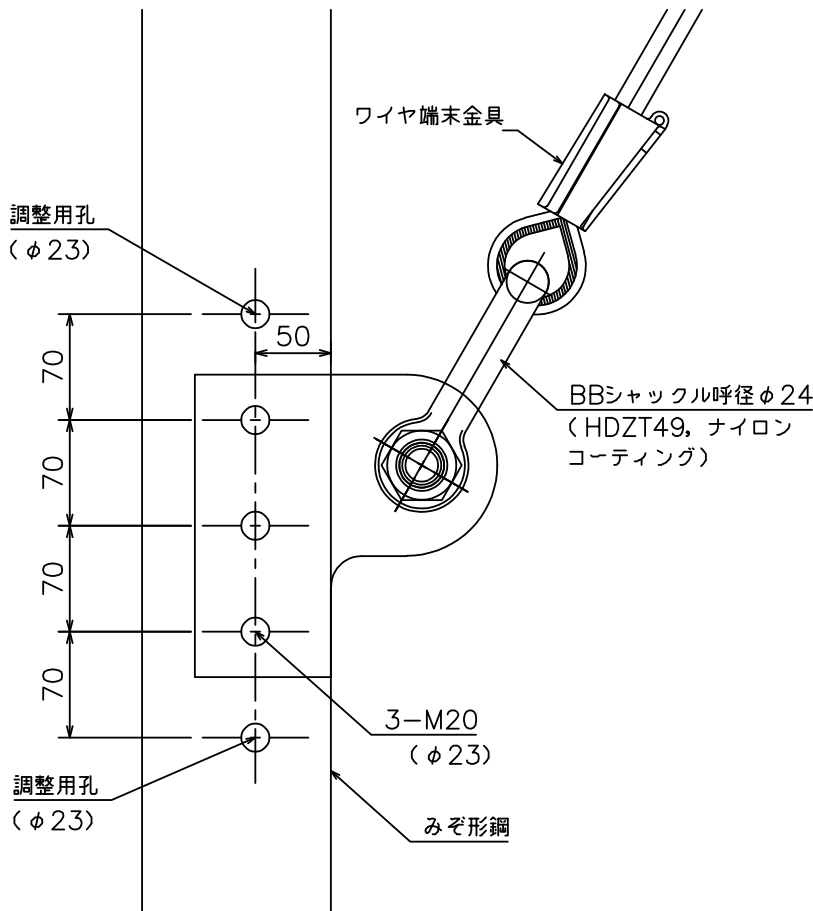


数量表

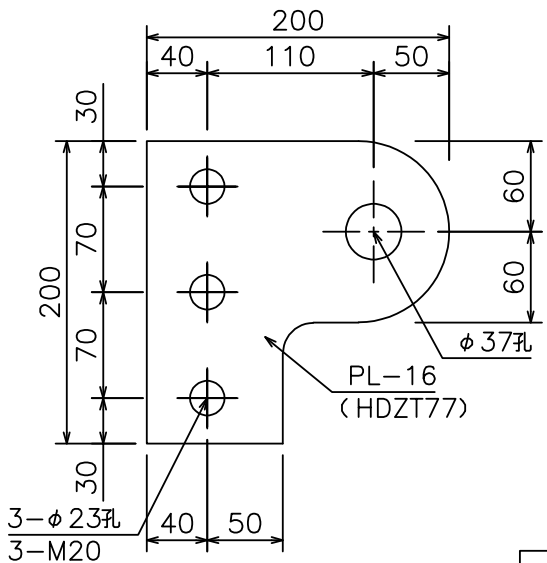
1箇所当り (標識板1枚分)

番号	名称	形状寸法	材質	数量	単位	備考
1	取付プレート	PL-200×16×200	SS400	4	枚	HDZT77
2	めっきボルト	M20×70		12	枚	2-PW, 1-緩み止めナット付
3	ステンレスワイヤ	φ10 (7×19 SS/0)		2	本	JIS G 3550
4	ジャックル	呼びφ24	SS400	4	個	HDZT49, ナイロンコーティング
5	シンブル	φ10用 (A20)		4	個	ステンレス
6	ワイヤ端末金具	φ10用		2	箇所	ステンレス (現地かしめ処理)
7	ステンレススリーブ	φ10用		2	箇所	アイ圧縮止め (工場圧着)
8	絶縁テープ			2	箇所	

取付部詳細図 S=1/5



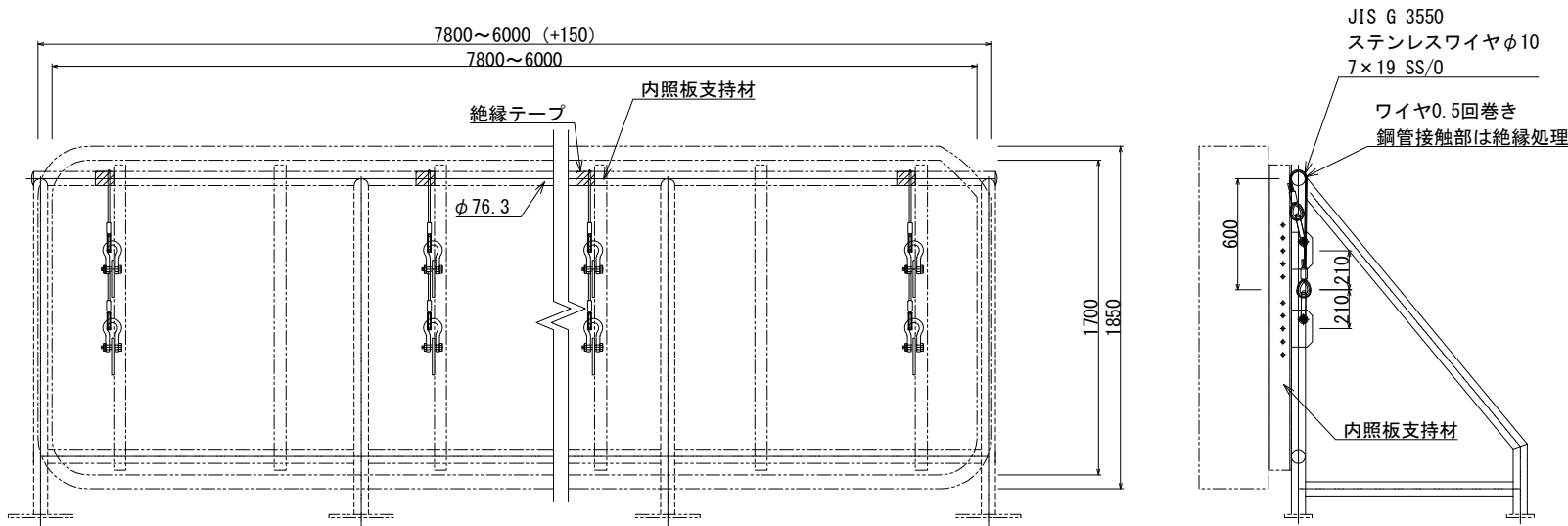
取付プレート詳細図 S=1/5



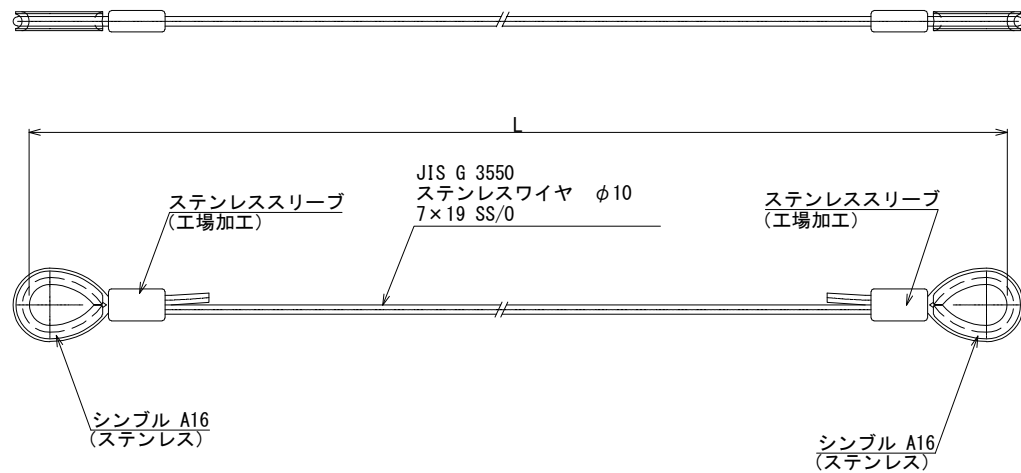
特記事項

- (1) 上記部材寸法等は標準であるため、現地調査のうえ適切な部材とすること。
- (2) 「高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領 (平成27年7月)」に示す規格に適合するものとする。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置標準図(4) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



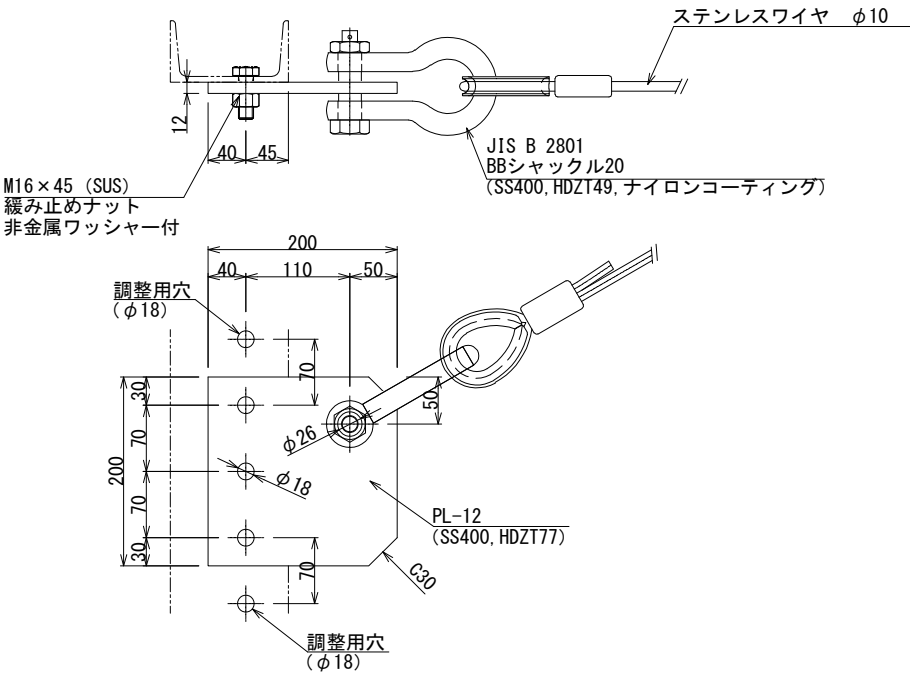
落下防止装置 一般図 S=1/40



落下防止ワイヤ詳細図 S=1/8

MATERIAL LIST								
No.	KIND	DIMENSION mm	LENGTH mm	WEIGHT kg/m, m <sup>2</sup>	WEIGHT kg/piece	NUM BER	TOTAL WEIGHT kg	NOTE
1	プレート	SS400 200×200×12t			3.77	8	30.2	JIS G 3101
2	ワイヤ	SUS φ10 (7×19 SS/O)	(1400)	0.406	0.57	4	2.3	JIS G 3550
3	シャックル	SS400 BBシャックル 20			—	8	—	JIS B 2801
4	シンプル	SUS シンプル A16			—	8	—	旧JIS B 2802
5	スリーブ	SUS φ10用			—	8	—	
6	ボルト	M16			—	24	—	
7	絶縁テープ	W=100			—	4	—	
8								
9								
10								
計							32.5	kg

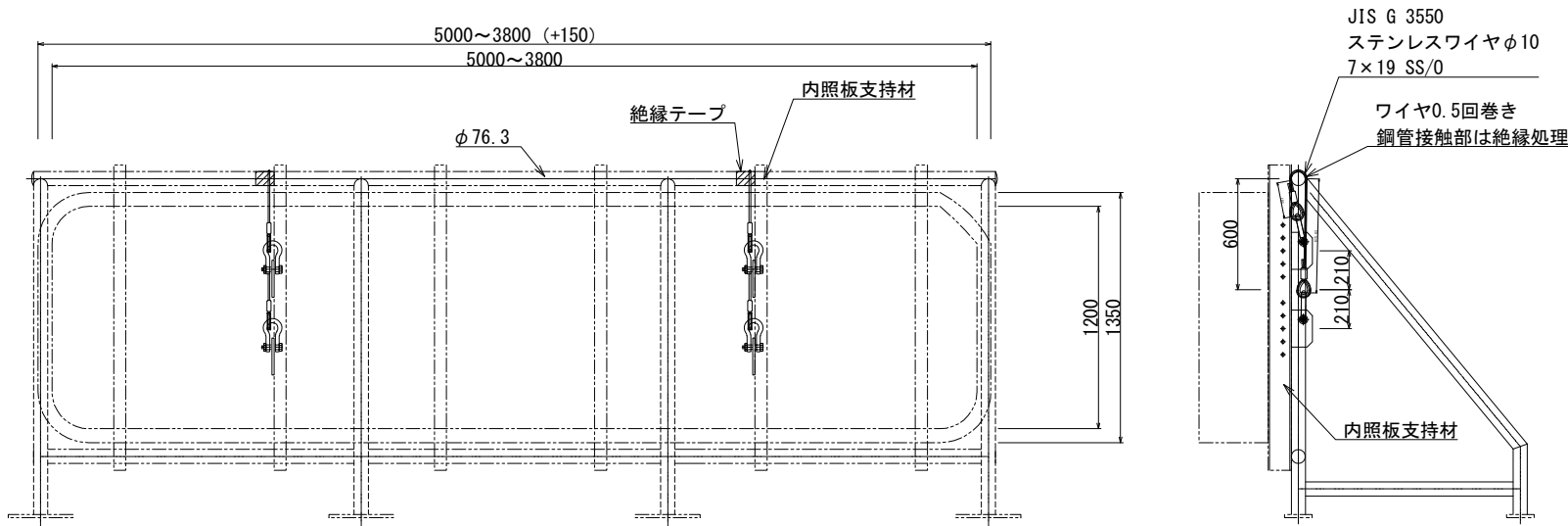
（ワイヤ長は参考値とする）



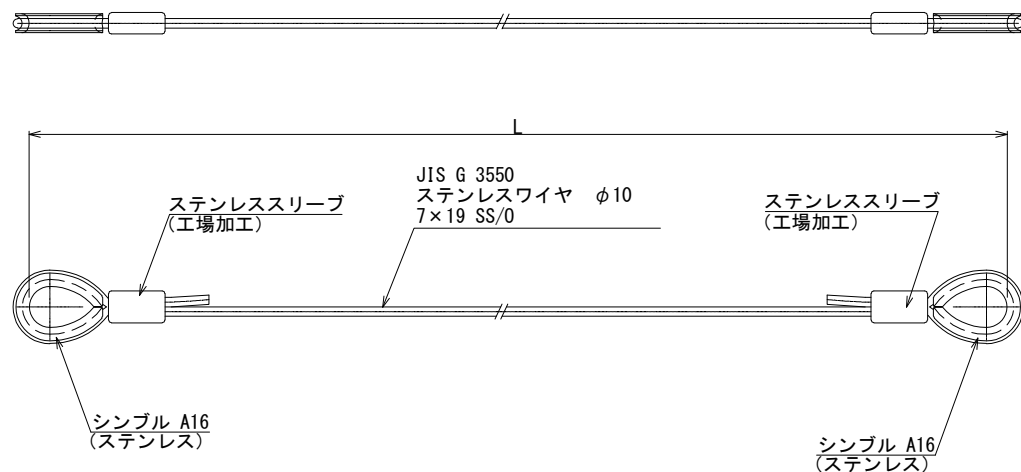
ワイヤ取付プレート詳細図 S=1/8

特記事項  
(1) 上記部材寸法等は標準であるため、現地調査のうえ適切な部材とすること。  
(2) 「高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領（平成27年7月）」に示す規格に適合するものとする。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置標準図(5)（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



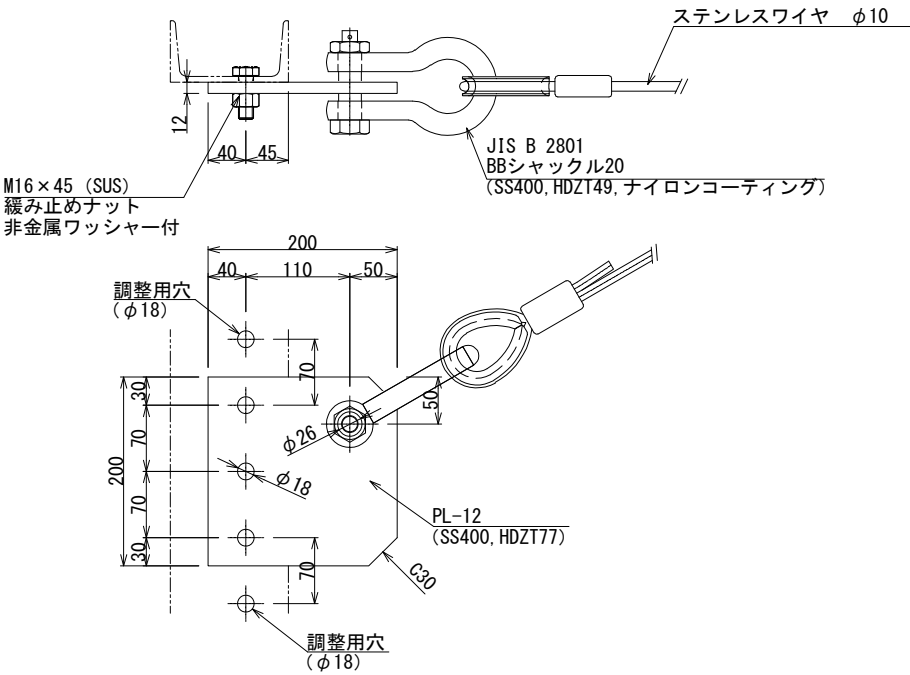
落下防止装置 一般図 S=1/40



落下防止ワイヤ詳細図 S=1/8

MATERIAL LIST								
No.	KIND	DIMENSION mm	LENGTH mm	WEIGHT kg/m, m <sup>2</sup>	WEIGHT kg/piece	NUM BER	TOTAL WEIGHT kg	NOTE
1	プレート	SS400 200×200×12t			3.77	4	15.1	JIS G 3101
2	ワイヤ	SUS φ10 (7×19 SS/O)	(1400)	0.406	0.57	2	1.1	JIS G 3550
3	シャックル	SS400 BBシャックル 20			-	4	-	JIS B 2801
4	シブ	SUS シブ A16			-	4	-	旧JIS B 2802
5	スリーブ	SUS φ10用			-	4	-	
6	ボルト	M16			-	12	-	
7	絶縁テープ	W=100			-	2	-	
8								
9								
10								
計							16.2	kg

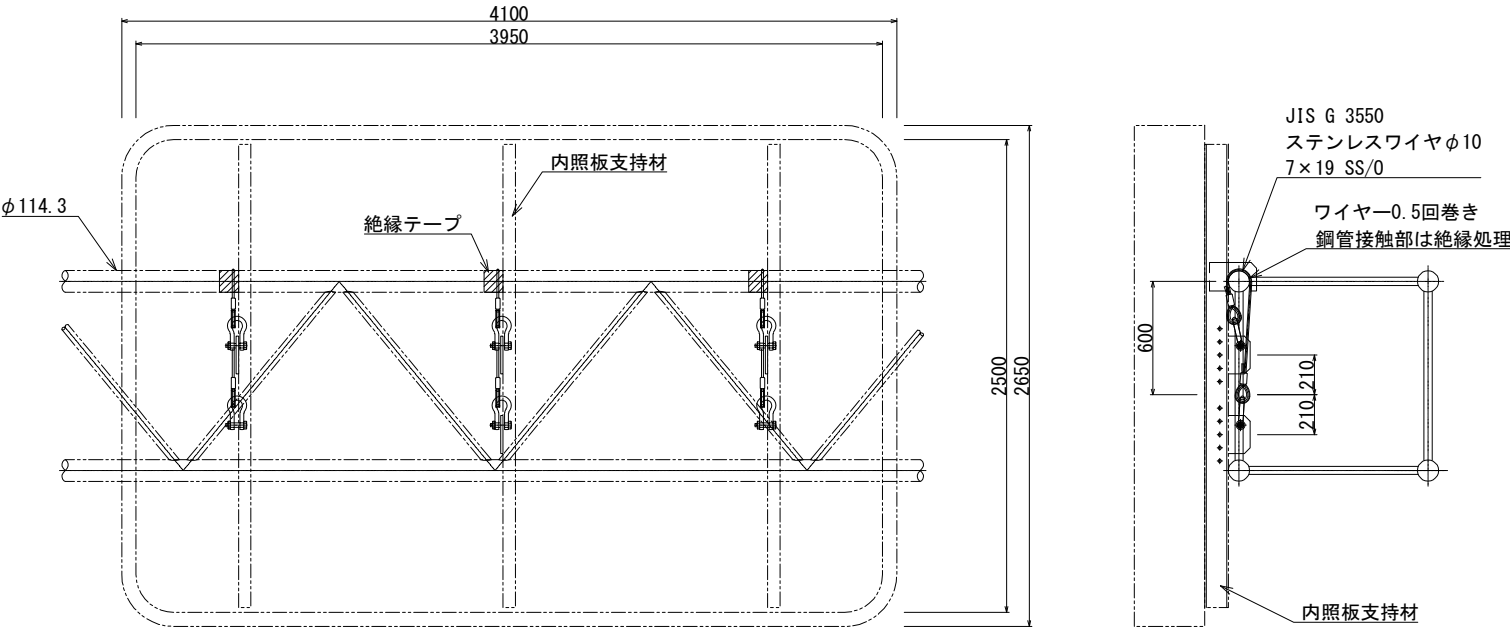
(ワイヤ長は参考値とする)



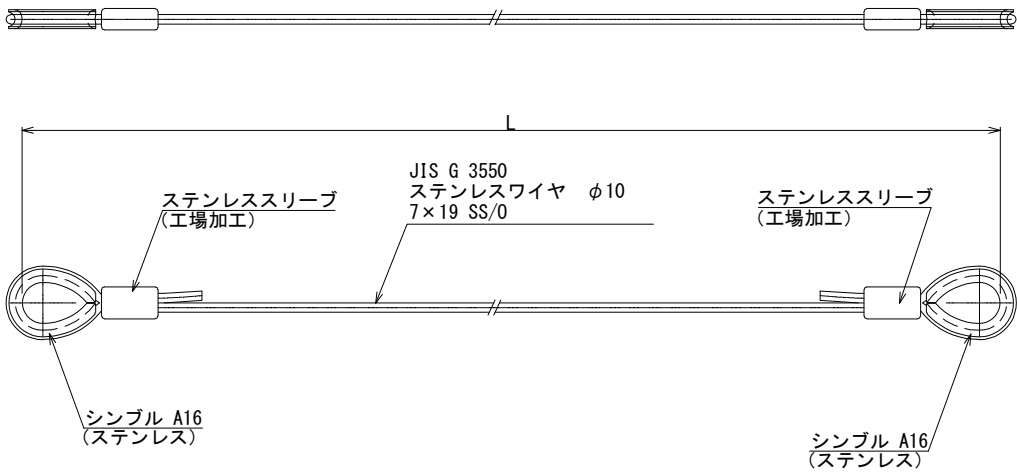
ワイヤ取付プレート詳細図 S=1/8

特記事項  
(1) 上記部材寸法等は標準であるため、現地調査のうえ適切な部材とすること。  
(2) 「高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領（平成27年7月）」に示す規格に適合するものとする。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置標準図(6) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		千葉工事事務所



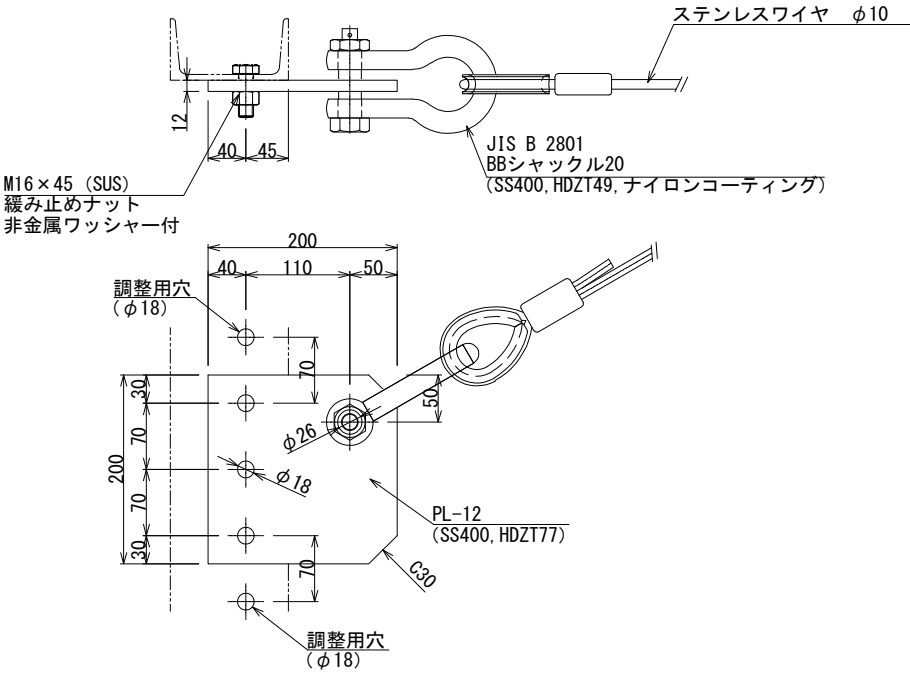
落下防止装置 一般図 S=1/40



落下防止ワイヤ詳細図 S=1/8

MATERIAL LIST								
No.	KIND	DIMENSION mm	LENGTH mm	WEIGHT kg/m, m <sup>2</sup>	WEIGHT kg/piece	NUM BER	TOTAL WEIGHT kg	NOTE
1	プレート	SS400 200×200×12t			3.77	6	22.6	JIS G 3101
2	ワイヤ	SUS φ10 (7×19 SS/O)	(1100)	0.406	0.45	3	1.4	JIS G 3550
3	シャックル	SS400 BBシャックル 20			-	6	-	JIS B 2801
4	シングル	SUS シングル A16			-	6	-	旧JIS B 2802
5	スリーブ	SUS φ10用			-	6	-	
6	ボルト	M16			-	18	-	
7	絶縁テープ	W=100			-	3	-	
8								
9								
10								
計							24.0	kg

(ワイヤ長は参考値とする)



ワイヤ取付プレート詳細図 S=1/8

特記事項  
(1) 上記部材寸法等は標準であるため、現地調査のうえ適切な部材とすること。  
(2) 「高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領（平成27年7月）」に示す規格に適合するものとする。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	標識板落下防止装置標準図(7) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



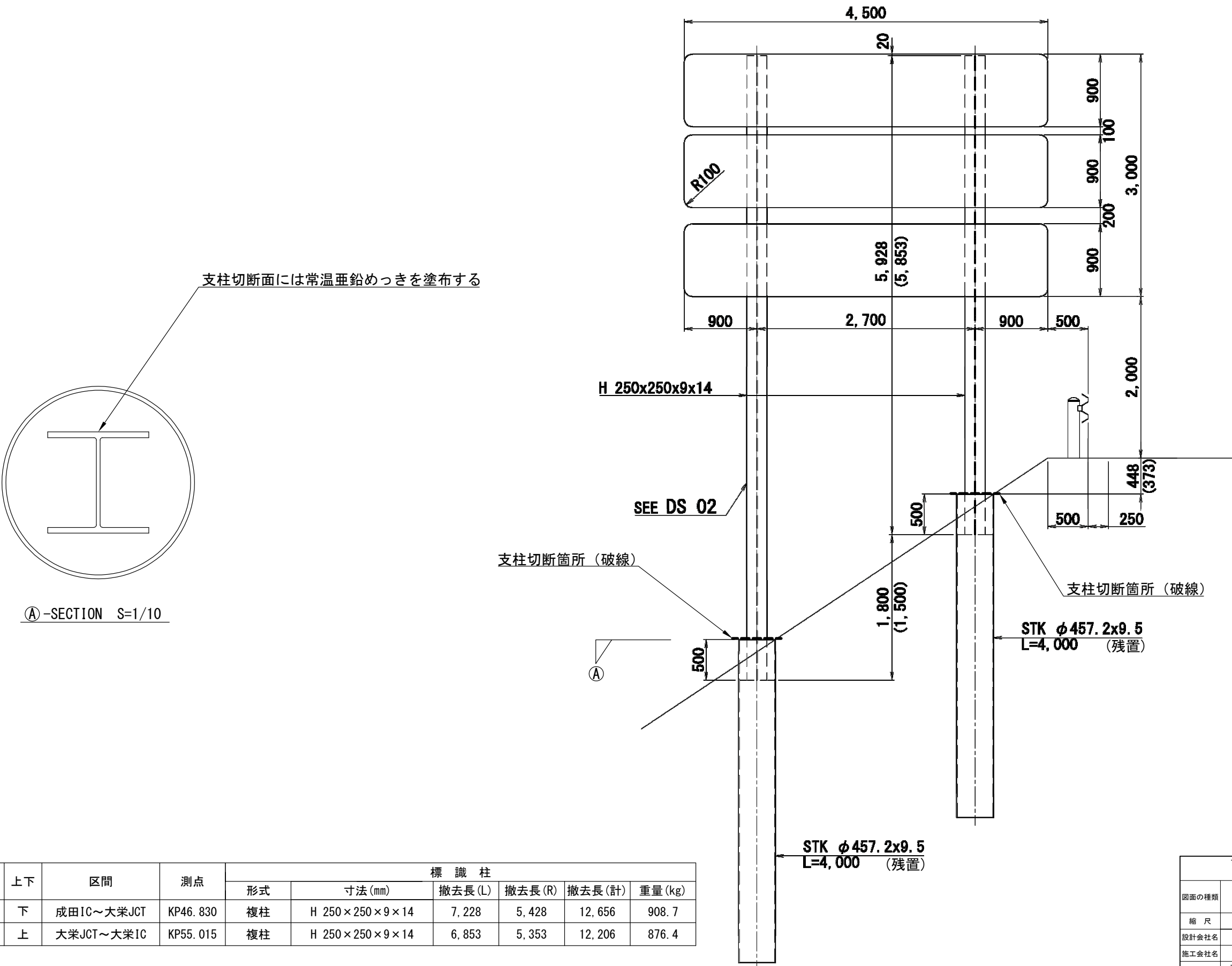


構造物撤去工詳細図(1)

標識柱撤去工 標識柱A1

本下No. 1 東関東道 下り KP46. 830  
本上No. 5 東関東道 上り KP55. 015

正面図 (G 03) S=1/50



施工箇所一覧

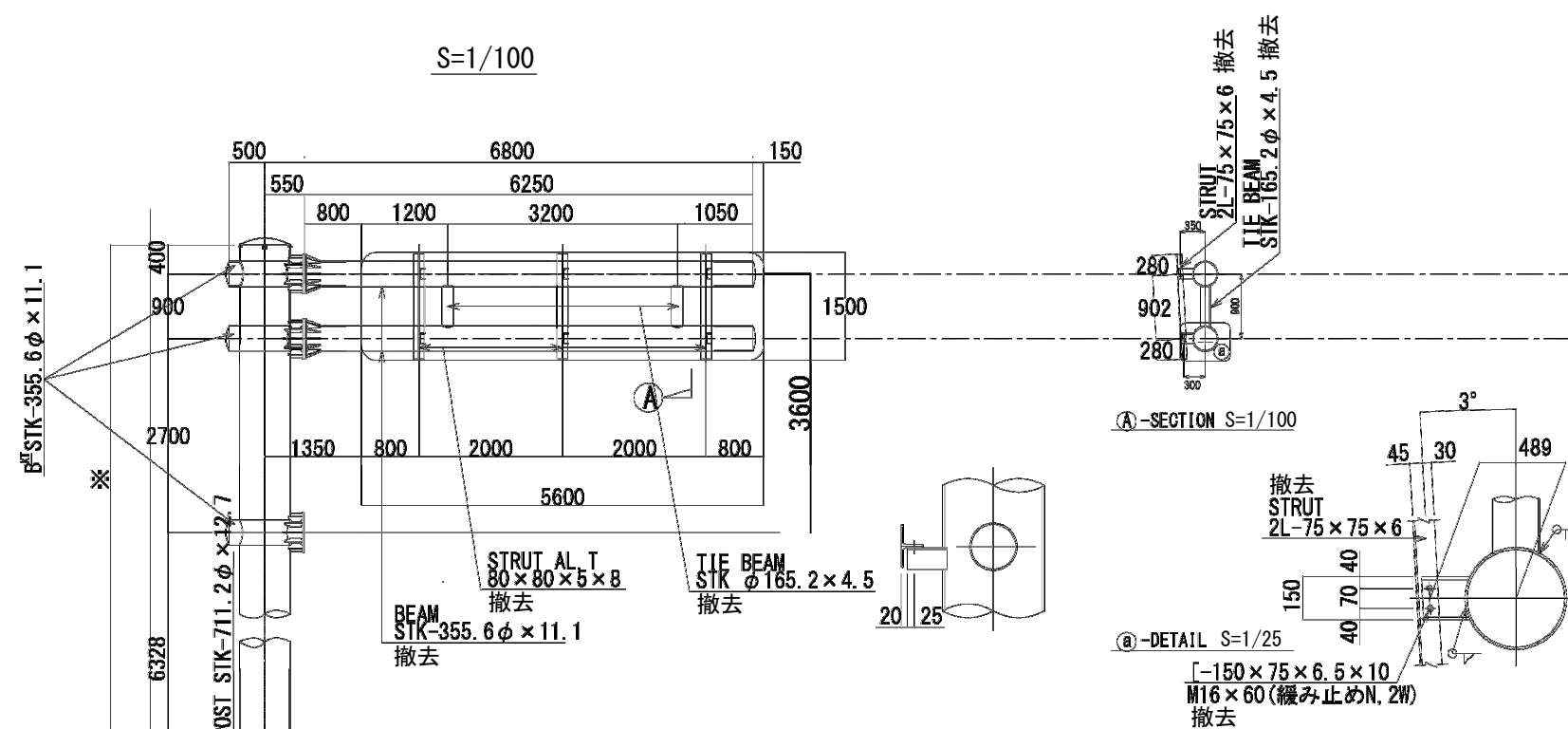
標識No.	道路名	上下	区間	測点	標 識 柱					
					形式	寸法 (mm)	撤去長 (L)	撤去長 (R)	撤去長 (計)	重量 (kg)
本下No. 1	東関東自動車道	下	成田IC～大栄JCT	KP46. 830	複柱	H 250×250×9×14	7, 228	5, 428	12, 656	908. 7
本上No. 5	東関東自動車道	上	大栄JCT～大栄IC	KP55. 015	複柱	H 250×250×9×14	6, 853	5, 353	12, 206	876. 4

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	構造物撤去工詳細図 (1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

### 構造物撤去工詳細図(2)

### 標識梁撤去設置工A

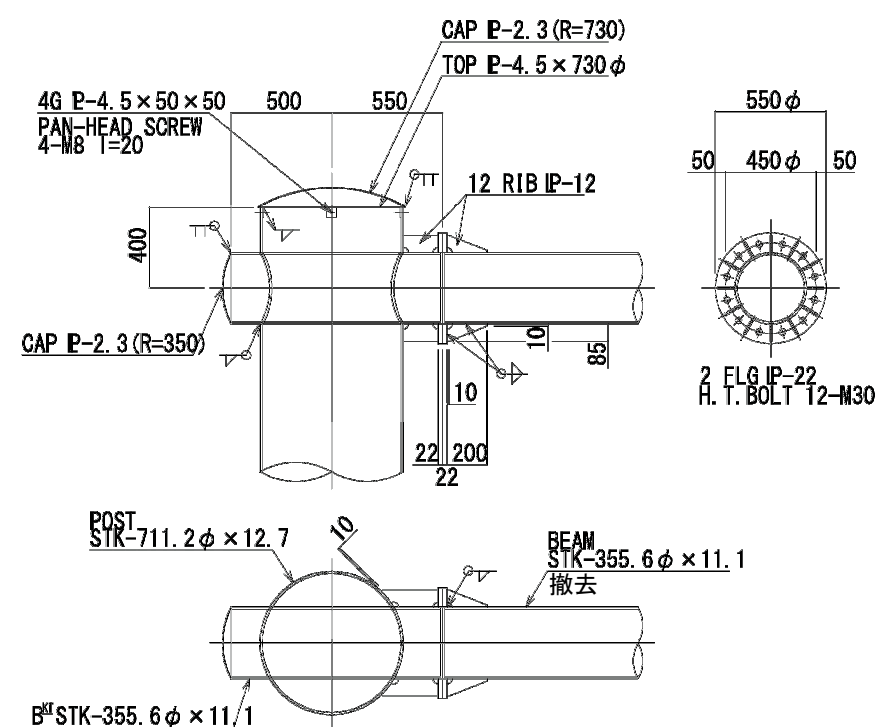
本下No.2 東関東道 大栄JCT 2.0km予告 48.229KP



**CAPITAL & BEAM JOINT DETAIL S=1/37.5**

撤去数量表

KIND		DIMENSION	WEIGHT (K. G)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
BEAM						
STK		$\phi 355.6 \times 11.1 \times 6240$	588.43	2	1176.9	BEAM
PL		$2.3 \times 350 \phi$	1.74	2	3.5	CAP PL
PL		$22 \times 550 \phi$	23.88	2	47.8	FLG PL
PL		$12 \times 85 \times 200$	1.60	24	38.4	RIB PL
STK		$\phi 165.2 \times 4.5 \times 880$	15.66	2	31.3	TIE BEAM
[		$150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 164$	3.05	3	9.2	PIECE
[		$150 \times 75 \times 6.5 \times 10 \times 234$	4.36	3	13.1	PIECE
T		$80 \times 80 \times 5 \times 8 \times 1462$	3.70	3	11.1	STRUT AL
SUB TOTAL					1331.3	
BOLT						
H. T. BOLT	M30	—	—	24	—	BEAM
BOLT	M16 $\times 60$ (緩み止め N.20)	—	—	12	—	STRUT
TOTAL					1331.3	

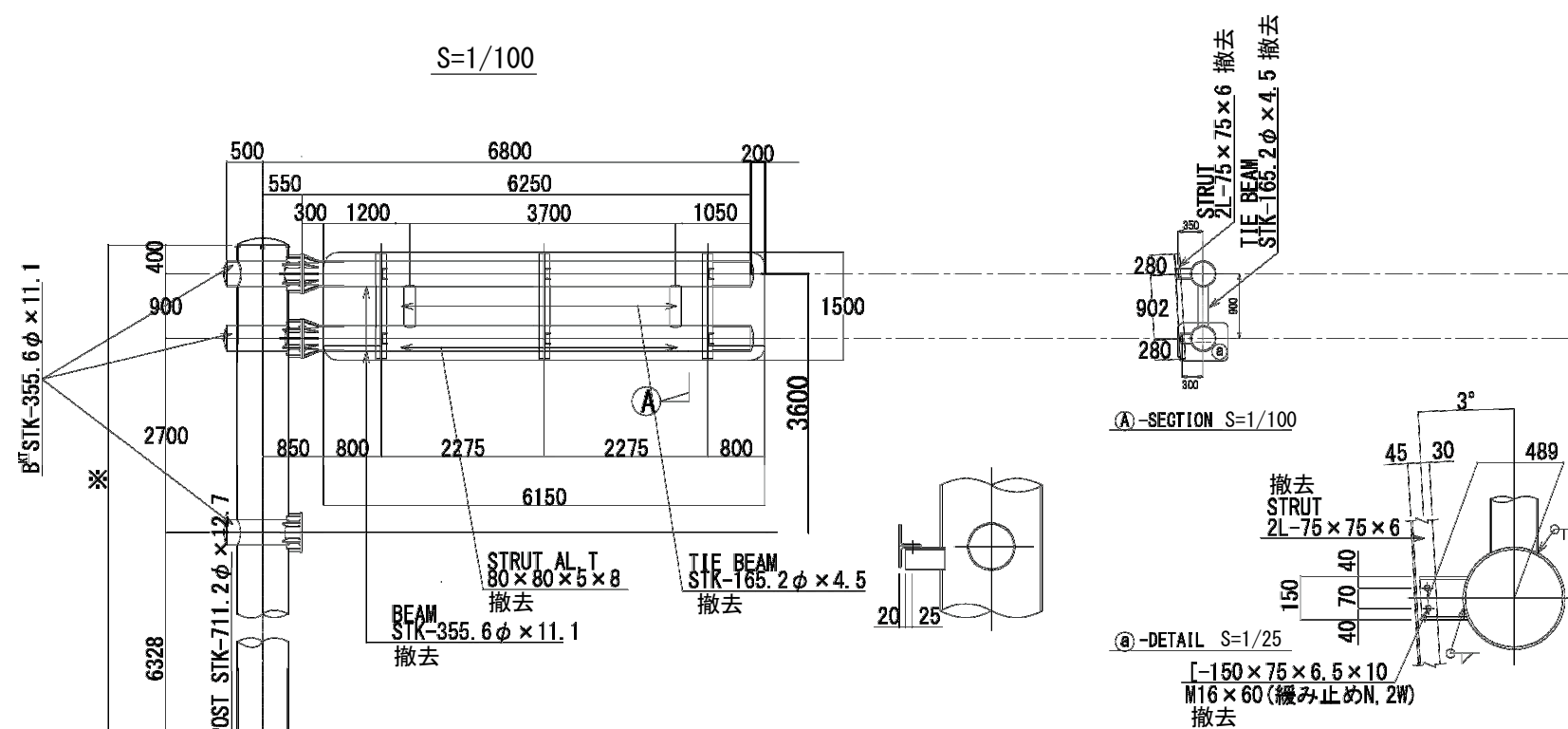


首都圏中央連絡自動車道 成田横断工事			
図面の種類	構造物撤去工詳細図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 工環工事課		

### 構造物撤去工詳細図(3)

### 標識梁撤去設置工A

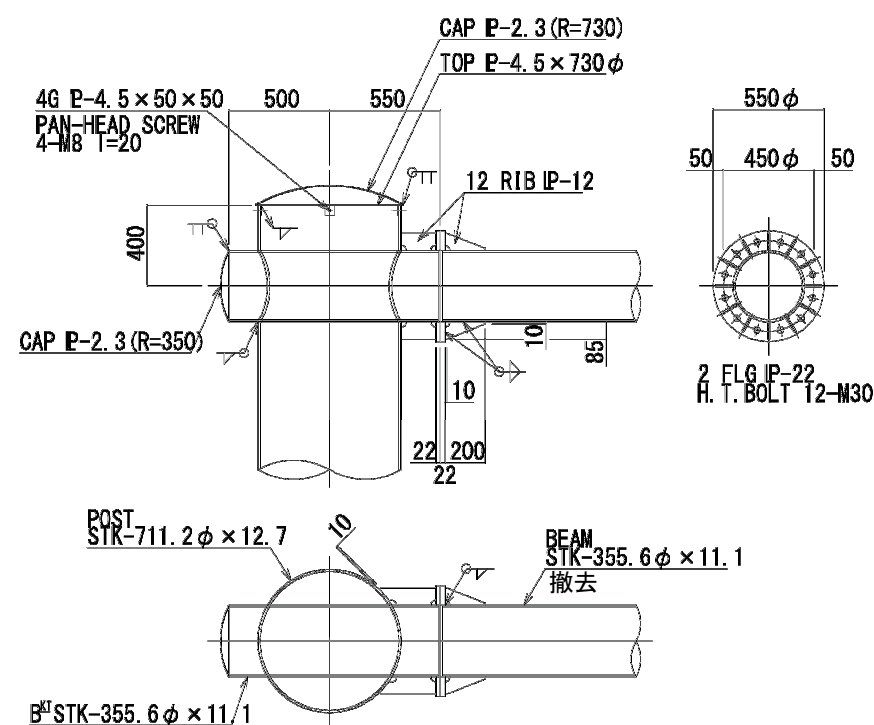
本上No. 4 東関東道 大栄JCT 2.3km予告 53.229KP



**CAPITAL & BEAM JOINT DETAIL  $S=1/37.5$**

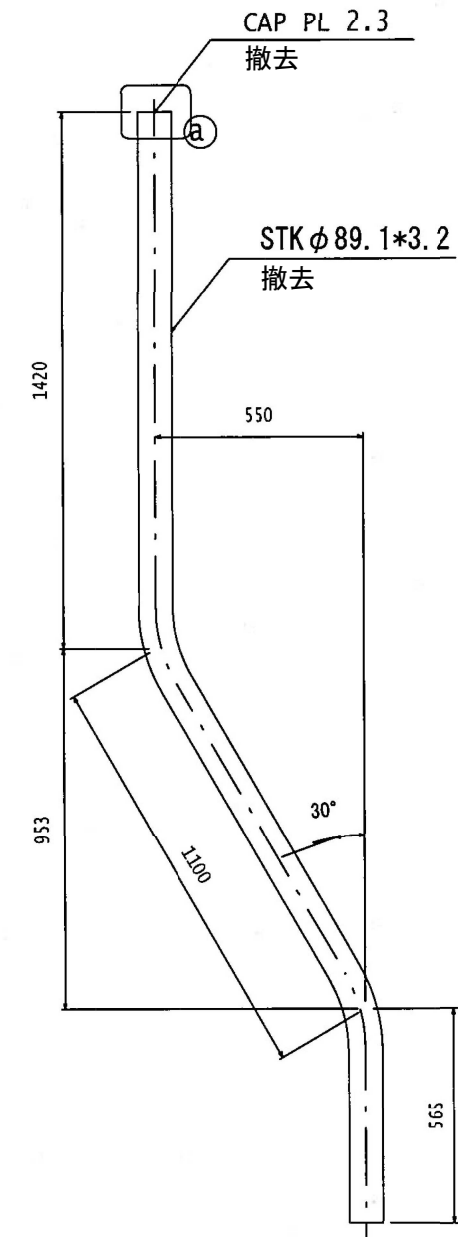
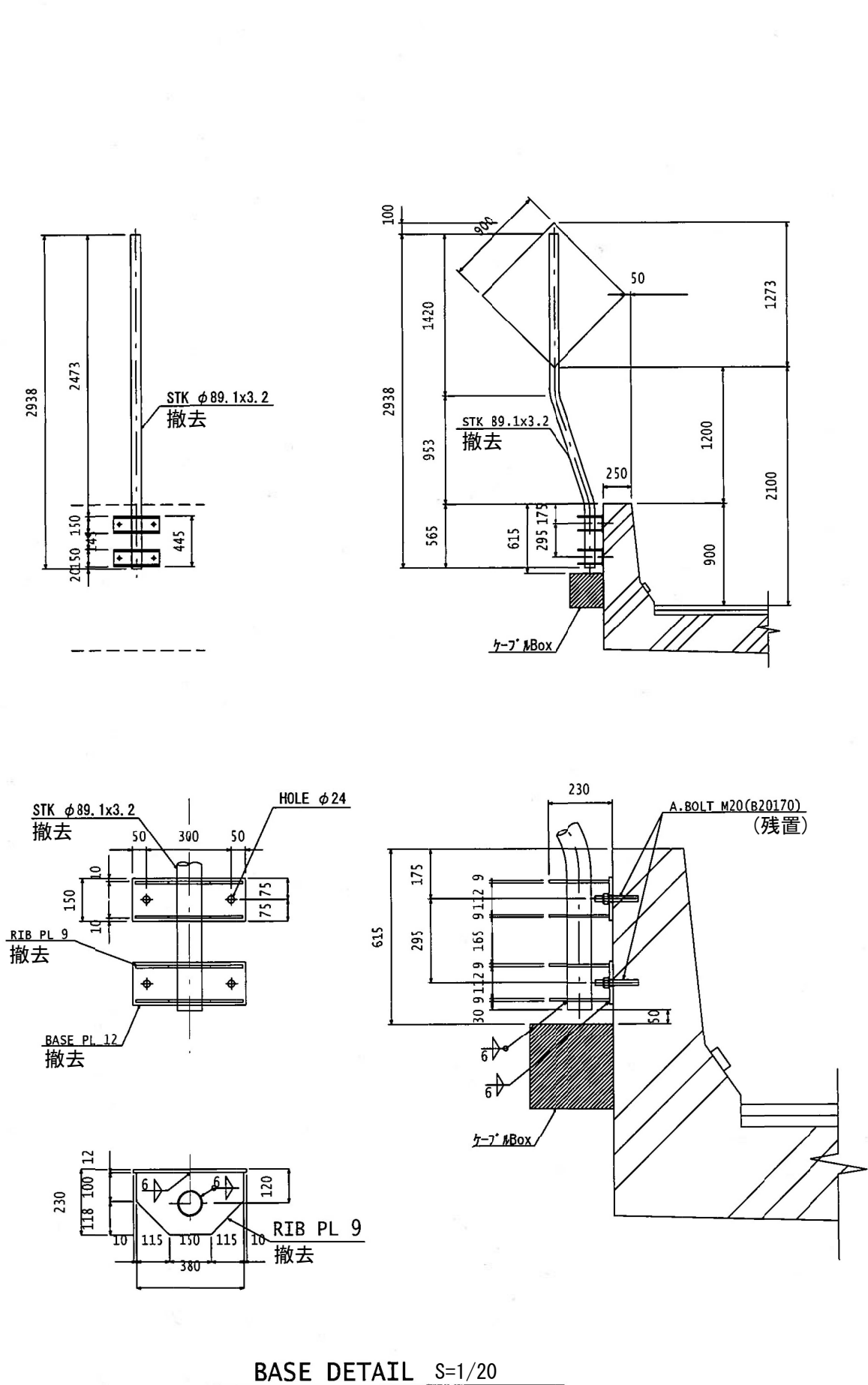
### 撤去数量表

MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (K. G.)	NUM BER	TOTAL WEIGHT	NOTE
BEAM					
STK	φ 355. 6 × 11. 1 × 6240	588. 43	2	1176. 9	BEAM
PL	2. 3 × 350 φ	1. 74	2	3. 5	CAP PL
PL	22 × 550 φ	23. 88	2	47. 8	FLG PL
PL	12 × 85 × 200	1. 60	24	38. 4	RIB PL
STK	φ 165. 2 × 4. 5 × 880	15. 66	2	31. 3	TIE BEAM
[	150 × 75 × 6. 5 × 100 × 164	3. 05	3	9. 2	PIECE
[	150 × 75 × 6. 5 × 100 × 234	4. 36	3	13. 1	PIECE
T	80 × 80 × 5 × 8 × 1462	3. 70	3	11. 1	STRUT AL
SUB TOTAL				1331. 3	
BOLT					
H. T. BOLT	M30	—	24	—	BEAM
BOLT	M16 × 60 (緩み止め N. 20)	—	12	—	STRUT
TOTAL				1331. 3	

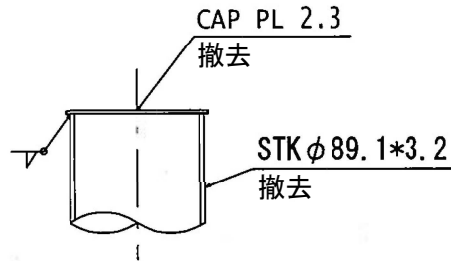


首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	構造物撤去工詳細図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

構造物撤去工詳細図(4)  
標識柱撤去工 標識柱E1  
連大No. 6 連絡等施設 大栄JCT B-STA. 9+06



POST DETAIL S=1/20



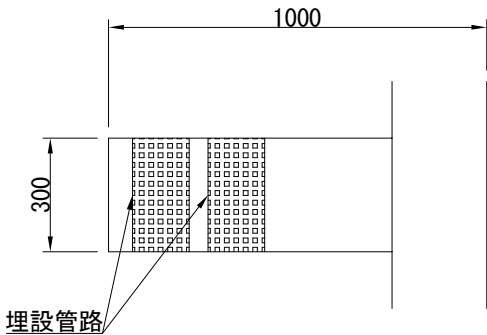
(a) -DETAIL S=1/12.5

MATERIAL LIST					
KIND	DIMENSION	WEIGHT (kg)	NUMBER	TOTAL WEIGHT	NOTE
STK	$\phi 89.1 \times 3.2 \times 3085$	20.92	1	20.9	POST
PL	$12 \times 150 \times 400$	5.65	2	11.3	BASE PL
PL	$9 \times 218 \times 380$	5.85	4	23.4	RIB PL
PL	$2.3 \times \phi 95$	0.13	1	0.1	CAP PL
TOTAL				55.7	kg

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	構造物撤去工詳細図(4)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

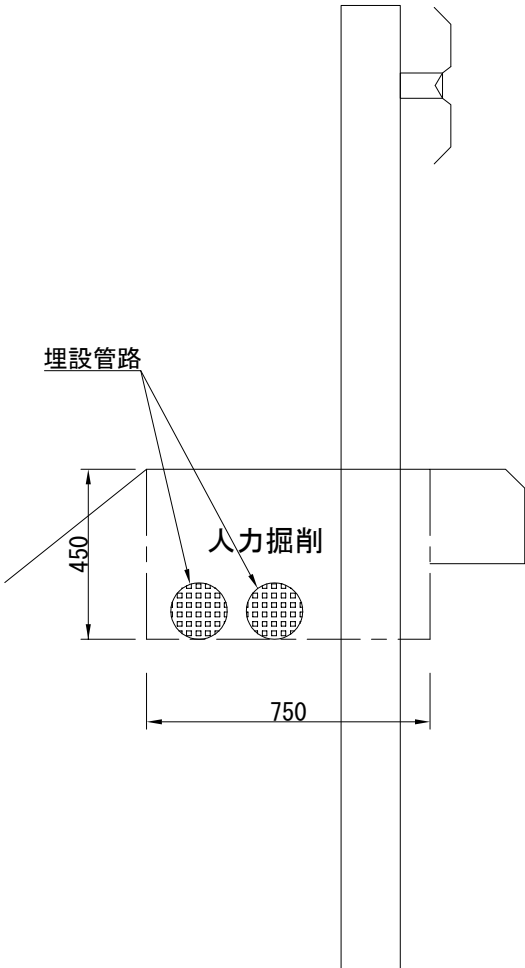
試掘工（参考図）

試掘（土工部）



数量表

道路名及び区間	区分	標識No.	測点	試掘工		備考
				(箇所)	(土量m3)	
連絡等施設 大栄JCT	Aランプ	連大No.1	A-STA.6+60	1	0.101	V=0.75*0.30*0.45
連絡等施設 大栄JCT	Bランプ	連大No.5	B-STA.8+98	1	0.101	V=0.75*0.30*0.45
連絡等施設 大栄JCT	Fランプ	連大No.28	F-STA.3+68	1	0.101	V=0.75*0.30*0.45
連絡等施設 大栄JCT	Gランプ	連大No.32	G-STA.6+50	1	0.101	V=0.75*0.30*0.45
計				4	0.405	



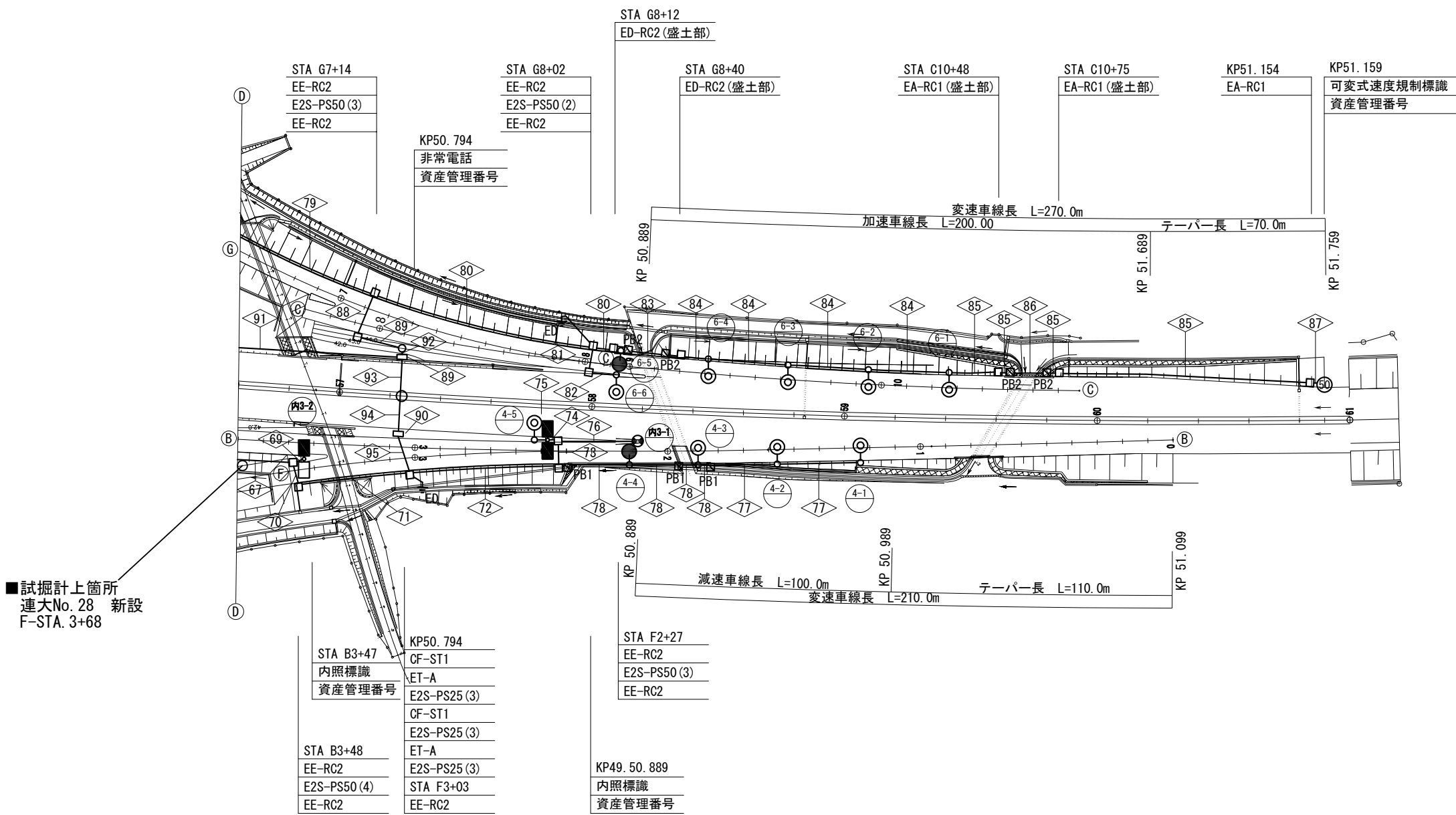
試掘方法

- ・ 試掘は図示する位置を参考に実施する。
- ・ 管路確認後、標識支柱設置までの期間は土のうにて仮復旧する。
- ・ 試掘箇所は、標識支柱設置完了後に現況復旧を行う。

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	試掘工（参考図）		
縮 尺	1/20	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



通信管路図(2) (参考図)



凡 例

記号	名 称	備 考	記号	名 称	備 考
⊙	S12AB LED-1.0	調光型	□	ハンドホール	
●	S10AB LED-1.0	調光型	▣PB1	ブルボックス (防水型)	200×200×200-2.3t JISH8641 HDZ35以上
⊗	分岐点滅灯	φ200 ソーラータイプ	▣PB2	ブルボックス (防水型)	300×300×200-2.3t JISH8641 HDZ35以上
■	内照標識		└┐	ハンドホール用土留壁 照明ポール用土留壁	
⊖	速度規制標識		⊥ ED	D種接地	

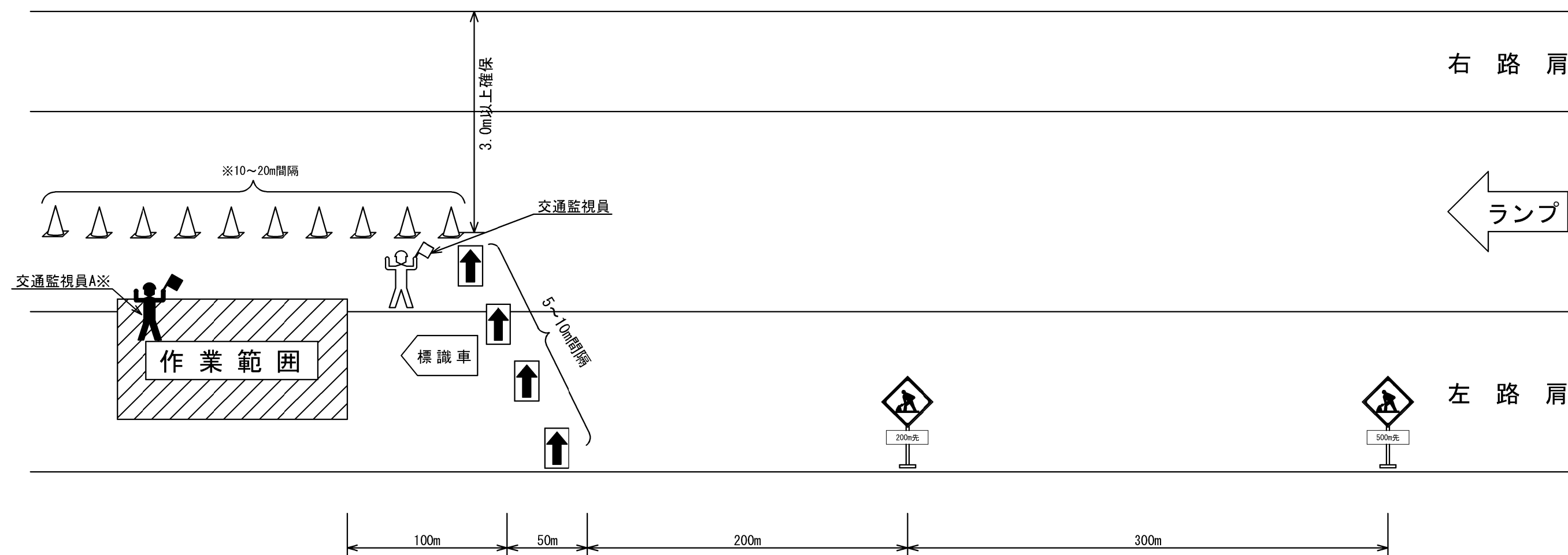
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	通信管路図(2) (参考図)		
縮 尺	1/2000	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		





交通規制図(2)  
ランプ規制 L × N

1車線ランプ規制（左側）はみだし



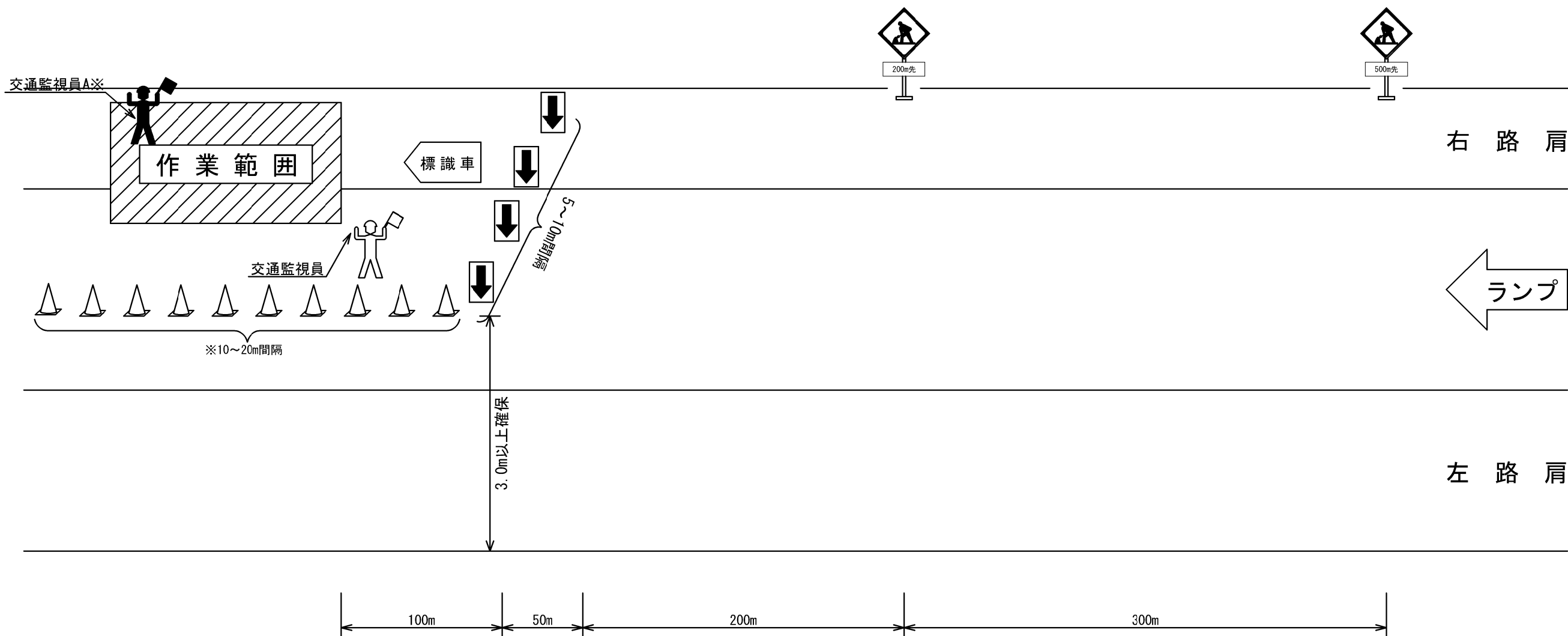
注) ・危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するため警告付安全灯装置、大音量電子ホイッスル等の警告装置を使用する。  
・※は、作業箇所範囲により判断する。  
・交通監視員A※の人数は交通監視員A配置図を参照

数量表 (1規制あたり)			
名 称	数量	単位	備 考
予告標識	2	枚	
矢印板	必要数	枚	
ラバーコーン	必要数	本	
標識車	1	台	
交通監視員	1	人	規制保守
交通監視員A	-	人	別途検測

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	交通規制図(2)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

交通規制図 (3)  
ランプ規制 L × N

1車線ランプ規制（右側）



注)・危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するため警告付安全灯装置、大音量電子ホイッスル等の警告装置を使用する。  
・※は、作業箇所の範囲により判断する。  
・交通監視員A※の人数は交通監視員A配置図を参照

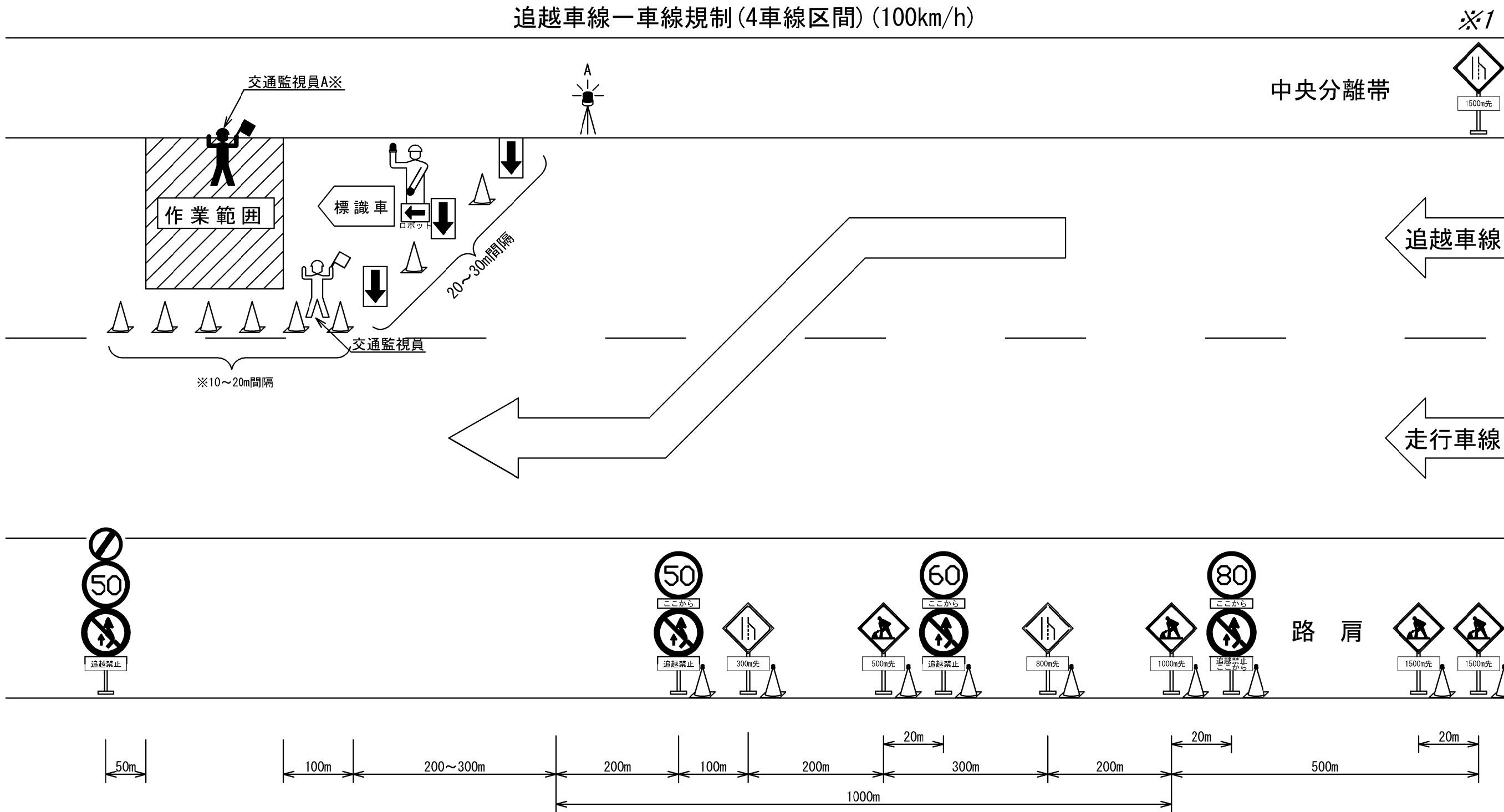
数量表 (1規制あたり)			
名 称	数量	単位	備 考
予告標識	2	枚	
矢印板	必要数	枚	
ラバーコーン	必要数	本	
標識車	1	台	
交通監視員	1	人	規制保守
交通監視員A	-	人	別途検測

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	交通規制図 (3)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		



交通規制図 (5)  
車線規制 L × N × M

追越車線一車線規制 (4車線区間) (100km/h)



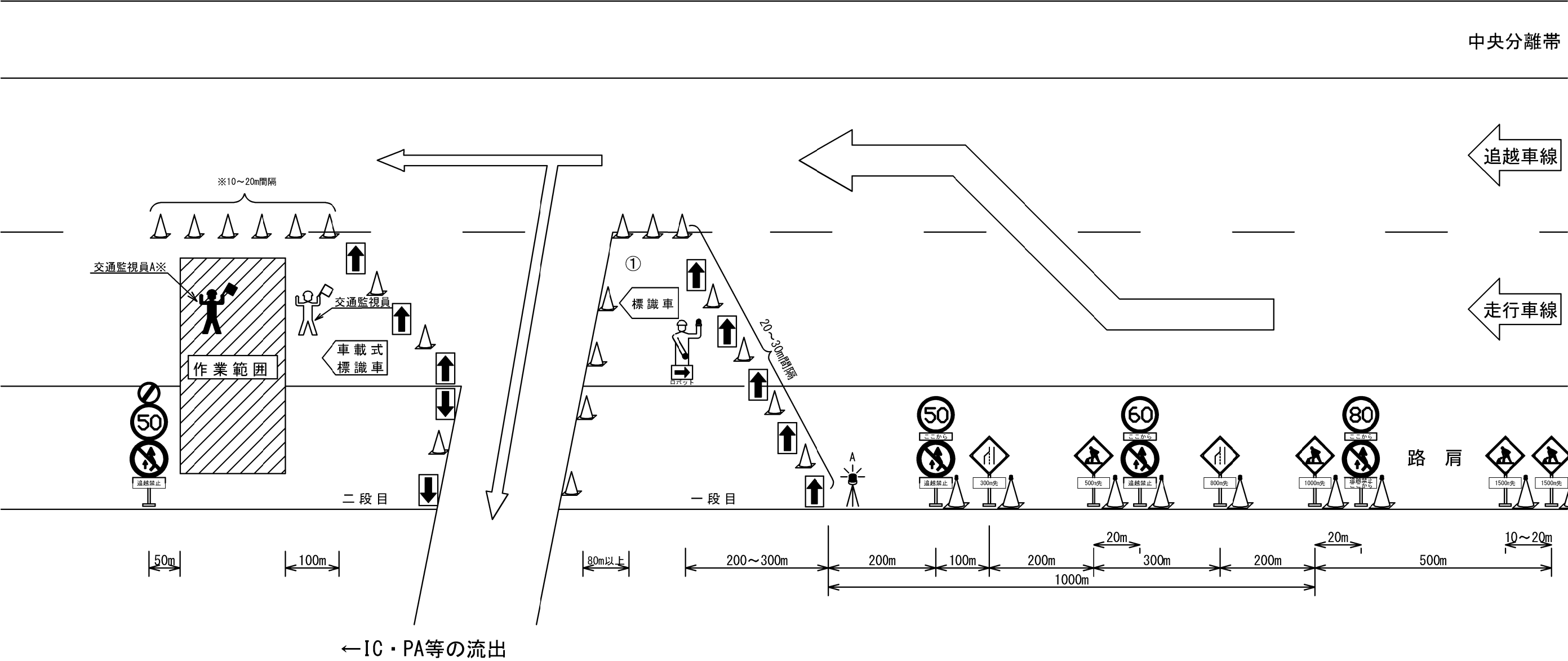
注) ・ Aの回転灯もしくは自動点滅灯は昼夜とも黄色とする。  
・ 危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するため警告付安全灯装置、大音量電子ホイッスル等の警告装置を使用する。  
・ ※は、作業箇所範囲により判断する。  
・ 路肩の各規制標識の範囲には、ラバーコーン+自発光を設置する。  
・ 交通監視員A※の人数は交通監視員A配置図を参照  
※/ 東関道 大栄JCT～潮来IC間については、中分分離帯側の規制標識は設置不要とする。

数量表 (1規制あたり)			
名 称	数量 (区)	単位	備 考
予告標識	11	枚	※/
矢印板	必要数	枚	
ラバーコーン	必要数	本	
標識車	1	台	
保安ロボット	1	台	
回転灯	1	台	
発炎筒	18	本	受注者持
発電機	2	台	受注者持
交通監視員	2	人	規制保守
交通監視員A	-	人	別途検測

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	交通規制図 (5)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

交通規制図(6)  
車線規制 L × N × M ( T 2 )

走行車線一車線(二段)規制・流出(4車線区間)(100km/h)



- 注) ・規制二段目は車載式でもよい。  
・Aの回転灯もしくは自動点滅灯は昼夜とも黄色とする。  
・危険車両が接近した時に規制内の作業員等へ警告するため警告付安全灯装置、大音量電子ホイッスル等の警告装置を使用する。  
・※は、作業箇所の範囲により判断する。  
・路肩の各規制標識には、ラバーコーン+自発光を設置する。  
・交通監視員A※の人数は交通監視員A配置図を参照

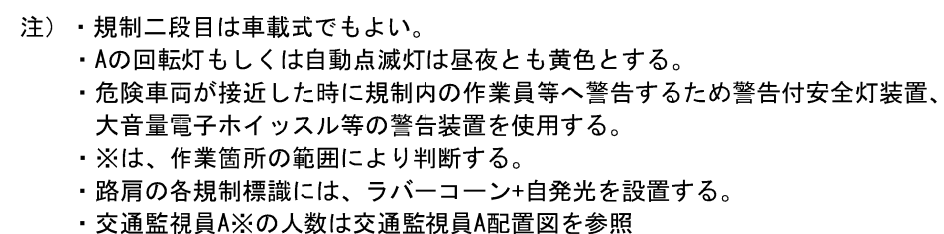


数量表 (1規制あたり)			
名 称	数量(錠)	単位	備 考
予告標識	11	枚	①を含む
矢印板	必要数	枚	
ラバーコーン	必要数	本	
標識車	1	台	
車載式標識車	1	台	
保安ロボット	1	台	
回転灯	1	台	
発炎筒	12	本	受注者持
発電機	2	台	受注者持
交通監視員	4	人	規制保守
交通監視員A	-	人	別途検測

※車載式標識は貸与品、2tトラックは受注者持ち。

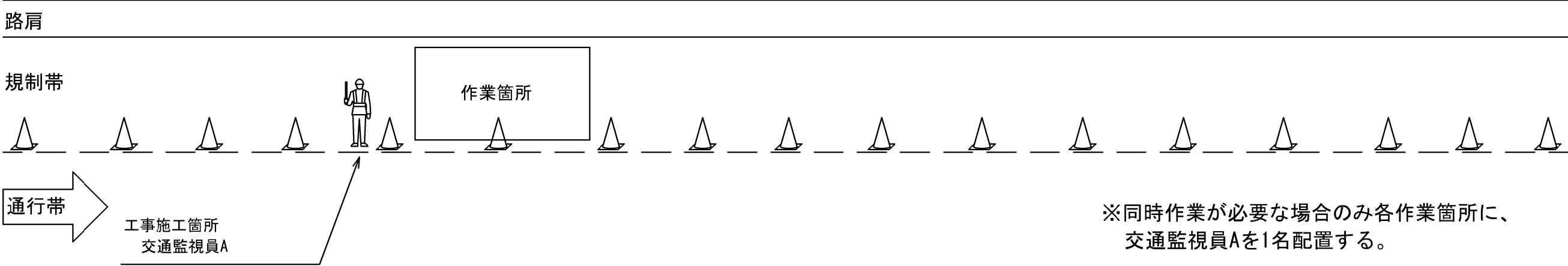
首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	交通規制図(6)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

中央分離帶



首都圏中央連絡自動車道 成田横断工事			
図面の種類	交通規制図 (7)		
縮 尺	一	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事業務所		

交通規制図(8)  
交通安全要員  
交通監視員A 配置図

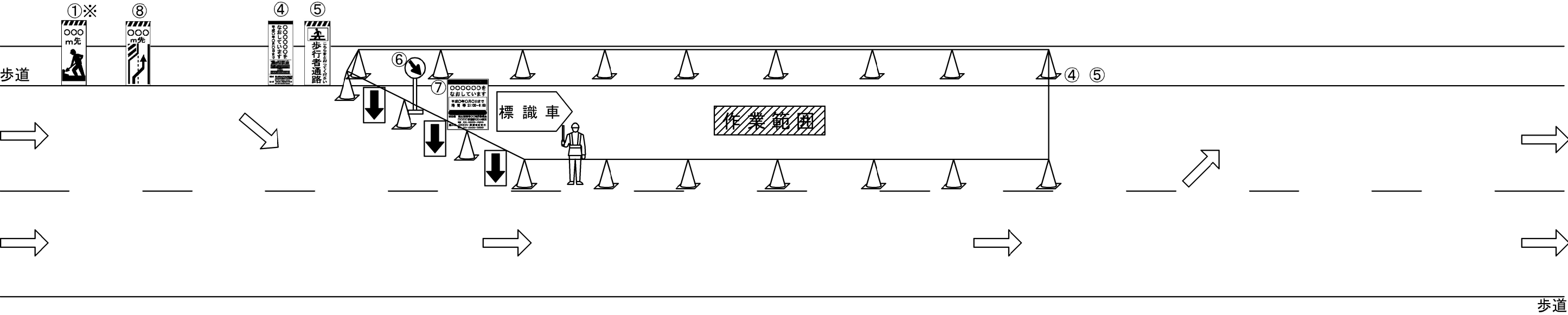


首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	交通規制図(8)		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		

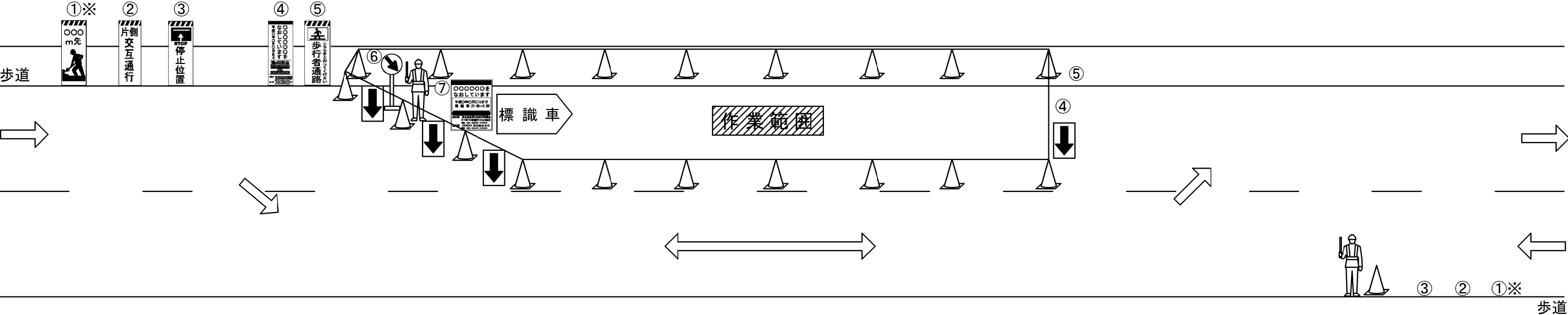


市街地 一般道規制

車線規制



片側交互規制



注）歩行者通行幅は原則として1.5m以上確保すること。

※ 工事予告は200m、100m、50mに設置

凡例		
①	〇〇〇m先工事予告板	⑧ 車線数減少看板
②	片側交互通行看板	標識車
③	停止位置看板	ラバーコーン・バー
④	工事説明看板	矢印板
⑤	歩行者案内看板	交通誘導警備員
⑥	指定方向外進入禁止	工事箇所
⑦	標示板(工事中看板)	

首都圏中央連絡自動車道 成田標識工事			
図面の種類	交通規制図(9)(参考図)		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所		